

1 事業者の状況

(1) 施設の管理運営の基本方針

■横浜市 2040 年頃の横浜のありたい姿

◇共にめざす都市像

「明日をひらく都市（OPEN×PIONEER 2040 YOKOHAMA）」

◇基本戦略

「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」

■第3期横浜市スポーツ推進計画・・・スポーツ都市横浜

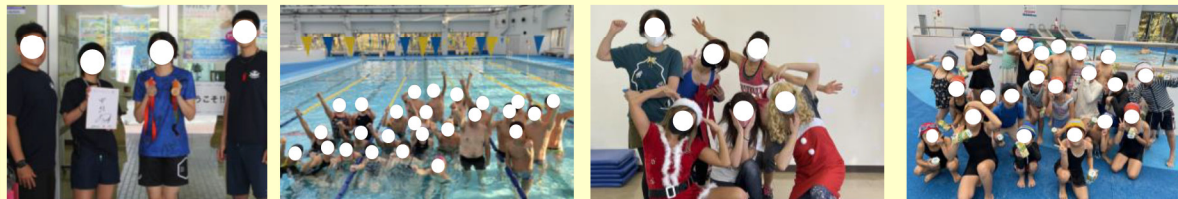
- ◆ 目標 1 スポーツを通じた健康増進
- ◆ 目標 2 スポーツを通じた共生社会の実現
- ◆ 目標 3 スポーツによる賑わいづくり



★当団体が目指すプールのコンセプト★

「明るい幸福な未来へ」

プール施設で出会ったすべての人に、健康で幸福な人生に
出会ってほしいという思いが込められています。
市民のこれからの未来のために、更なる高みを目指します。



■私たちの管理運営基本方針

私たちは、施設の設置目的と理念、特徴、取り巻く環境、行政施策を踏まえ、4つの基本方針の基に管理運営に取り組めます。

- ① プール施設を中心に様々な運動・スポーツの機会を提供します。
- ② 新たなサービスを創出し、スポーツを通じた健康増進に取り組めます。
- ③ 横浜市スポーツ推進計画を理解し目標達成に積極的に取り組めます。
- ④ 共同事業体のメリットを生かし、地域から愛される施設運営を行います。

* 方針の具体的な施策は提案書各項目の中に記載します。

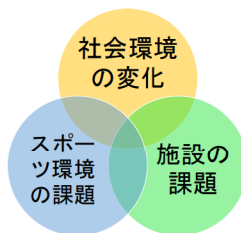
様式 8

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■行政課題及び施策の理解

横浜市のプールは「社会環境の変化」「スポーツ環境の課題」「施設の課題」等様々な分野から運営管理に変革が求められています。



* 以下は横浜市中期計画より抜粋

■スポーツ環境の課題

- ◇ 市民（成人）の「週1回以上」のスポーツ実施率は、令和3年度は59.5%。新型コロナウイルス感染症の拡大により、自宅で過ごす時間が増えたことで、健康の維持や運動不足解消のためにスポーツをする人が増えたと考えたが、令和4年度は54.5%に減少した。横浜市が目指す、70%には届かず、この層の運動の習慣化が求められます。
- ◇ 横浜市は他都市と比べて人口当たりのスポーツ施設が少ない状況。既存施設の有効活用や民間機関等との連携などにより、スポーツを実施するための場の確保が必要です。
- ◇ 横浜市は他都市と比べて人口当たりのスポーツ施設が少ない状況。既存施設の有効活用や民間機関等との連携などにより、スポーツを実施するための場の確保が必要です。

■取り組み施策

❖ スポーツに親しむ環境づくり

地域のスポーツ関係団体やスポーツ推進委員、民間企業・市内大学等と連携するとともに、学校体育施設の活用など身近にスポーツができる機会や場の確保・充実を図り、市民の多様なニーズに応じてスポーツ施設を利用しやすい環境に整えます。また、横浜マラソンなどの市民参加型スポーツイベントの実施により、市民がスポーツに親しむ機会を提供し、心身の健康増進や生きがいづくりにつなげます。また、子どもたちがスポーツに親しむことなどを通して、生涯にわたる心身の健康の保持増進と豊かなスポーツライフの実現に必要な資質・能力を育成します。

❖ スポーツを通じた共生社会の実現

パラスポーツを推進することで、障がい者がスポーツに参加する機会を提供し、障がい者のスポーツ実施率を向上させます。また、年齢や性別、障がいの有無、国籍等にかかわらず、ともにスポーツを楽しめるインクルーシブな場をつくり、様々な人が多様性を認め合うことで、スポーツを通じた共生社会の実現を目指します。

❖ その他

- ・ 大規模スポーツイベントの誘致・開催等による地域経済活性化

【横浜市民スポーツ意識調査】

項目	H29	H30	R1	R2	R3
成人の実施率（週1回以上）	48.7%	56.3%	55.8%	64.5%	59.5%
障害者の実施率（週1回以上）		38.5%	36.7%	58.3%	45.0%
ボランティア参加率	6.6%	7.2%	6.1%	7.0%	3.7%

■横浜市のプールが抱えている課題

学校プールでは水泳授業の維持が難しいこと、公園プールは施設の老朽化、運営コストの増加、市民ニーズの多様化等大きな課題を抱えています。施設の統廃合、運営方法の見直し等が進んでいるようです。

■横浜市におけるプール等の整備に関する方針

横浜市「プール及び野外活動施設等の見直しに係る方針について平成27年10月」等参考に当社抜粋

- ・ 「基本的な考え方」において、施設の存廃や集約化等の方針を26年度末までに検討することとしている施設について、利用状況、コスト、配置等を評価した結果を踏まえ、各施設の方針が決定された。
- ・ 当面存続することとなった施設については、民間活力を活用した運営手法の導入や利用料金の改定など、さらなる利用促進・経営改善を検討するとともに、必要に応じて再整備等を検討している。
- ・ 旧余熱プール（港南プール、栄プール）利用状況、コスト、配置等を評価した結果を踏まえ、港南プールについては存続とし、栄プールについては、施設の大規模な改修等の際に、港南プールへ統合します。
- ・ 港南プールは耐震工事を実施し、工事期間中は一時休館します。その他屋外プール（本牧市民プール、横浜プールセンター）両施設とも利用状況、コスト、配置等を評価した結果を踏まつつ、施設の設置の経緯に配慮し、存続とします。なお、両施設とも、老朽化が著しいことから再整備の検討を行います。

様式 8

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

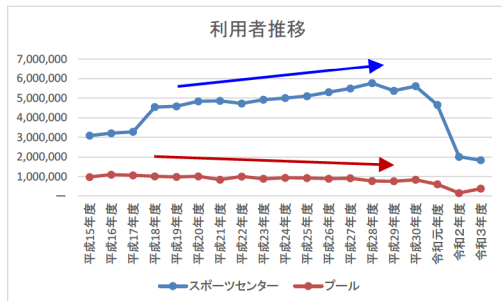
施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

■横浜市民スポーツに関するデータ（参考）

（横浜市統計、令和4年度横浜市民スポーツ意識調査より抜粋又は当団体作成）

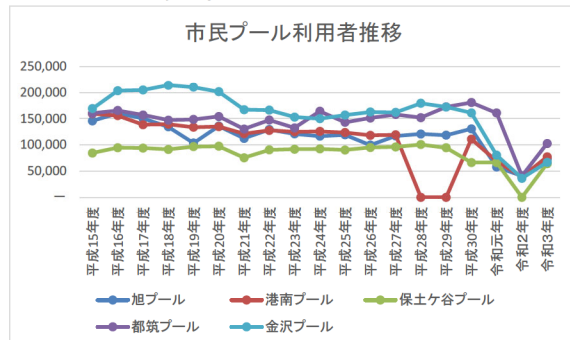
①市スポーツセンター及びプールの利用者推移

スポーツセンター利用はコロナ過を除き増加傾向にあったがプール利用はコロナ過を除いても減少傾向にあった。



②市民プール別利用者推移

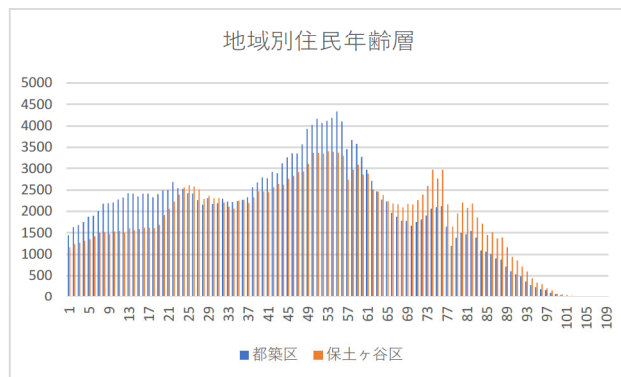
立地条件、地域特性等からか施設別利用人数には大きな差がある。



* コロナ感染による休館等の情報は割愛しました

③地域別人口や年齢層調査（R5年3月）

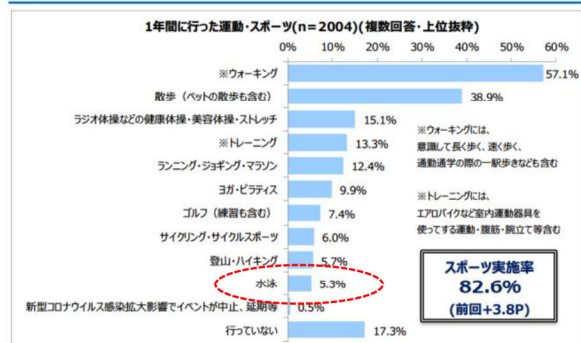
地域	人口	R1年度利用人数	駅徒歩時間
都築区	214,899人	160,878人	2分
保土ヶ谷区	203,180人	66,389人	最寄駅より バス停まで15分 下車徒歩7分



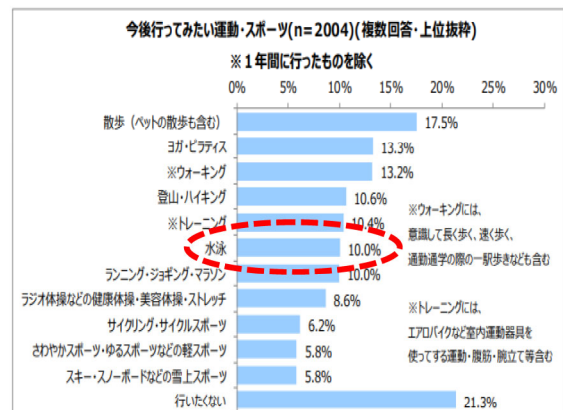
④横浜市民スポーツ意識

- 過去1年間に行ったスポーツではランク10位で5.3%が水泳を行ったと回答
- 今後行いたいスポーツではランク5位で10%と比率が大きくなっている（潜在的な利用ニーズはある）

3-8 過去1年間に行った運動・スポーツ (Q5)

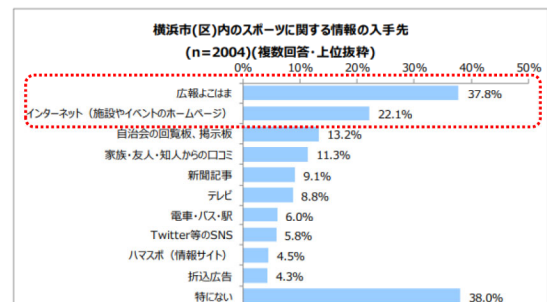


3-12 今後行いたい運動・スポーツ (Q10)



- スポーツに関する情報入手は「広報よこはま」がダントツで38%
- インターネットは2位で22%
- 年齢層による違いと推測でき年齢層別広報必要

3-25 スポーツに関する情報の入手先 (Q21)



様式 8

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■指定管理者への期待・役割

「公の施設」の管理運営については、多様化する市民ニーズに、より効果的・効率的に対応するため、民間の能力を活用しつつ、市民サービスの向上と経費の節減等を図るため、指定管理者制度が導入されています。

港南プール・保土ケ谷プール・金沢プールは、「スポーツ、レクリエーション等の振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与するため」に設置される施設です。

■団体の理念

・共同事業体構成の理由

私たちはお互いの特徴・強みを活かした共同事業体を構成し、「横浜市民プール」の運営・管理を行います。利用受付、水面監視、スポーツ教室、施設の維持管理等に関する技術、経験等を相互に提供し一体となった管理により、施設の設置目的や目指す姿を達成します。

■共同事業体の役割分担

主な業務	国際ビルサービス代表企業	CUZMAT	サンアメニティ	三洋装備
統括運営管理	○			
プール運営 教室運営		○		
施設維持管理				○
自主事業		○	○	

■共同事業体のメリット

- ・専門企業による責任のある役割分担が施設機能の効率的・効果的運営を可能にする。
- ・地域経営基盤の企業や実績のある組み合わせが、プール、教室等に対する市や住民の期待や高度な運営水準の継続性を担保できる。
- ・横浜市内に本社があり指定管理者等の運営実績のある企業と指定管理者では全国有数の企業の組み合わせが、相乗効果を発揮する。



■構成企業の経営姿勢と業務実績（10～15頁参考）

国際ビルサービス株式会社（代表企業）・A社	
経営理念等	・建物管理を通じて、快適環境を提供し、社会に必要とされる企業であり続ける。 ・全社員の物心両面の幸福を実現する
実績	創業 60 年 維持管理 500 件/年程度 PFI 事業：横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校整備事業 横浜アリーナ設備保守、横浜市市民プール指定管理者 等

株式会社 CUZMAT・・・B社	
経営理念	ライフガードを専門とするコンサルティング会社です
実績	西武園プール等監視業務実績多数 全国各地プールにてライフガード指導教育業務多数 横浜市市民プール指定管理者 水泳教室等開催実績多数

株式会社サンアメニティ・・・C社	
経営理念	・社会的責任を自覚しなければ、健全な発展は不可能である。・社会的使命を自覚したなら、大きな発展が叶う。 ・日々研鑽しなければならぬのは、まず社会的責任と使命である。
実績	全国にて運動施設の指定管理実績多数 運動施設におけるイベント開催教室運営実績多数 横浜市市民プール指定管理者

三洋装備株式会社・・・D社	
経営理念	・お客様第一主義
実績	維持管理 400 件/年程度 栃木、神奈川県にて指定管理者実績あり 横浜市市民プール指定管理者

* 以下提案書内ではA、B、C、D社と表記します

様式 8

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

(2) 基本方針を実施する為の目標及び実施策

■私たちが目指すプールのコンセプト

「明るく幸福的な未来へ」

プール施設で出会ったすべての人に、健康で幸福的な人生に出会ってほしいという思いが込められています。市民のこれからの未来のために、更なる高みを目指します。

■目標値

- * 過去実績を H30 ～R3 を俯瞰した（H30 コロナの影響は少ない R3 影響あり）努力目標値です。
- * 令和 5 年 7 月現在、夏の観光需要等は H30 年の水準まで回復しています。令和 7 年度に平成 30 年度需要まで回復させます。
- * 収支計算においてはリスク回避のため「堅実な数値」を採用しています。

項目	施設名	H30 年度実績	R3 年度実績	目標（人）				
				R6 度	R7 度	R8 度	R9 度	R10 度
利用人数（する）	港南プール	110,880	77,140	90,000	110,000	120,000	130,000	140,000
	金沢プール	160,981	66,796	140,000	160,000	170,000	180,000	190,000
	保土ヶ谷プール	66,276	64,220	76,000	80,000	82,500	85,000	87,500

- * 保土ヶ谷プールはコロナ過でも利用人数は減少しませんでした。
- このノウハウを港南・金沢に展開します。

項目	R8 年度	補足
利用人数（みる・ささえる）	2,000 人	3 施設合計 ボランティア参加含む
顧客満足度	4 点以上	5 点満点 顧客満足度アンケートによる

■施策目標

実施施策
①従来の枠を超えた新たなサービスを創造し感動を提供できるプールとなる
②「みる」「ささえる」の場面を提供する
③期待水準を超える施設運営業務を行う
④地域や関連施設と協力・連携しスポーツ振興、健康づくりに取り組む

【参考情報 令和 5 年 7 月ホームページ等より】

	都筑	旭	港南	保土ヶ谷	金沢
立地	横浜市営地下鉄『都筑ふれあいの丘駅』下車 徒歩2分	相鉄『西谷駅』より（徒歩20分） バス：千丸台団地行→『愛宕旭環境センター前』下車（徒歩7分）	JR根岸線『港南台駅』からの場合 3番乗り場より横浜市営バス（45・111系統）『港南環境センター前』下車 徒歩1分	徒歩不可 JR保土ヶ谷駅東口1番のりば神奈中バス戸塚駅行・東戸塚行 2番のりば神奈中バス77系統 いずれも「権太坂上」下車、徒歩約7分	最寄り駅徒歩10分
開館時間	通常期間：10:00～20:00 日曜は17:00まで 夏期期間（7月20日～8月31日）：9:00～20:00	通常期間：10:00～20:00（日曜は17:00まで） 夏期期間：9:00～20:00（日曜は17:00まで） 7/20～8/31まで 屋外プールは17:00まで※夏季のみ営業	9:00～20:00 但し日曜日 18:00まで	9:00～17:00	9:00～20:00 レストラン、浴場併設
休館	毎月最終火曜日 7・8月無休 年末年始 12月29日～1月3日	毎月最終火曜日 7・8月は無休 年末年始 12月29日～1月3日	第四火曜日 年始年末12月29日～1月3日 7・8月は無休	第四火曜日 年始年末12月29日～1月3日 7・8月は無休	第四火曜日 年始年末12月29日～1月3日 7・8月は無休
利用料金	大人400円 子供100円 漬とも割200円 回数券 大人2000円（8枚つづり） 子供1000円（16枚つづり）	大人400円 子供100円 漬とも割200円 回数券 大人2000円（8枚つづり） 子供1000円（16枚つづり）	大人400円 子供100円 漬とも割200円 回数券2400円（30枚つづり） 券売機で「ランナー券」1回200円 プール利用の方は別途200円 平日はポイントカードによるサービスを実施します。10回で1回無料となります	大人400円 子供100円 漬とも割200円 回数券2400円（30枚つづり） 券売機で「ランナー券」1回200円 プール利用の方は別途200円 平日はポイントカードによるサービスを実施します。10回で1回無料となります	大人400円 子供100円 漬とも割200円 回数券2400円（30枚つづり） 浴場セット券 大人800円 子供400円 漬とも割600円 券売機で「ランナー券」1回200円 プール利用の方は別途200円 平日はポイントカードによるサービスを実施します。10回で1回無料となります
H30年度利用人数	180,840	130,463	110,880	66,276	160,981
R1年度利用人数	160,878	57,866	69,017	66,398	80,353
R3年度利用人数	102,670	72,703	77,140	64,220	66,796
駐車料金	2時間300円 20分増すごとに50円	400円/回	30分200円で4時間まで 最大400円	児童遊園地内の有料駐車場をご利用ください。	2時間まで1時間ごと100円 以後30分ごと100円

様式 8

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

【従来の枠を超えた新たなサービスを創造し感動を提供できるプールとなる 施策例】

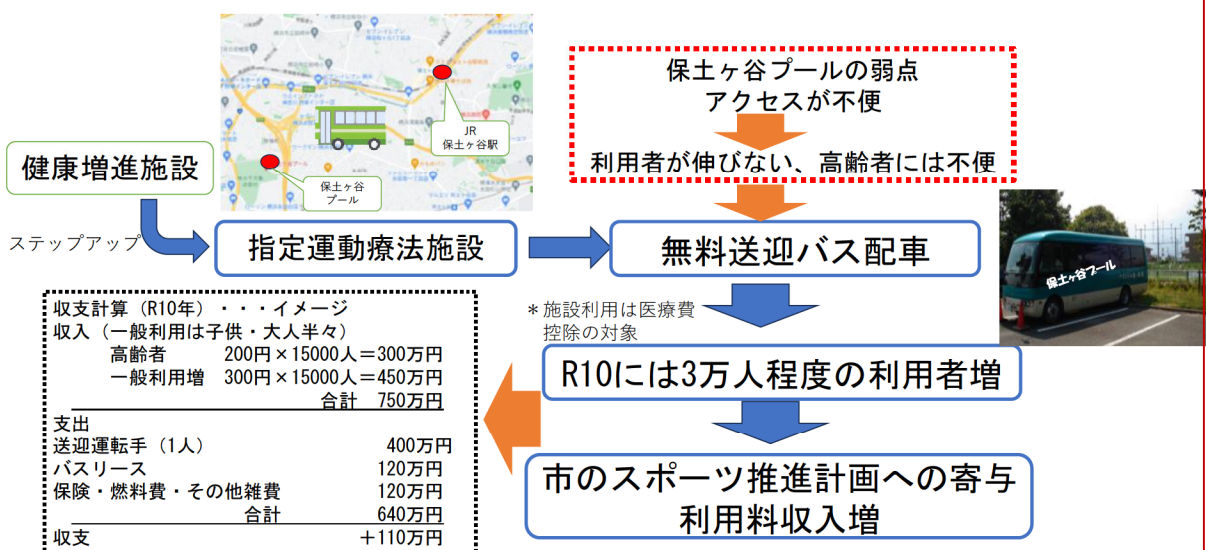
テーマ：保土ヶ谷プールが「指定運動療施設」の認定を受ける。さらにこの認定の有効活用利用層の「高齢者等」の利用促進を促すために「送迎バス」の運用を行います

現在保土ヶ谷プールは「健康増進施設」の認定を受けています。2024 年度を目標に「指定運動療施設」まで格上げします。

提携スポーツドクター候補者との打ち合わせも進行し、準備段階に入っています。また、必要なスタッフの資格取得や機器の見積りも進めています。

指定運動療施設：

厚生労働大臣認定健康増進施設のうち、一定の要件を満たす施設について、厚生労働省が運動療法を行うに適した施設として指定したものです。この指定を受けた施設では、医師の指示に基づく運動療法を実施する際に必要となる利用料金について、所得税法第 73 条規定する医療費控除の対象とすることができる。



■解決しなければならない課題と対応 ・ ・ ・ 実施は R6 年 4 月

課題	調査や対策	時期
送迎バス運行の 利用人数増加効果が不明	民間プールは多数あり (但し 子ども水泳教室が多くを占める) 東京都や多自治体事例調査	R5 年 12 月
高齢者等に本当に ニーズがあるか	利用者へのアンケート実施 200 サンプル程度必要	R5 年 12 月
実施に係る費用詳細が必要	自社運行か委託かを決定 車リース代 ドライバー人件費	R6 年 1 月
関係法令の有無、保険等確認	横浜市に相談 保険見積 保土ヶ谷駅に駐車して良いのか 時間は？	R5 年 12 月
横浜市の考え方確認必要	横浜市に相談	R5 年 12 月
実施等の最終判断	実施可否の判断を総括本部会議で実施	R6 年 2 月
運行ルート 駅とプール 途中停車は必要か それ以外にルールは必要か	運行バス等ルートを確認し、決定 アンケート調査活用	R6 年 2 月
安全運行のルールや手順	ドライバーの資格や必要経験を決定 乗車時や下車時の安全確認ルールマニュアル作成	R6 年 2 月
効果的な PR の方法	市広報への記載 新聞等へも取材・記事依頼	R6 年 3 月

様式 8

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

以降は実施施策 例 具体的な展開等は提案書各項目の中で示します。

■従来の枠を超えた新たなサービスを創造
一部の施設付近や地域には「ウォーキングコース」があります。

ランニング・ウォーキングステーションとして、誰もがいつでも楽しくランニングやウォーキングを実施するための施設でシャワーや着替えも可能にします。

利用料金は 200 円とします。
入場しロッカー等を使用して、その後ランニング、ウォーキング、再入場して施設利用を可能にします。

ランニング教室を開催しています。



■「みる」「ささえる」場面を提供する
「みる」「ささえる」機会のイベント等を年間計画します。



【例／プールパフォーマンスショー】

■「プール障がい者利用の日」設置
毎年、12月9日の障害者の日に障害者と付添人を無料で招待します。
なお、障がい者スポーツ指導員の資格取得と配置します。

■横浜市スポーツ推進委員との連携
スポーツ推進委員は、本市スポーツ行政の推進者として重要な役割を担っており、スポーツ・レクリエーション活動に親しむことを目指し、その普及・発展を図っています。
プールを活用して、同活動にどのような貢献が可能な相談します。
例／地域スポーツ大会（区民大会）に水泳大会を追加

■期待水準を超える運営管理業務を行う

- 📖 安全対策
➡すべての職員に一次救命処置と応急手当の教育プログラムを実施します。
- 📖 外国語対応
➡職員は英語等の外国語対応が必要となります。特に受付には翻訳機器ボケートークや「翻訳アプリ」の使用で対応します。
- 📖 外国語利用ガイド・・・利用ガイドの英語版、中国語版、韓国語版を作成
- 📖 外国語防災マニュアル・・・英語版、中国語版、韓国語版を作成
- 📖 こども貧困問題取組
➡水泳教室等に「無料参加」を可能します

【子ども貧困問題への取り組み】案

・・・「こどもがかかえる貧困」支援・・・

- テーマ
母子家庭等のこどもたちの運動教室参加を促進
- 背景
6人に1人（16%）が貧困問題を抱える中で、ここにかかわる子どもたちの運動・スポーツをする機会が奪われている。
- 目的
母子家庭等の子どもたちの運動・スポーツをする機会を提供し、健全な成長等に寄与する
- 内容
母子家庭等の子どもたちが無料で子どもスポーツ教室等に参加できるようにする
- 留意点
 - 📖 いじめ等を考慮して、個人情報管理は徹底する
 - 📖 館長を責任者として他職員は取り扱わない
 - 📖 市や区の福祉担当者等と相談する
 - 📖 「特待券」のようなものを発行し、市、親のサインで参加可能とする
 - 📖 用具（ゴーグル等）も無償支給を検討する
 - 📖 教室開催に係る新たな費用（講師代等）は発生しない
 - 📖 用具（ゴーグル等）の無償支給に係る費用は教室開催経費に見込む
- 計画 令和6年度
 - 📖 市・区の福祉担当に相談・・・6月
 - 📖 支援の仕組みのアウトライン構想・・・7月
 - 📖 関係者と協議・・・8月
 - 📖 9月～10月の教室から参加（実施）

* モデル事業として「港南プールから開始」

様式 8

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■スポーツボランティア活動

地域におけるスポーツボランティア活動を推進します。地域のニーズを把握し、スポーツボランティアを派遣します。

スポーツに感心のある市民と直接ふれている施設としてできることがあります。



【社員が参加したスポーツボランティア】

■地域や関連機関との連携

・派遣型救急救命講座

地域の幼稚園から小中学校施設や小学校等で救急救命講座を致します。



【講座や研修の様子】

・学校プール機能の補完

学校ではプール授業や水泳部の活動の維持が難しくなっていると理解し、学校に教育の場を提供します。時間外利用（時間外 7:00～9:00, 17:00～、20:00～）をクラブ活動に利用できます。



【保土ケ谷プール 中学水泳部利用支援】

■部活動の地域連携・地域移行受入れ体制の構築

令和 5 年から令和 7 年までを「改革推進期間」と位置づけ、休日の部活動は、合同部活動や部活動指導員の配置により地域と連携することや、学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することについて、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指すよう、文部科学省は各自治体に求めています。当団体では、今までも地域の中学校・高校の水泳部と連携し、時間外のコース占有利用を行ってまいりました。

課題である指導者の確保は、日本スポーツ協会水泳コーチや水泳教師資格保持者がいるため、問題ございません。また経費に関しては、プール運営自主事業等での売上から賄うことができます。当団体では、積極的に部活動の地域移行を受け入れたいと考えております。

■「総合型地域スポーツクラブ」との連携

総合型地域スポーツクラブとは、人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、(1) 子どもから高齢者まで（多世代）、(2) 様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、(3) 初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブをいいます。

全国では 3,600 弱のクラブが育成されているようです。横浜市では 30 団体以上が運営されています。

これら団体や地域他施設（体育館等）と連携し、「総合型地域スポーツクラブ」の活性化を寄与します。

令和 8 年度本格活動を目指に取り組みます。

	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	10 年度
調査研究	→				
連携準備		○			
活動			→		
見直し				○	
活動					→

【文科省資料より】

様式 8

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

．．．．．託児サービスについて（案）．．．．．

子育て期の女性のスポーツ活動を支援するために、スポーツ教室参加者やプール利用者のお子さんをお預かりする託児保育サービスを行います。

■託児所開曜日・時間帯の設定 例 火曜日・水曜日・木曜日 10：00～12：00

・料金プラン

1 時間	600 円
1 時間 30 分	900 円
2 時間	1,200 円
※2 時間 30 分	1,500 円



入

- ◆年齢と定員：2 歳児～未就学児 予約制 10 名
- ◆保険：保育中の子どものケガに備え、傷害保険に加
- ◆委託先：託児サービスを実施している NPO 法人（現在調査中）

■検討スケジュール

	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	10 年度
アンケート、ヒアリング等ニーズ調査	→				
開設準備		→			
モデル事業実施			→		
展開・見直				→	

■採算性検討

- ・保育士時給：2,000 円/時間・・・東京・神奈川調査
- ・NPO 委託の場合、NPO への支払いは時給 3,000 円
- ・託児所開設時間：10:00～12:00 週 3 日 火 水 木 保育士 2 名対応
- ・利用者 10 名 単価 2 時間で 1,200 円
- ・実施は「モデルプール」で試行（1 年程度）、その後大きな赤字にならない場合は全プールに拡大
- ・利用者が半分以下や月の赤字が 5 万以上なら再検討

【収支計算】

	算出	備考
収入	1200 円×10 名＝12,000 円/日	10 名参加あるか？
	週三回 36,000 円	毎回あつまるか？
	月 4 週 144,000 円/月	10 カ月実施 年間売上 144 万円
支出	保育士 3,000 円×4 時間 12000 円/日	
	週三回 36,000 円	
	月 4 週 144,000 円/月	10 カ月実施年間支出 144 万円
収支	0	収支均等

■情報発信の重要性

託児所開設の「子育て支援」はホームページへの掲載、チラシの配布だけでは、集客できないと思われます。

積極的に「保育園訪問」「SNS 拡散」「マスコミの取り上げ」等情報接触機会の増加が必要です。

■子育て期の女性支援の他の方法

子育てママがスポーツできない阻害要因に「一緒に行く友人・仲間がいない」ことも指摘されています。「仲間づくりの支援」やチャイルドスペースを充実し、「仲間で子どものケアを行う環境づくり」も検討します。



様式 8

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

(3) 安定的な経営体力と適正な経営情報開示（経営の透明性）

- ◆コロナ過において影響を受けた時期もありましたが、構成企業すべてが安定した売上、企業体力を有しています。
 - ◆売上や利益率の多少の変動があるものの成長傾向にあります。
 - ◆資金繰りや支払い能力を示す「当座比率」は直近では 200%を超えている企業もあり、「安定した経営の継続」が可能です。
 - ◆大規模災害等による収入減等においても一定期間従業員雇用や賃金支払いは可能です
 - ◆類似施設の運営実績も多数あり、ノウハウが活用されます。
 - ◆構成企業や共同事業体のガバナンスを徹底するためルール、手続き等を文書化します。
- * 数値は（令和 5 年 3 月末現在）

■A 社（代表企業）

本社住所	横浜市港北区新横浜 2-5-1
資本金	50,000,000 円
従業員数	856 名
市内雇用者数	421 名

■経営指標（売上：千円）

	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
売上高	4,416,426	4,636,844	5,066,521	4,845,152	5,163,234
純利益	56,307	68,148	144,794	70,759	82,340
売上高営業利益率	2.08%	2.20%	3.90%	2.27%	1.30%
流動比率	224.34%	215.76%	229.69%	263.15%	268.14%
当座比率	224.33%	215.75%	229.67%	263.12%	268.12%

■類似業務実績

No	委託者名	件名	期間
1	アサヒファシリティズ	横浜アリーナ 防災センター 「設備常駐」	H24 年 ～現在
2	横浜市リハビリテーション事業団	横浜ラポール障がい者スポーツ文化センター設備維持管理業務	H 元年～ 現在
3	横浜市	横浜市サイエンスフロンティア高等学校	H25 年 ～現在
4	鎌倉市芸術文化振興財団	鎌倉芸術館維持管理業務	R4 年～ 現在
5	鎌倉市	鎌倉文学館維持管理業務	H5 年～ 現在
6	横浜市	市民プール指定管理者	R1～現在

* その他一般施設の維持管理は 500 件以上/年

■沿革

- 昭和 38 年 3 月 本社を横浜市港北区篠原町に設立
11 月 中区営業所を開設、営業活動を開始
- 昭和 40 年 5 月 東京支店を東京創和ビルに開設
- 昭和 42 年 10 月 戸部事務所を東神奈川橋本ビルに移転
- 昭和 43 年 8 月 マンション管理業務スタート
- 昭和 45 年 3 月 黒字決算へ転換
- 昭和 52 年 10 月 神奈川県知事より中高年齢者雇用協力に
対し感謝状
- 昭和 53 年 11 月 優良申告法人表敬状
- 昭和 56 年 4 月 ブラジルに子会社設立（KBS DO BRAZIL）
- 昭和 58 年 2 月 鳥谷龍一郎社長（現：会長）が厚生大臣
表彰を受賞
- 昭和 60 年 3 月 科学万博つくば'85 にて清掃、設備管理
業務を受注
- 平成元年 3 月 横浜博覧会 YES'87 清掃業務を一部受注
5 月 鳥谷龍一郎社長が神奈川県民功労表彰
を受賞
- 平成 2 年 2 月 BBCS（ビル群遠隔監視制御システム）
の営業活動開始
- 平成 6 年 3 月 年商 50 億円を超える
10 月 医療関連サービスマークの認定取得
- 平成 12 年 7 月 ISO9001 認証取得
- 平成 15 年 4 月 創立 40 周年記念祝賀式典挙行
- 平成 16 年 5 月 社長交代、代表取締役会長 鳥谷龍一
郎、代表取締役社長 鳥谷尚道に
- 平成 17 年 11 月 PFI 物件「横浜市立科学技術高等学校整
備事業」を落札
- 平成 18 年 10 月 特定建設業（電気・管・塗装・防水・内
装仕上工事）大臣許可
- 平成 20 年 4 月 横浜型地域貢献企業認定
12 月 茨城支店で ISO14001 認証取得
- 平成 21 年 8 月 本社を新横浜二丁目 5 番地 1 日総第 13
ビル 7 階へ移転
- 平成 23 年 5 月 プライバシーマーク登録（JIPDEC）
- 平成 30 年 5 月 労働者派遣事業許可



様式 8

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

B 社

本社住所	横浜市保土ヶ谷区常盤台 41-35
資本金	3,000,000 円
従業員数	148 名
市内雇用者数	35 名

■経営指標（売上：千円）

	H30年	H31・R1年	R2年	R3年	R4年
売上高	93,553	110,234	77,332	80,433	116,493
純利益	3,668	6,840	3,782	-35	2,488
売上高 営業利益率	4.33%	7.23%	4.48%	-0.28%	2.84%
流動比率	119%	154%	239%	173%	169%
当座比率	118%	151%	235%	166%	165%

■類似業務実績

No	委託者名	件 名	期 間
1	東京都 大島町	弘法浜サンセットプール監視等業務委託	平成 29 年～現在（夏季のみ）
2	西武鉄道 株式会社	西武園ゆえんちプール監視等業務委託	令和 4 年 7 月～現在（夏季のみ）
3	株式会社東京 サマーランド	東京サマーランド監視等業務委託	平成 24 年～現在（夏季のみ）
4	遠鉄観光開 発株式会社	浜名湖バルパルライフガード指導教育業務	平成 22 年～現在（夏季のみ）
5	株式会社ラグ ーナテンボス	ラグナシア ライフガード指導教育業務	令和 3 年～現在
6	LEGOLAND Japan 合同会 社	LEGOLAND Japan ライフガード指導業務	令和 1 年～現在
7	株式会社 ジャパンパ ーク&リゾート	姫路セントラルパークライフガード指導教育業務	平成 22 年～平成 30 年（夏季のみ）
8	株式会社 豊島園	としまえん ライフガード監視等業務委託	平成 22 年～令和 2 年
9	株式会社 スペース ワールド	スペースワールド ライフガード指導教育業務	平成 22 年～平成 26 年
10	株式会社 ジャパンパ ーク&リゾート	姫路セントラルパークライフガード指導教育業務	平成 22 年～平成 30 年（夏季のみ）
11	横浜市	横浜市民プール指定管理者	令和 1 年～現在

◆大会ライフガード業務

- ・ワールドトライアスロン／パラトライアスロンシリーズ横浜大会スイムライフガード
- ・横浜シーサイドトライアスロン大会スイムライフガード
- ・ねんりんピック
かながわ 2022
水泳交流大会
ライフガード



◆経営理念

「水での悲しい事故を起こさない」

ライフガード専門コンサルティング会社として、水での悲しい事故を起こさぬよう事故防止を第一に、管理運営体制の構築から監視スタッフの教育、事故が起きた際に救助救命活動をより効果的に行えるよう、信頼と技術力で業界のリーディングカンパニーです。

また、健康分野においても「横浜健康経営認証」取得や「かながわ健康企業宣言」、スポーツ庁の「スポーツエールカンパニー」や「Sport in Life プロジェクト」の参加団体として認定を受けています。



◆業務内容

・スポーツ施設管理運営

公共・民間スポーツ施設という資産を有効に活用するための施設管理・運営管理のソフトウェアの重要性が増してきています。スポーツ施設が安全で快適な施設・環境を維持する施設管理はもちろん、各種スポーツ大会・イベントの管理運営等ご要望にもお応えしています。

・ライフガードトレーニング

現場ではライフガードの経験・スキルなどにより、事故が起きた際には判断・救助・処置が変わってきます。ライフガードはプロであり、ゲストの安全を確保することにおいて全力を尽くさなくてはなりません。救助・救護ばかりでなく、ゲスト対応・管理などを含めたトータル的なライフガードトレーニングを行います。

・安全管理コンサルティング

培ってきた経験・実績・最新の技術をもとに施設建設段階も含めた安全面を重要視、ハード面・ソフト面等様々な観点からその施設にあったプログラムを提供致します。

・スポーツ指導サービス

スポーツ施設が多様な利用者に対して満足度の高いサービスを提供するため、ホスピタリティを持った専門スタッフの重要性がますます高まっています。水泳インストラクター・アクアエクササイズインストラクター・その他各種スポーツ教室のインストラクターと豊富な経験と資格を持った専門スタッフが魅力あふれる施設づくりを実現します。あらゆるサービスに関して企画・提案の段階から運営にいたるまで、幅広いご要望にお応えします。

【左写真 当社社員横浜トライアスロンガードの様子】

様式 8

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

C 社

本社住所	東京都北区王子三丁目 19-7
資本金	5,000,000 円
従業員数	1768 名
市内雇用者数	88 名

■経営指標（売上：千円）

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
売上高	6,685,127	6,773,974	6,500,567	5,803,054	6,705,335
純利益	38,688	69,587	38,915	125,359	174,666
売上高営業利益率	0.90%	1.60%	0.90%	0.60%	1.90%
流動比率	139%	138%	147%	153%	166%
当座比率	138%	137%	146%	152%	165%

■類似業務実績

No	委託者名	件名	期間
1	広島県	広島県立みよし公園 温水プール 指定管理者	H17. 4～ H20. 3
2	奈良県	第二浄化センター ファミリースポーツ 指定管理者 (JVの代表企業)	H18. 4～ 運営中
3	栃木県 (小山市)	栃木県立温水プール館 (50m日本水泳連盟公 認) 指定管理者	H21. 4～ 運営中
4	静岡県袋井市	袋井B&G 海洋センター 指定管理者	H19.4.1～ 運営中
5	青森県平内町	平内いきいき健康館 温浴施設、トレーニ ング室、レストラン 指定管理者	H27.1.1～ 運営中
6	群馬県 伊勢崎市	あずまウォーターラン ド体育施設（温水プ ール）指定管理者	H22.4.1～ 運営中
7	笠間・ 水戸環境組合	ゆかいふれあいセン ター体育施設（プー ル、トレーニング室）、浴 室 指定管理者	H28.4.1～ 運営中
8	秋田県 由利本荘市	大手門温水プール（遊 泳館）指定管理者	H28.4.1～ 運営中
9	福岡県柳川市	柳川市民温水プール （プール、多目的ホ ール等）指定管理者	H28.4.1～ 運営中
10	横浜市	横浜市民プール指定 管理者	令和1年～現 在

■指定管理に関する取組

平成 17 年度より広島県立みよし公園の指定管理者の指定を皮切りに、スポーツ施設の管理運営を全国十数ヶ所で行っています。

こうした運営中で自主事業を企画・立案・実行して、いろいろな住民の皆様とコミュニケーションを図ることに無上のやりがいを感じております。

弊社は、施主の設置目的を担保しながら、どのようにしたら、より効率的にその設置目的が達成できるか、より以上の価値が附加できるかが使命であると考えています。また、当たり前のことですが、企業は社会の一構成単位でしかありません。企業倫理が、社会の倫理に優先することなく、常に社会的責任を自覚し、社会的コンセンサスが確立されている環境・人権等にも積極的に取り組む企業であり続けたいと強い決意で企業活動に臨んでいます。

■沿革

昭和 54 年 2 月 株式会社三和興産として東京北区に設立し建物管理業務を開始

平成 7 年 7 月 社名を「株式会社サンアメニィ」に変更

平成 7 年 12 月 東京都北区王子に新社屋ビル完成

平成 10 年 2 月 資本金 5,000 万円に増資

平成 10 年 3 月 静岡支社を静岡市に設置

平成 11 年 1 月 愛知支社を名古屋市に、福岡支社を福岡市に設置

平成 13 年 5 月 東京都練馬区に自社ビルを購入し本店機能に移転

平成 16 年 1 月 北九州営業所を北九州市に、広島支社を広島市に設置

平成 18 年 4 月 奈良支社を奈良県三郷町に設置

平成 20 年 4 月 東京本社営業部、業務部を練馬ビルに移転、指定管理事業室を新設

平成 24 年 12 月 ISO14001、プライバシーマーク取得

平成 25 年 4 月 熊本県熊本市に熊本支社を設

平成 26 年 2 月 ISO27001 を取得

様式 8

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

D 社

本社住所	横浜市中区住吉町 2-22
資本金	48,000,000 円
従業員数	998 名
市内雇用者数	499 名

■経営指標（売上：千円）

	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
売上高	3,600,000	3,600,000	3,400,000	3,200,000	3,300,000
純利益	△290,000	97,000	103,000	49,000	62,000
売上高営業利益率	2.70%	2.30%	2.60%	1.20%	2.10%
流動比率	172%	261%	210%	217%	208%
当座比率	171%	260%	209%	216%	207%

* 平成 30 年の赤字決算は「創業者死亡」による慰労金等支払いのため

■類似業務実績

No	委託者名	件名	期間
1	小山市	小山文化センター指定管理者	2008 年 4 月～現在
2	神奈川県	西湘地区体育センター指定管理者	2009 年 4 月～現在
3	横浜市	横浜市立山内図書館指定管理者	2009 年 4 月～現在
4	横浜市	横浜市立栄プール委託	2020 年 3 月まで
5	横浜市	横浜村上郷森の家委託	2019 年 3 月まで
6	横浜市	横浜プールセンター委託	2018 年 3 月まで
7	横浜市	横浜市民プール指定管理者	2019 年 4 月～現在

* その他一般施設の維持管理は 400 件以上/年

■企業紹介

顧客のニーズを確実に把握し提供する事を経営の目標とし、従業員、家族、顧客、社会の皆様へ感謝の気持ちを持って行動することを基本に創業 59 年を迎え、ビルメンテナンス業一筋に励んで参りました。建物管理の基本というべき館内、施設内の来客者・従業員も含め安全・安心をお届けすることをモットーに、オフィス、大型ショッピングセンター、病院等約 400 施設を管理しております。

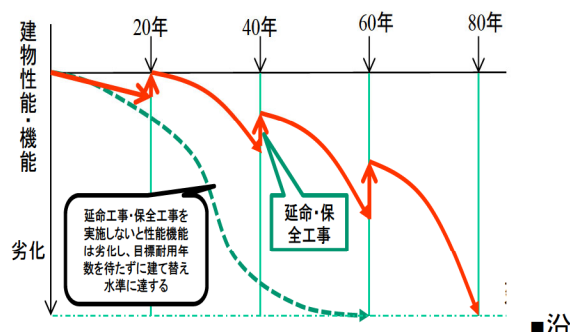
■指定管理者

指定管理物件には、小山文化センターを皮切りに、横浜市の案件では山内図書館、類似スポーツ施設として西湘地区体育センターの指定管理者として建物の施設管理を担っております。

■プール管理

横浜プールセンターの清掃業務及び設備管理、過去には現在老朽化により閉鎖中の本牧市民プールの清掃、設備管理の実績があります。さらに横浜市の建物の長寿化政策の一端として市施設 170 ヲ以上の建築基準法第 12 条点検並びに劣化調査を請負、現在も A・B・C 判定による修繕の実施時期等をまとめ、報告書を提出しています。（施設劣化診断の活用は施設寿命を伸ばします）

今回のプール指定管理者の施設においても、これらの調査実績を活かします。



革

1959 年 3 月 東京都品川区にて会社を設立 / 資本金 540 万円

1976 年 12 月 資本金 2,000 万円に増資

1980 年 4 月 栃木営業所開設

1981 年 2 月 横浜市西区に本社移転

1981 年 9 月 建築物環境衛生一般管理業登録

1984 年 7 月 資本金 4,800 万円に増資

1986 年 8 月 横浜市中区に本社移転

1994 年 10 月 医療関連サービスマーク適合認定

1996 年 8 月 一般建築業許可

1996 年 12 月 大阪営業所開設

2002 年 4 月 ISO9001 を認証取得

2005 年 4 月 東京支店開設

2010 年 7 月 プライバシーマーク認証取得

2011 年 8 月 ISO14001（環境 ISO）を認証取得

様式 8

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■構成企業各社はホームページを通じ、情報公開を行っています。

A 社 https://www.kbs-bm.co.jp/	
B 社 http://www.lifeguard.jp/	
C 社 https://www.sunamenity.co.jp/	
D 社 http://www.sanyosoubi.co.jp/	

■各企業では、必要に応じた情報公開をホームページで行っています（下記は A 社 例）。

-  個人情報保護方針
-  派遣業マージン率
-  CSR 地域貢献企業方針
-  中途採用比率の公表・一般事業主行動計画及び女性活躍に関する情報公表
-  ハラスメント防止に関する方針
-  育児介護休業に関する方針

- 構成企業は類似施設の運営実績も多数あり、ノウハウが活用されます。
- 必要な資格はもちろん、高いレベルのサービスを提供するため豊富な人材を抱えています。

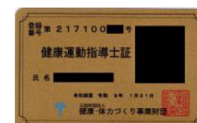
■構成企業社員が取得している資格

●プール運営管理に関連する資格（主なもの）

日赤水上安全法指導員	日赤救急法指導員	上級体育施設管理士	体育施設管理士
体育施設運営士	水泳指導管理士	プール衛生管理者	プール施設管理士
健康運動指導士	公認水泳教師	公認水泳コーチ	スポーツプログラマー
柔道整復師	あん摩マッサージ	鍼師、灸師	アスレティックトレーナー
幼稚園教諭免許	小学校教諭免許	中学保健体育科教員免許	高校保健体育科教員免許
警備員指導教育責任者			

●施設維持管理に関する資格（主なもの）

建築物環境衛生管理技術者	電気主任技術者	防火管理者	ボイラー整備士
建築物清掃管理評価資格者	電気工事士	危険物取扱者	冷凍機械責任者
空気環境測定実施者	ボイラー整備士	消防設備士	冷媒フロン類取扱技術者
建築設備検査員	冷凍機械責任者	消防設備点検資格者	



様式 9

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

2 施設の平等・公平な利用の確保

(1) 公共性・公平性に基いた利用の確保

■地方自治法、条例を理解し、すべての業務で公平、平等性を確保

- ① 正当な理由がないかぎり、利用を拒みません。
- ② マニュアルの作成や研修等を行い、全職員がすべての対応を公平・平等に行います。
- ③ 情報発信や施設の利用しやすさ等においても公平・平等に注力します。
- ④ 苦情・要望についても平等・公平に対応します。

■条例及び地方自治法等遵守

- ・ 地方自治法 第 244 条
- 第 2 項 指定管理者は正当な理由がない限り、住民が施設を利用することを拒んではなりません。
- 第 3 項 指定管理者は、住民が施設を利用することについて、不当な差別的取り扱いをしてはなりません。

■その他法令遵守

- ・ 公共サービス基本法等を遵守し積極的に利用者支援を行い、安全・安心に利用いただけるように取り組みます。
- ・ 遺失物、拾得物の管理保管は遺失物法を順守した対応を行います。

■公平平等利用の仕組み作り

取組分野	主な施策
マニュアル等の活用による均一な偏りがない業務	受付から案内等にいきける標準手順やツールの準備 言葉使いや接遇の基本を標準化
接遇や人権等の教育	法令の理解や言葉使いや接遇の基本を定期的に教育
誰でもが使いやすい施設への見直し	階段や手すり等のユニバーサル化 掲示物の文字の大きさ配慮
障がい者や高齢者も参加できる教室の展開	水泳教室に障がい者や高齢者も参加できる教室開催
誰でも認知しやすい情報発信	HP の文字拡大、読み上げ機能や外国語対応

■マニュアル作成と研修

受付等では細部にわたるマニュアル作成と研修を実施します。

■施設利用許可・貸出

- ・ 正当な理由がないかぎり、利用を拒みません。
- ・ 特定団体や個人を優遇しません。
- ・ 利用希望が重複した場合は抽選等により公平性を保ちます。
- ・ 高齢者、障がい者や外国人等を差別しません。

■接遇

- ・ すべての対応は、相手を尊重し、懇切丁寧を基本とします。
- ・ 多様な要望に対応する場合も、特定の利用者の意見に偏らないよう配慮します。
- ・ 問題が生じた場合は、市に報告するとともに、原因追究から再発防止策まで徹底します。

■英語等外国語対応

- ・ 外国語利用ガイド・英語によるガイドが可能
- ・ 防災マニュアル・英語による案内

■利用拒否等

条例には利用の制限も明記されています。適用は慎重に検討します。必要な場合、速やかに市に相談・報告します。

【英文接遇マニュアルイメージ】

毎年見直し



様式 9

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■ユニバーサルサービス

利用される方に公平でよいサービスを行うためにユニバーサルサービスに取り組みます。

	内容	対象
挨拶	職員による元気でさわやかな挨拶と暖かい笑顔でお迎えと見送りを実施します	全ての来館者
受付	筆談ボード、拡大鏡等の準備「耳マーク」の掲示	障がい者 高齢者
案内・誘導	不安を感じさせないよう、案内誘導や車いすの介助を行います	障がい者 高齢者
その他	幼稚園児や小学生低学年の対応は目線を低くし、ゆっくりとわかりやすい会話の実施	子ども 対応

■ツール等の準備

- ・耳マーク掲示、筆談ボード、車椅子の設置等ハンディキャップのある方にも対応できるようにします。
- ・案内サイン、利用ルール、注意書き等を多言語表記とします。



筆談ボード

耳マーク

■階段や手すり等の点検

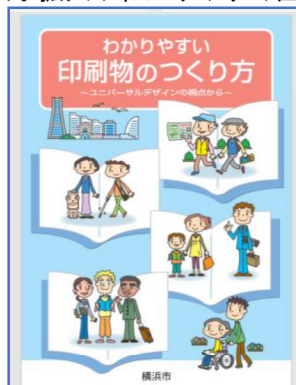
施設内の段差、階段等を点検し、可能な範囲でユニバーサル化を実施します。

■誰でも認知しやすい情報発信

- ・HPの文字拡大、読み上げ機能や外国語対応
- ・英語利用パンフレットの作成

■掲示物のユニバーサル化

- ・掲示物の文字拡大やわかりやすく図示化



【わかりやすい印刷物のづくり方 横浜市】

■障がい者や高齢者も参加できる教室開催

成人向け水泳教室、スタジオ教室には「多くの高齢者」に参加いただいています。

- ・障がい者向け水泳教室

障がい者施設等を訪問し、ニーズや参加の可能性、実施する場合の留意点等段階的に調査検討します。

■想定される教室

- ・主に発達障がいのある方向け
- ・主に知的障がいのある方向け
- ・主に身体障がいのある方向け

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
ニーズ調査	→				
準備		→			
モデル教室実施			→		
展開・見直				→	

■障がい児親子水泳教室（企画例）

料金:15,000円

開催回数:10回

※お子様1名につき保護者1名

※保護者の方にはお子様の指導のご協力をいただきます。

※泳力・お子様のご様子を見た上で、お子様にあった練習ブロックに振り分ける場合があります。

■インクルーシブ水泳教室（子どもむけ）

障がい者と一般の子どもと一緒に水泳教室に参加いただいています（実績があります）。

■LGBTQへの配慮

更衣等で不安がある方がおられれば、職員更衣室等他のスペースをお貸しします。

様式 9

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■団体利用における平等の確保

プールコースや多目的室で団体貸切利用等が重複した場合、横浜市と相談したうえで「調整会議」開催させていただきます。

■個人利用における平等の確保

・教室参加

定期開催するスポーツ教室は「窓口による申し込み」「ネットによる申し込み」を可能にします。応募者多数の場合は「抽選」により参加者を決定します。抽選は公開します。

・フィットネスルーム

初めの方には「利用説明」を行います。また、利用が混雑するマシンは「使用ルール 例 30 分回」を掲示します。
マシン予約ボードの設置も行います。

■減免基準の遵守

施設使用料の減免について、条例や規則を遵守します（表内文書は要約しています）。

減免額	適用範囲
全額	身体、精神障害者手帳の交付を受けている者が個人利用する場合に付き添う介助者 1 名の料金
半額	市が主催、共済する体育行事に利用する場合
	身体障がい者手帳等の交付を受けている者の利用料金
	法令に規定された社会福祉事業で利用する場合

■要望・苦情への対応

- ・苦情対応は「お話を良くお聴きする」及び「迅速対応」が「かなめ」です。
- ・内容確認から対処、再発防止までマニュアル化し、研修等により確実に対応します。
- ・苦情等に対応した結果は本人、市に報告すると共に可能な範囲で公表します。

■苦情の未然防止

- ・職員による過去の発生事例・対応の共有化を行い、接遇等のトレーニングを常時、行います。

■苦情対応で大切なこと！！

- ①良くお話を聴き、放置しないこと、時間をかけないこと
- ②担当者レベルで判断しないこと（責任の所在を明らかにすること）
- ③相手の気持ちを十分汲み、理解すること

■苦情等に関する研修の実施と記録

受け付けた要望・苦情は記録に残し、改善等に役立てます。

■苦情の対応結果公表

苦情の対応結果については可能な範囲で掲示板等に公表するなど対応を明確にします。

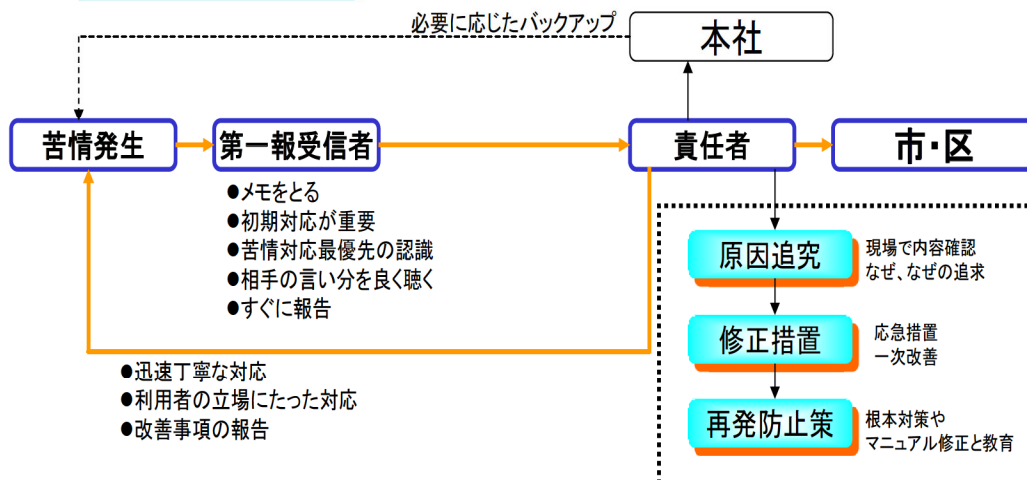
お客さまの声

トイレが匂います



排水溝を清掃し消臭剤を設置しました

苦情処理の対応



3 施設の効用の最大限発揮

(1) 利用者本位のサービス提供

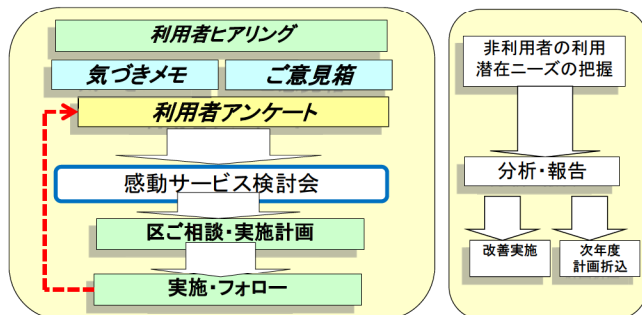
■サービス向上委員会の設置によるサスティナブルな利便性向上施策の実施

- ①様々な手段で利用者ニーズや不満を把握し対応します。
- ②利便性向上はマーケティング的な視点を取り入れ検討します。
- ③ベンチマーキングや非利用者（潜在的利用者）のニーズから新たなサービスを提供します。
- ④施策は効果や費用から実施方法や優先順位を決めます。

■サービス向上委員会の設置によるサスティナブルな利便性向上施策の実施

社会環境の変化等により、利用者のニーズや社会的な要求も変化します。各部門の責任者や施設職員が参加する「サービス向上委員会」を四半期ごとに開催し、利便性向上や業務改善施策を検討します。

	委員会の構成	人数
統括管理本部	本部長 本部事務局員 構成企業代表	5名程度
施設責任者	各施設責任者又は代理	3名
その他	管理本部から指名された職員	3名程度



【附箋による改善アイデア発掘風景】



■貸切利用、個人利用への支援体制

利用形態	支援体制
貸切利用	・早朝夜間利用時間外利用可能 ・利用相談窓口の設置 ・貸切利用案内の作成 ・利用事例集の作成 ・貸切可能なことの情報発信 ・貸切利用時の水面監視等への相談受付 ・貸切利用者者への教室開催 ・送迎バスの運行（保土ケ谷） ・送迎バスの運行（金沢）

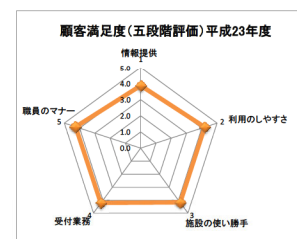
■朝夜間利用等時間外利用可能

近隣中高校の水泳部と相談し、「早朝練習 7:00~9:00、夜間 17:00~19:00 利用いただいております。」

個人利用	利便性向上施策参照（16 頁） 例／ 電子マネーの利用可能 送迎バスの運行（保土ケ谷） 送迎バスの運行（金沢） 大型ロッカーの設置
------	--

■利便性向上のため多様な手段で利用者ニーズ把握（施設に関するニーズはCS アンケートだけでは不十分です。多面的な把握が重要です）

- ・利用者アンケート
- ・意見箱の設置
- ・利用者懇談会の開催
- ・教室参加者へのヒアリング
- ・団体利用者アンケート
- ・イベント参加者アンケート
- ・職員自ら発見する「日常の気づきメモ」



様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

- ベンチマーキングや非利用者（潜在的利用者）のニーズから新たなサービスを提供
 - ・他自治体や民間企業が運営するプールの情報を収集し、サービス向上へ活用します。
 - ・学校訪問、近隣施設を訪問し、利用の可能性や利用時のニーズを把握し対応します。

近隣中学校を訪問し、授業やクラブ活動への利用を相談した実績があります

- 利用利便性向上はマーケティング的な視点を取り入れ検討します。

・AIDMA の法則活用

	Attention : 注目	Interest : 興味	Desire : 欲求	Memory : 記憶	Action : 行動
利用者	知らない	興味なし	利用したいと思わない	覚えていない	利用機会がない
施設運営者	認知させる	理解してもらう	ニーズを促す	接触機会を増やす	利用機会をつくる

- ・利用者の利用プロセスに着目し、各プロセスで利用利便性を向上させます。

探索⇒来場⇒利用⇒帰路

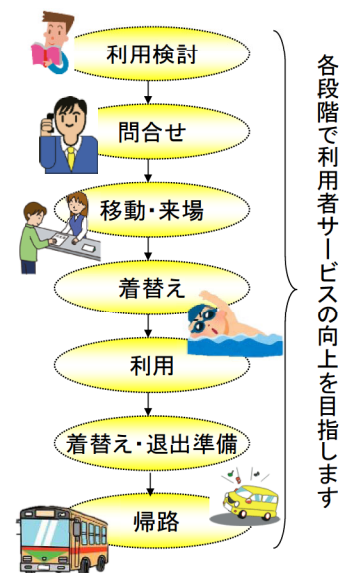
- ・利用者の層別やカテゴリー化等を行い、それぞれに向けたサービス向上施策を検討します。

【検討テーマ事例】

年代層別	施策検討案 例
10 代以下	夏休み中「皆で宿題コーナー」の設置
20～50 代	キャッシュレス トレーニング機器の設置
60 代以上	休憩コーナーの設置 「健康セミナー」の開催

カテゴリー	施策例
子育てママ	定期的な託児所開設 キッズスペース設置や拡充 仲間づくりを支援
車で来場者	プール、駐車場の混雑度合を随時 HP で提供
バス等で移動が 嫌いな人	期間限定送迎バス サイクルステーションの設置（ダイチャリ）
団体（グループ 利用希望）	利用相談の設置 利用事例パンフレットの作成

【利用のプロセス】



- 施策は効果や費用から実施方法、採算性や優先順位を決定
実施施策は「即実施可能」から「投資が必要なもの」「検討に時間がかかるもの」や「効果の大小」等があります。統括管理本部やサービス向上委員会にて計画的且つ継続的に実現を図ります。現在検討中の施策にも詳細見積、実施計画が必要なものがあります。

サービス向上や利用増のための提案項目の位置づけ

VM: バリュフォーマネーのことで投資対効果の考え方

実施に関する費用	D 費用削減や他の方法検討	C VMから予算等別途検討
	B 効果検証後実施検討	A 即実施検討

サービス向上や利用増の効果の大きさ

* 効果の大きさはイメージ（将来はアンケート等で定量化）

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

【現在検討中の利便性向上施策】＊一部の施策は利用促進」と重複しています。

№	施策（アイデアレベル）	プロセス	位置づけ	対象施設			実施予定年度 (検討開始時期含む)				
				港	保	金					
1	サービス向上委員会の設置・・・職員による定期的なサービス向上施策の検討会	検討	A	○	○	○	6	7	8	9	10
2	開館時間の維持年間通じて 9:00～20:00 (都築、旭は 10:00～20:00)	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
3	団体貸切による時間外利用対応の継続 例 早朝 7:30～9:00 夜間 20:00～21:30	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
4	「よこはまウォーキングポイント」設置施設	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
5	送迎バスを配車 保土ケ谷プール/金沢プール	移動	A		○	○	6	7	8	9	10
6	利用状況（利用人数、駐車場の混雑）のリアルタイム発信（SNS・HP にて）	探索	A	○	○	○	6	7	8	9	10
7	サイクルステーション設置（自主事業重複）	利用	B	○	○	○	6	7	8	9	10
8	利用相談の配置（施設責任者兼務） 団体利用、借切り利用に関する相談受付	探索	A	○	○	○	6	7	8	9	10
9	福利厚生団体との連携継続 公立学校共済組合・地方職員共済・神奈川県警 友会・駐留軍の福利厚生団体との利用契約継続 し、利用促進	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
10	キャッシュレス決済の導入 電子マネーやプリペイドカードが利用可能	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
11	プール用品の販売、貸出の継続	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
12	セーフティーボックスの設置継続	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
13	更衣室内ロッカー新規設置 大型ロッカー設置 (港南・保土ケ谷のロッカーは新しいものに入れ 替えます ロッカー破壊による盗難防止への取組み	利用	B	○	○	○	6	7	8	9	10
14	レンタルロッカーの設置	利用	B	○	○	○	6	7	8	9	10
15	クールシェア・ホットシェアとしての市民利用	利用	A	○		○	6	7	8	9	10
16	子育て世代の「仲間づくり」の支援	利用	B	○	○	○	6	7	8	9	10
17	キッズスペース設置の継続	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
18	子育て家庭応援事業「ハママグ」の協賛施設横 浜市子ども青少年局地域子育て支援課が実施し ています。授乳スペース等を設置 子育てをする家庭に優しい施設を目指す	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
19	LGBTQ の方の着替え室確保	利用	B	○	○	○	6	7	8	9	10
20	無料 WiFi (ワイファイ) 設置	利用	A	○		○	6	7	8	9	10
21	休憩・情報コーナーの設置 水泳関連の雑誌・書籍	利用	B	○	○	○	6	7	8	9	10
22	公共交通案内	帰路	B	○	○	○	6	7	8	9	10
23	雨天時傘の貸し出し	帰路	B	○	○	○	6	7	8	9	10
24	近隣の飲食マップ	帰路	B	○		○	6	7	8	9	10

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

■費用のかかるサービス向上施策は内容の詳細や投資対効果等を検討し可否を検討します

- ・サービス向上施策は事業統括本部又はサービス向上委員会で検討します。
- ・案件毎に内容、費用、効果、実施課題等を検討し、実施・継続検討・却下等を判断します。

【№8 案件】

サービス向上案検討シート				施設名		全施設	
				作成日		202306608	
				作成者 検討担当者		米良	
テーマ名	利用料支払いのキャッシュレス化						
テーマ狙い	プール利用料の支払いを電子マネーを利用を可能にする						
定性的効果	利用者が小銭等を準備する必要がない 交通系電子マネーの普及率は95%を超えており、そのまま使用できる、ことは利用の利便性を大きく向上する ぷりペーどカードは電子マネーカードを持たない子供たちに便利 1000円チャージ分で「利用料」「飲み物」「アイス」に使える 保護者も持たせやすい						
テーマ内容 電子マネー支払い機導入 基本料機 6000円/月 手数料3% できれば2025年4月から実施したい 先行施設(例 保土ヶ谷プール)で実施し 効果等検証し、その後は他施設展開							
プリペイドカードは調査中							
費用等は年間(12か月)で計上				検討日	2023年6月15日		
費用	費目	原単位	金額	備考	実施可能性	市の承認必要 経理処理の方法理解必要	
	人件費		0				
	材料費		0				
	手数料	電子マネー支払い30万	108,000	約3%	購入調達可能性	業者は多数あり 詳細見積実施中	
	リース代	6000円/月	72,000				
	合計		180000				
収入	利用料収入		不明	増加分	総合評価	実施 継続検討 却下 その他 実施を前提に調査 詳細見積入手実施 6月末まで 次回8月再検討	
	その他収入		0				
	合計		180,000				
	採算性		-180000				
採算性評価 収入増加予測は不可能				責任者サイン 事業統括責任者 施設責任者			
投資額							

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■金沢プール利用促進施策

【送迎バスの運行】＊保土ケ谷プールと狙いが異なるため詳細を掲載

テーマ：金沢プール利用促進施策 送迎バスの運行

背景：

金沢プールでは、平成 30 年に施設最寄り路線バスが廃止された。その後、コロナの影響もあり大幅な利用者減少となりました。

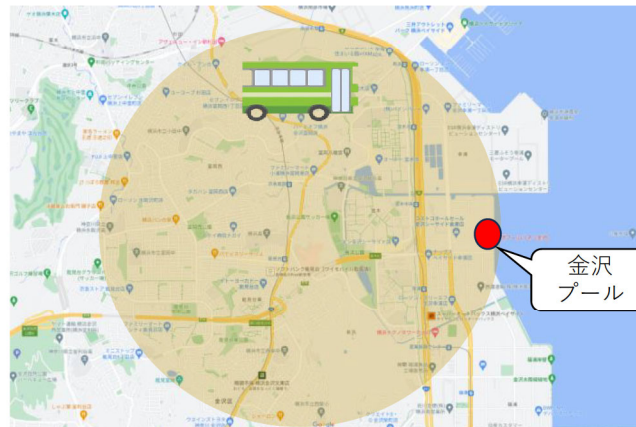
最寄り駅徒歩 10 分程度かかり不便を訴える利用者もおられます。さらに、「ロケーションが良い場所にあること」、「浴場やレストランが併設されていること」等の施設価値が十分に発揮しているとは言えません。

一方、金沢プールのレストランは「食べログ」等の SNS 評価の影響か若い世代の女性客が増加傾向にあります。

主旨：

施設の強みを生かし「余暇時間消費プール」「滞在型プール」を目指します。そのための、最寄り駅、近在の大型団地等を巡回する無料送迎バスを運行します。

同時に「エントランスホール」「休憩室（和室）」のレイアウト改善を行い、快適空間を演出します。



【現在のエントランスホール】



【現在の休憩室】

最寄り駅⇒金沢プール					
10	0	30	18	0	30
11	0	30	19	0	30
12	0	30	20	-	-
13	0	30	21	-	-
14	0	30	22	-	-
15	0	30	23	-	-
16	0	30	24	-	-
17	0	30			

金沢プール⇒最寄り駅					
10	-	50	18	20	50
11	20	50	19	20	50
12	20	50	20	20	50
13	20	50	21	-	-
14	20	50	22	-	-
15	20	50	23	-	-
16	20	50	24	-	-
17	20	50			

【バス時刻表イメージ】

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書



【レストラン イメージ】

■解決しなければならない課題と対応・・・実施はR6年4月

課題	調査や対策	時期
送迎バス運行の利用 人数増加効果が不明	スーパー銭湯などでは事例あり	R5年12月
実施に係る費用詳細が必要	自社運行か委託（神奈中等）か？ 車リース代 ドライバー人件費	R6年1月
関係法令の有無、保険等確認	横浜市に相談 保険見積	R5年12月
横浜市の考え方確認必要	横浜市に相談	R5年12月
実施等の最終判断	実施可否の判断を総括本部会議で実施	R6年2月
運行ルート	過去の運行バス等ルートを確認	R6年2月
安全運行のルールや手順	ドライバーの資格や必要経験を決定 乗車時や下車時の安全確認ルールマニュアル作成	R6年2月
効果的なPRの方法	市広報への記載 新聞等へも取材・記事依頼	R6年3月

計算前提：

令和6年度 毎日100名の利用増
340日×100人＝年間34,000人利用増
浴場セット利用
大人800円 子ども400円
（濱とも割 400円）

収支計算（R7年）・・・イメージ

収入（一般利用は子供・大人半々）

高齢者 400円×17,000人＝680万円

一般利用増 600円×17,000人＝1020万円

合計 1700万円

支出

送迎運転手（1人） 400万円

バスリース 120万円

保険・燃料費・その他雑費 120万円

合計 640万円

収支 +1060万円

最低50
人/日
増で収
支均等

【収支イメージ】

様式 10

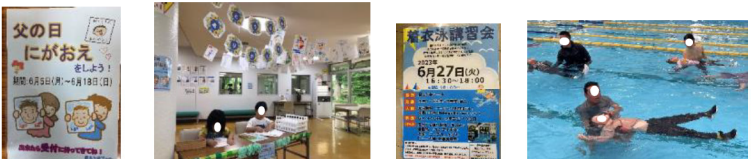
単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

■【施設活性化の為にイベント開催】

プール利用者の為だけでなく、地域コミュニティの場として誰もが楽しめる施設にしていきます。毎月テーマを決め、館内装飾をし、季節を感じる参加型のイベントを行い、市民に愛される施設づくりをしていきます。

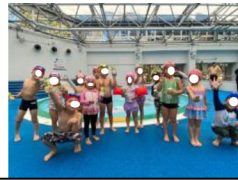
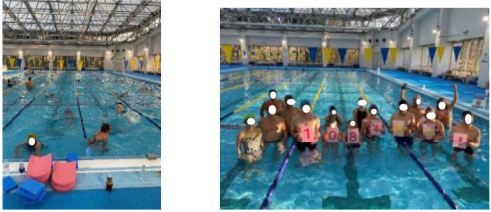
過去5年間に行ってきた季節を感じる定期イベント・・・今後継続します

1月	お正月装飾・振舞い甘酒 	ピットリスイムイベント 
2月	節分イベント 	
3月	お雛様飾り 	桜並木を見に行こう！ 
4月	桜の木を作ろう！ 	
5月	兜飾り 	5m フラッグの鯉のぼり装飾 
	わくわく球技大会！ (こどもの日イベント) 	母の日工作！ 
6月	あじさい装飾 	父の日にがえを書こう！ 着衣泳講習会 

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

7月	<u>七夕飾り</u> 
8月	<u>夏祭り装飾</u> 
10月	<u>ハロウィン装飾・イベント</u> 
11月	<u>プール誕生祭</u> 【マルシェ】  【キッチンカー】  【ダンス発表会】  【宝探し】  【水鉄砲合戦】  【水上マット走り】 
12月	<u>ウィンターイルミネーション</u>  <u>クリスマス装飾</u>  <u>煩惱スイム 108 本!</u> 

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

(2) 広報・利用促進活動

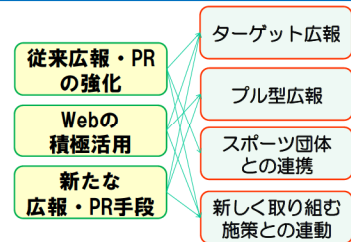
- ①多面的な広報・PRを継続的に実施
- ②利用促進のために対象を明確にした戦略的な広報・PR活動
- ③利用促進のための専任スタッフの配置「営業活動」
- ④地域への「地道な広報・PR活動」も展開

運動・スポーツの普及、振興や利用増のために対象を明確にした戦略的な広報・PR活動を実施します。利用いただくのを待つのではなく、企業等訪問営業に出かける広報を積極的に行います。

【年代別効果的広報】

	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代以上
ホームページ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
SNS	◎	◎	○	△	△	×
広報誌	×	×	△	△	◎	◎
施設だより	×	×	△	△	◎	◎
リーフレット	△	△	○	○	○	○
施設掲示板	×	○	○	○	○	○
新聞等	×	△	○	○	◎	◎
回覧板	×	×	○	○	◎	◎
口コミ	○	◎	◎	◎	◎	◎

■情報入手は「広報よこはま」「インターネット」



		回答数	%
全 体		200	100.0
1	広報よこはま	71	35.5
2	新聞記事	17	8.5
3	折込広告	7	3.5
4	雑誌、無料情報誌	11	5.5
5	ハマスポ（情報サイト）	9	4.5
6	電車・バス・駅	15	7.5
7	家族・友人・知人からの口コミ	23	11.5
8	インターネット（施設やイベントのホームページ）	51	25.5

「参考情報 R4 年度横浜市民スポーツ意識調査」

■市民プール連絡協議会の設置、ホームページ、SNS、広報よこはまを優先的に実施

	内容	備考	ターゲット
市民プール連絡協議会の設置	市内プール管理者の連絡会「水泳が健康に役立つ」等の啓蒙や広報は「全体」で実施が効果的	初年度事務局	横浜市民全体
ホームページの充実	施設概要、利用案内、申込手順 アクセス 教室等の紹介、案内（英文等多言語化検討）	ホームページ更新	利用探索者（全施設対象であり、市民全体）
SNS	施設情報の定期配信	本社支援	希望者
ポスティング	教室募集時は新聞チラシ 教室やアクセス方法	保存版も実施	地域住民
マスメディア	大会開催、社会貢献イベント		市民
地域自治会	教室募集案内		地域住民
パンフレット	施設概要、利用案内、アクセス	パンフレット見直し	一般利用者、団体（配布による）
見学会	見学会を開催		幼児・児童
展覧会	運動・スポーツ写真、絵の展覧会	団体に呼びかけ	
体験会	運動・スポーツ体験ができる案内	市内施設	未経験者
施設だより	各施設の利用例 各種教室実施状況（自主事業含む）スタッフ紹介	定期的な発行	市民
広報よこはま	イベント、自主事業の告知	市への依頼	市民全体
訪問営業	近隣施設への活動案内	訪問	学校、幼稚園、団体
	見込み顧客訪問 公共施設との連携	イベント、自主事業告知と集客	パンフレット等配布

* 赤文字を優先して実施

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

■市民プール連絡協議会の設置

- ・市内プール管理者の連絡会
- ・「水泳が健康に役立つ」等の啓蒙や広報は「全体」で実施が効果的
- ・イベントや連携行事も可能
例／夏休み子どもスタンプラリー
謎かけクロスワードゲーム
- ・インシデントの共有
- ・初年度の事務局を担います
- ・横浜市と相談（承諾や協力等）

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
問いかけ	→				
会合	→				
合同施策 検討		→			
展開・見 直			→		

■SNS から紙媒体まで活用

①SNS の活用

Twitter, Facebook 等リアルタイムで情報発信します。

特に Twitter はリアルタイム情報提供と入手に大きな効果を上げています。
駐車場情報、混雑状況は Twitter を中心に提供します。

②テレビ・ラジオの活用

イベント等は各局にリリースします。

③新聞折り込みチラシ

ポスティングの活用

④充実したホームページの運用

ホームページは年齢、性別などかわらず多くの方への広報手段です。施設コラム・スタッフブログを更新し、施設の紹介だけでなく、様々な情報を提供します。

⑤LINE などのアプリ運用

世代を超えて多くの方が利用しているアプリを利用した広報手段を活用・運営します。

- 休館、開館、利用状況、駐車場混雑情報
- 多言語対応
- 読みあげ機能
- 動画利用

■地道な営業活動

（実施しています）

- ・区役所に訪問しプール案内等の専用ラック設置
- ・自治会長様を訪問し、地域掲示板にポスター・回覧板に添付



【保土ヶ谷区役所専用ラック】

■施設情報誌の発行

- ・施設の状況やイベント、コラムをまとめた施設情報誌を4回年発行します。



■デジタルサイネージの利用

- ・施設のホームページとリンクしたデジタルサイネージを導入します。
- ・リアルタイムで施設の情報を利用者や訪問者にお届けします。



■コミュニティ機能を発揮

- ・一緒に練習したいサークルメンバー募集
- ・看板、ポスターの利用
- ・地域コミュニティとの連携した広報



【保土ヶ谷プールの地域掲示板】

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

【現在活動中又は検討中の利用促進活動施策】・・・一部利便性向上、地域連携、支援と重複

	施策（アイデアレベル）	プロセス	位置づけ	対象施設			実施予定年度 （検討開始時期含む）				
				港	保	金	6	7	8	9	10
1	プール連絡協議会の設置		A	○	○	○	6	7	8	9	10
2	見込み顧客の訪問営業 管理本部に1～2名の専任者配置		A	○	○	○	6	7	8	9	10
3	託児サービス（付き教室開催）	利用	B	○	○	○	6	7	8	9	10
4	「みる」スポーツイベント開催	利用	B	○	○	○	6	7	8	9	10
5	ランニングステーションとして利用可能	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
6	保土ヶ谷プール送迎バスの配車	移動	B		○		6	7	8	9	10
7	金沢プール送迎バスの配車	移動				○	6	7	8	9	10
8	トレーニングマシン設置の継続	利用	C		○	○	6	7	8	9	10
9	スタンプカードの発行継続	利用	B	○	○	○	6	7	8	9	10
10	夏休み宿題コーナーの設置	利用	B	○	○	○	6	7	8	9	10
11	健康増進施設認定への取り組み（金沢プール）	利用	B			○	6	7	8	9	10
12	指定運動療法施設認定への取り組み （保土ヶ谷プール）	利用	A		○		6	7	8	9	10
13	体成分測定器の設置	利用	B	○	○	○	6	7	8	9	10
14	日本水泳連盟泳力検定の継続	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
15	開館時間の維持通年 9：00～20:00 （都築・旭は10:00～20:00）	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
16	定期型利用券の設定	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
17	他プール、体育館との連携	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
18	金沢プール教室参加は浴場利用券付	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
19	パーソナルトレーニング 個人や仲間（例夫婦）に個別にレッスン実施	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
20	金沢プール 2024 年パリオリンピックでパブリックビューイング実施					○	6	7	8	9	10
21	様々なスポーツ（フロア）教室等の開催（スポーツ教室に掲載）	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
22	プールコース専用貸し促進・継続（専用コース利用団体の誘致活動） 市内水泳サークルの活動団体やマスターズ大会への参加者、参加サークル支援	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
23	学校部活動支援の継続 時間外利用やコース貸し	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
24	水泳ビデオクリニック	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
25	団体の記録会開催支援や貸切の利用支援	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
26	年間イベントの開催（毎月イベントを行います）	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
27	スポーツ講師派遣（アウトリーチ活動）	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
28	オリンピックの水泳教室・イベント （プールサイドでの見学会含む）	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
29	マイナースポーツの体験会	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
30	地域コミュニティ（自治会等）と連携したイベントの企画	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
31	ロビー等で水泳関連ビデオ上映会	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
32	教室終了後の参加者活動支援（教室参加者をフォローしサークル立上）	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
33	総合スポーツクラブとの連携	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
34	部活動地域移行推進	利用	B	○	○	○	6	7	8	9	10
35	曜日限定イベント	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10
36	地域スポーツイベントに「水泳」を追加	利用	A	○	○	○	6	7	8	9	10

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

■施設の利用データを多面的に収集・分析し、利用増のために効果的な施策に活用します。

■施設利用のデータの活用

「利用データ」の積極的な活用を進めます。

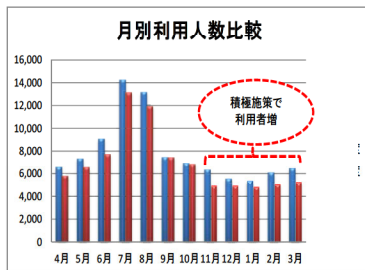
私たちは従来からデータに基づいた、利用増施策、顧客満足向上の経験があります。
今後も利用者データを活用し、利用増施策、顧客満足向上を図ります。

◆月別利用データの分析 例

11月以降の利用促進の工夫が必要。

体育の日イベント強化、クリスマス会、記録会等実施

- ・11月から3月は積極的なイベント（健康と運動）を開催する
- ・みる・ささえるイベント開催
- ・記録会等魅力的なイベント実施



保土ヶ谷プールリニューアルオープンイベント
アデネオリンピック
北京オリンピック
200m 背泳ぎ 銅メダリスト

中村礼子
スイムクリニック
&メダル撮影・サイン会

中村礼子選手は、2000年アテネオリンピック、2004年アテネオリンピック、2008年北京オリンピック、2012年ロンドンオリンピックで、200m背泳ぎで銅メダルを獲得した。また、2004年アテネオリンピックで、200m背泳ぎで銀メダルを獲得した。2008年北京オリンピックで、200m背泳ぎで銅メダルを獲得した。2012年ロンドンオリンピックで、200m背泳ぎで銅メダルを獲得した。

参加費 無料

日程 2021年6月10日(木)
スイムクリニック 10時～12時(先着申込20名まで)
メダル撮影・サイン会 12時～14時(先着申込20名まで)

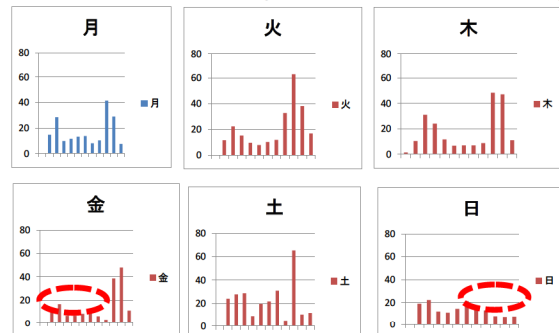
申込み 2021年6月3日(木)19時00分～先着20名

申し込み先 保土ヶ谷プール 045-242-2003 ksc.hodogaya.pool@gmail.com

例／オリンピックによる水泳教室の開催

・曜日別データから見る利用施策 例

金曜日の午前や日曜日午後のイベント開催



【分析数値はイメージ】

■施策例

・曜日・時間帯限定イベント

日曜日午後：初心者向け無料水泳指導

■利用者アンケート（追加項目）

利用者アンケートに項目を使いし利用増につなげる。

- ・お住まい：区外者の利用程度を把握しニーズ対応
- ・交通手段：来場手段を理解し利便性向上施策検討

■クロス分析

顧客アンケートに利用者のお住まいや年齢層を追加し、クロス分析を実施します。

ターゲット別に的確な施策実施が可能となります。

Q1. あなたは、どのくらいの頻度で読書や雑誌を利用しますか。(それぞれ1と5で評価)

インターネット上の読書サービス

	ほぼ毎日	週4/5日	週2/3日	週1日	月2/3日	月1日	年に数回以下	使わない
全体	1000	29	33	84	74	110	66	168
性別	男性	484	12	21	53	39	58	43
女性	524	17	12	31	35	52	25	86
年代	10代	154	8	5	13	12	20	15
20代	161	7	6	21	18	19	4	25
30代	180	5	8	12	17	12	15	31
40代	177	2	8	21	8	22	12	26
50代	163	2	1	8	11	17	9	29
60代	173	5	5	9	8	20	13	37

【クロス分析イメージ 例】

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

(3) スポーツ教室等の計画

■スポーツ教室等の基本方針

- ①生涯スポーツ活動の動機付けを目指し、子どもから高齢者まで参加可能なスポーツ教室を開催します。
- ②横浜市スポーツ推進計画の達成の寄与する内容や運営を目指します。
- ③開催方法は、年間を5区分し、時期や季節を考慮した教室を計画します。
- ④施設を活用した「スタジオ教室」を開催し、プールを起点とした、運動・スポーツの拠点を目指します。
- ⑤定員・回数、参加費用を工夫し、参加者の選択の幅を広げます。
- ⑥受付では「インターネット」を活用した申し込みを可能にし、利便性を向上させます。
- ⑦教室計画の公表から受付、教室の実施、実施後参加者評価まで「スポーツ教室等マネジメントシステム」を展開し、継続的に見直しを行い、より良いスポーツ教室を目指します。

【その他教室の特徴】

◆着衣泳講習会の開催

毎年6月に着衣泳講習会を行っております。水の危険性をしっかりと知ること、いざというときに自分自身の命を守ることができるよう、泳ぐことよりも重要な知識・技術を学んでいただきます。

◆障がい児水泳教室

当グループでは、幼児および小学生水泳教室の生徒の中には、障がい児の受講生もおります。インクルーシブスポーツとして分け隔てなく、平等に指導しています。

◆高齢者向けの教室の開催

高齢者の健康寿命を延ばすため、様々なプログラムを用意します。プールだけにとどまらず、健康運動指導士のもとスタジオでの教室や施設外でのウォーキング教室などを積極的に行ってまいります。

◆オリンピックやトップアスリートによる教室やイベントの開催

プール施設として水泳のオリンピックによる教室はもちろんのこと、ウォータースポーツとしてフィンスイミング日本代表選手やライフセービング競技日本代表選手などを招き、スポーツのすばらしさを多くの市民の方に知っていただく機会を提供します。

◆教室の成果披露の場・・・日本水泳連盟公認泳力検定会の開催継続

水泳愛好家や教室参加者の方が目標や日ごろの成果を発揮する場として日本水泳連盟公認の泳力検定を行います。

◆アーティスティックスイミング教室



【年間スケジュール】

期	期間	回数
第1期教室	4月～6月	全12回程度
第2期教室	7月～8月	全8回程度
夏休み短期水泳教室	7月下旬～8月上旬	全4回×4本
第3期教室	9月～10月	全8回程度
第4期教室	11月～12月	全8回程度
第5期教室	1月～3月	全12回程度
春休み短期水泳教室	3月下旬	全4回×4本

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

【世代や目的等を考慮した教室開催 例】

目的や狙い	教室の例
子どもの体力増強、水泳の基本習得や向上を目指す	幼児（年少、年中、年長別）水泳教室 夏休み短期水泳教室 小学生（初級、中級、上級）水泳教室 育成コース
大人・高齢者向けの水泳の基本習得や向上を目指す	はじめての〇〇（4泳法すべて実施） 成人（初級、中級、上級）水泳教室 パーソナルレッスン
大人・高齢者向けの健康増進	アクアビクス 膝痛・腰痛予防改善ウォーク アクアウォーキング SUPヨガ

■港南プールのスポーツ教室

水泳教室（定期）

クラス名	定員	回数	教室内容
アクアビクス	30名	8回～12回	音楽に乗って、楽しく身体を動かしながら心拍数を上げていく有酸素運動です。 浮力により膝や関節への負担を和らげた楽しいエクササイズです
膝痛・腰痛予防改善ウォーク	20名	8回～12回	膝・腰回りをほぐし、膝痛・腰痛の改善を目指します。 健康維持・体力向上も期待できます。
アクアウォーキング	20名	8回～12回	水圧を感じながら無理なく運動しましょう！
初心者（成人）	15名	8回～12回	水慣れから始め、クロール 25mを目指します。
初級（成人）	15名	8回～12回	クロール 50m、背泳ぎ 25mを泳げるようになることを目指します。
中級（成人）	15名	8回～12回	クロール・背泳ぎの反復練習を行いながら、平泳ぎの練習を行います
中上級（成人）	15名	8回～12回	クロール・背泳ぎ・平泳ぎの反復練習を行いながら、バタフライの練習を行います。
上級（成人）	15名	8回～12回	4泳法で各 25m(100m個人メドレー)を泳げるようになることを目指します。
マスターズ（成人）	10名	8回～12回	4泳法のフォーム修正とタイムアップを目指します。
ゆっくり4泳法（成人）	10名	8回～12回	4泳法をゆっくりきれいに泳ぐコースです。
はじめて平泳ぎ	15名	8回～12回	平泳ぎのキック練習を中心に基本動作を行います。
平泳ぎ中級	10名	8回～12回	きれいに平泳ぎ 50m以上泳げるようにします。
はじめてバタフライ	15名	8回～12回	バタフライをさらに綺麗に泳げるようになることを目指します。
バタフライ中級	10名	8回～12回	バタフライをさらに綺麗に泳げるようになることを目指します。
ロングスイム	10名	8回～12回	クロールを長く泳げるようになります。
幼児（年少）	15名	8回～12回	水の楽しさを学びます。
幼児（年中～年長）	15名	8回～12回	泳ぎを遊びながら楽しくレッスンいたします。
小学生 初級	15名	8回～12回	水慣れからクロール 25mを目標にします。
小学生 中級	15名	8回～12回	背泳ぎ 25m・平泳ぎ 25mを泳げるようにします。
小学生 上級	15名	8回～12回	バタフライ 25mが泳げるようにします。
中学生 中級	10名	8回～12回	4泳法を泳げるようにします。

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

育成コース	10 名	8 回～12 回	大会で良い記録が出るよう指導します。
-------	------	----------	--------------------

水泳教室（短期）

クラス名	定員	回数	教室内容
短期水泳教室	15 名～ 30 名	4 回	春・夏に幼児及び小学生初級クラスを行います。
パーソナルレッスン 30 分	1 名	1 回	お客様の要望に応じたレッスンを行います。

フィットネス教室(定期)：多目的室

教室名	定員	回数	教室内容
はじめてのヨガ	6 名	8 回～12 回	通常のヨガのレッスンよりトレーニング要素があり筋力・柔軟性向上を目指します。
優しいストレッチヨガ	6 名	8 回～12 回	ヨガの基本の「キ」誰でもどなたでも始めやすいレッスンになっています！
骨盤ヨガ	6 名	8 回～12 回	日頃の疲れがたまりやすい骨盤周辺の筋肉を鍛えてのばして緩めていきます。美しいウエスラインを整えましょう。
ピラティス	6 名	8 回～12 回	インナーマッスルを鍛えてバランスのとれた体をつくります。誰でも無理なくできるエクササイズです。
初級姿勢改善教室	7 名	8 回～12 回	ストレッチだけでは矯正できない猫背や歪みを改善していきましょう。
中級姿勢改善教室	7 名	8 回～12 回	矯正できない猫背や歪みを改善していきます！歪みの傾向と対策を具体的にお伝えします

■保土ケ谷プールのスポーツ教室

水泳教室（定期）

クラス名	定員	回数	教室内容
はじめてクロール	30 名	8 回～12 回	クロールを基礎から学べます
クロール中級	30 名	8 回～12 回	クロール 50m 以上を目指します！ キレイに泳ぎたい方におススメです
ロングロングクロール	15 名	8 回～12 回	クロールを楽に 100m 以上泳げるようになることを目指します！
はじめて背泳ぎ	15 名	8 回～12 回	背泳ぎを基礎から学び 25m 完泳を目指します！
はじめて平泳ぎ	15 名	8 回～12 回	平泳ぎのキックを中心に 25m 泳完泳を目指します！
はじめてバタフライ	15 名	8 回～12 回	バタフライの基礎から 25m 泳げるようにします
バタフライ中級	15 名	8 回～12 回	バタフライをよりきれいに泳げるようになります！
2 泳法 A	15 名	8 回～12 回	クロールと背泳ぎの 2 種目を練習します
2 泳法 B	15 名	8 回～12 回	クロールと平泳ぎの 2 種目を練習します
2 泳法 C	15 名	8 回～12 回	平泳ぎとバタフライの 2 種目を練習します
3 泳法	15 名	8 回～12 回	クロール・背泳ぎ・平泳ぎの 3 種目を練習します。
ロングロング 3 泳法	15 名	8 回～12 回	クロール・背泳ぎ・平泳ぎをキレイにゆっくり泳げることを目指します。目指せ 1000m！
4 泳法 A	15 名	8 回～12 回	4 泳法（クロール・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライ）をさらに上手に泳げることを目指します。1000m 以上泳ぎます。
4 泳法 B	15 名	8 回～12 回	100m 個人メドレーを泳げるようになることを目指しに 1500m を泳ぎます。
4 泳法 C	15 名	8 回～12 回	4 泳法マスタースコースです。
4 泳法土	15 名	8 回～12 回	4 泳法をゆったり泳ぎます。

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

ほどがや OWS	10 名	8 回～12 回	オープンウォータースイミング大会参加を目指し、海練習もします。
アクアウォーキング	30 名	8 回～12 回	ゆっくり歩いて体を動かしましょう！浮力があるので足腰への負担も軽減できます。
シェイプアップ アクアウォーキング	30 名	8 回～12 回	水の抵抗を利用し体幹を鍛えます。 歩・走・跳で心肺機能もアップします
HOT ダイエットアクア	10 名	8 回～12 回	採暖室の体操で汗を流し、水中で心肺機能向上！サウナ水風呂感覚気分爽快！・鬱にも効果あり！
アクアフィットネス	15 名	8 回～12 回	水の中で楽しく全身を動かす教室です。水の中では関節への負担が軽減し、陸上より大きな動きができる為、ストレッチ効果と筋力 UP も期待できます。
アクアピクス	30 名	8 回～12 回	リズムカルな音楽に合わせて、伸び伸び楽しく体を動かしましょう！
SUP ヨガ	10 名	8 回～12 回	水に癒されながら体幹を鍛え、心身の調和とリラククス効果が期待できます。
SUP yoga & Fit	10 名	8 回～12 回	音楽に合わせてヨガのポーズやバランスを取りステップをふんでトレーニング！
幼児 3～4 歳クラス	10 名	8 回～12 回	運動遊びを通して水に慣れ親しむクラスです。潜る、浮かぶ、水の中で息を吐くなど基本動作を習得します。
幼児 5～6 歳クラス	15 名	8 回～12 回	水慣れから始めて、ふし浮き、バタ足などクロールの基本を覚えていきます。 クロールで 12.5m を泳ぎ切ることを目標に楽しくプールに通いましょう。
小学生 初級	15 名	8 回～12 回	水慣れからクロール・背泳ぎの 25m 完泳を目指し泳ぎを覚えていきます。
小学生 中級	15 名	8 回～12 回	平泳ぎを中心に 3 種目(バタフライを除く)の 50m 以上完泳を目指します。
小学生 上級	15 名	8 回～12 回	バタフライを中心に 4 種目をよりきれいに泳ぐことを目指します。

フィットネス教室(定期)：多目的室

教室名	定員	回数	教室内容
はじめてのパワーヨガ	10 名	8 回～12 回	通常のヨガのレッスンよりトレーニング要素があり筋力・柔軟性向上を目指します。
優しいストレッチヨガ	10 名	8 回～12 回	ヨガの基本の「キ」誰でもどなたでも始めやすいレッスンになっています！
骨盤調整ヨガ	10 名	8 回～12 回	日頃の疲れがたまりやすい骨盤周辺の筋肉を鍛えてのばして緩めていきます。
ピラティス	10 名	8 回～12 回	インナーマッスルを鍛えてバランスのとれた体をつくります。誰でも無理なくできるエクササイズです。
カーディオフィットネス キックボクシング	10 名	8 回～12 回	エアロピクスにキックやパンチを合わせた有酸素運動 全身のシェイプアップやストレスを発散したい方にオススメのクラスです。
筋膜リリース	10 名	8 回～12 回	第 2 の骨格の筋膜を緩めていきます。 血流・呼吸・姿勢改善誰でもできる教室！
腹筋ダンソレーション	15 名	8 回～12 回	音楽に合わせて楽しく腹筋運動を行います！ 割れた腹筋を目指すトレーニングです！
Walk&Jog&体操	10 名	8 回～12 回	長く続けてゆっくり走り（歩き）ながら、楽しくダイエットとスタミナアップします。
初級姿勢改善教室	15 名	8 回～12 回	ストレッチだけでは矯正できない猫背や歪みを改善していきましょう。

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

中級姿勢改善教室	15 名	8 回～12 回	矯正できない猫背や歪みを改善していきます！ 歪みの傾向と対策を具体的にお伝えします
ファンクショナル サーキット	6 名	8 回～12 回	筋肉の柔軟性を養い強化します。 正しい動作を身につけ効率よくカロリーを燃焼して いきましょう
バリエーションエアロ	15 名	8 回～12 回	音楽に合わせ様々な動きを取り入れながら身体を動か します
ZUMBA	10 名	8 回～12 回	ラテン系の音楽にのせたフィットネスエクササイズ で、速い/遅いリズムの曲が組み合わされた、ダイナ ミックでエキサイティングなのが特徴です。
キッズチアダンス	15 名	8 回～12 回	キレイに可愛くチアダンスを踊りませんか？
HIPHOP	20 名	8 回～12 回	かっこよくキレっキレの Dance を踊りましょう！
K-POP ダンス	20 名	8 回～12 回	憧れの韓国アーティストの振りを踊れるようになって みませんか!?
テーマパークダンス	15 名	8 回～12 回	バレエ基礎から学んでいきテーマパークの音楽に合 わせ楽しくダンスを踊ります！

水泳教室（短期）

クラス名	定員	回数	教室内容
短期水泳 教室	15 名～ 30 名	4 回	春・夏に幼児及び小学生初級クラスを行います。
パーソナルレッスン 30 分	1 名	1 回	お客様の要望に応じたレッスンを行います。

フィットネス教室（短期）：多目的室・フィットネスルーム

教室名	定員	回数	教室内容
体目覚める 簡単体操 30 分	15 名	1 回	筋肉を適度に動かしながら血流をよくする体操で す。
腹筋集中 30 分	15 名	1 回	腰を痛めず、お腹まわりの筋肉を強化します。基本 の腹筋運動を学べます。
椅子を使った コンディショニングストレッチ	10 名	1 回	椅子を使い無理なく全身をストレッチします。終わ った後、スッキリします！
出腹収納式歩行から 始めるスロージョグ	10 名	1 回	骨盤底筋を鍛え、「出た腹を収納する歩行法」 から 始めます。いつのまにか走れる体へ変えていきま す。
青空筋力アップ体操	15 名	1 回	爽快な青空の下で伸び伸び体を動かしましょう！筋 力をつけ、基本的な体の使い方を学べます。
コンディショニング 体操	15 名	1 回	静かな呼吸と動きで姿勢と体調を整えます。 運動初心者の方におすすめ！

■金沢プールのスポーツ計画

水泳教室（定期）

クラス名	定員	回数	教室内容
アクアウォーキング	30 名	8 回～12 回	ゆっくり歩いて体を動かしましょう！ 浮力があるので足腰への負担も軽減できます。
アクアビクス	30 名	8 回～12 回	音楽にのって、楽しく身体を動かしながら心拍数を 上げていく有酸素運動です。動きは激しいですが浮 力により膝や関節への負担が軽減されます。
筋トレウォーキング	30 名	8 回～12 回	動かしている筋肉を意識しながらのウォーキングに 加え、浮き具を利用した運動で筋トレ効果を発揮 します。
ウォーク&アクア	30 名	8 回～12 回	ウォーキングで心拍数を上げ、アクアビクスで全身

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

			運動をします。それぞれの運動の特性を生かし音楽に合わせて体を動かします。
わくわくアクア	30 名	8 回～12 回	週替わりで色々なエクササイズにチャレンジ！！ウォーキング・アクアビクスはもちろん浮き具を使っての体操やストレッチ等々、ワクワクするメニューのレッスンです。
初めての水泳	15 名	8 回～12 回	水慣れからクロール 25m 完泳を目指します。
初級	15 名	8 回～12 回	クロールの呼吸の習得から、背泳ぎを泳げるようになることを目指します。
中級	15 名	8 回～12 回	クロール・背泳ぎの反復練習を行いながら、平泳ぎの練習を行います。
中上級	15 名	8 回～12 回	クロール・背泳ぎ・平泳ぎの反復練習を行いながら、バタフライの練習を行います。
上級	15 名	8 回～12 回	4 泳法で各 25m(100m 個人メドレー) を泳げるようになることを目指します。
平泳ぎ	15 名	8 回～12 回	平泳ぎが初めての方のスクールです。
平泳ぎ中級	15 名	8 回～12 回	スタート・ターンを含めきれいに平泳ぎを泳ぎます
バタフライ	15 名	8 回～12 回	バタフライをきれいに 25m 完泳を目指します。
バタフライ中級	15 名	8 回～12 回	軽やかにきれいにバタフライを泳ぎます。
4 泳法マスター	15 名	8 回～12 回	マスターズコースです。
ロングスイム	15 名	8 回～12 回	クロールを長く泳ぐコースです。
幼児（年少）	15 名	8 回～12 回	保護者から離れて、集団行動を学びます コーチのお話をしっかりと聞き、遊具等を使いながら楽しく水慣れをします
幼児（年中・年長）	15 名	8 回～12 回	遊びながら潜る・浮く・泳ぐ事を楽しく身につけます。
小学生 A	25 名	8 回～12 回	水中での呼吸法・浮き方・動き方・バタ足等などの基礎練習から始めビート板キック 25m（顔上げ・顔入れ呼吸付き両方）を目指します。
小学生 B	25 名	8 回～12 回	クロールの基礎練習を反復しながら 25m 以上完泳を目指します。あわせて、背泳ぎの基礎練習（キック）も行います。
小学生 C	25 名	8 回～12 回	背泳ぎ 25m の完泳、平泳ぎの基礎練習及び 25m に完泳を目指します。基礎練習を含めクロール 50m を泳げるようにタッチターンの練習も行います。
小学生 D	15 名	8 回～12 回	背泳ぎ・平泳ぎの泳力アップを図るとともに、バタフライの基礎練習および 25m 完泳を目指します。
小学生 E	15 名	8 回～12 回	4 泳法の泳力アップをはかります。100m 個人メドレーを泳げるようになることを目指します。

フィットネス教室（定期）：多目的室

教室名	定員	回数	教室内容
ベーシックヨガ	20 名	8 回～12 回	基本的なポーズ身体のバランスを整えましょう！
初めてヨガ	20 名	8 回～12 回	ヨガで心身ともにスッキリしませんか。
骨盤ヨガ	20 名	8 回～12 回	身体の歪みや不調を骨盤ヨガで改善しましょう！
骨盤体操	15 名	8 回～12 回	骨盤周りの筋肉をストレッチし美姿勢と怪我のしにくい体をつくりましょう！
姿勢改善教室	15 名	8 回～12 回	ストレッチだけでは矯正できない猫背や歪みを改善していきましょう。
ピラティス	20 名	8 回～12 回	呼吸とともに身体を整えていきます。
コアバランス トレーニング	20 名	8 回～12 回	体幹を鍛え、ケガのしにくい体になりましょう。
ファンクショナル	10 名	8 回～12 回	筋肉の柔軟性を養い強化します。

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

サーキット			怪我をしない体をつくりました！
フラダンス	15 名	8 回～12 回	優雅に楽しくキレイに踊りませんか？
チアダンス	20 名	8 回～12 回	かわいくチアダンスを踊りませんか？
大人ヒップホップ	20 名	8 回～12 回	かっこよく Dance を踊りましょう！
子どもヒップホップ	20 名	8 回～12 回	とにかく楽しく音楽に合わせ踊りましょう！
親子体操教室	10 組	8 回～12 回	親子で仲良く楽しく体を動かします！

※金沢プールのフィットネス教室参加者は、当日有効の入浴利用券付き

水泳教室（短期）

クラス名	定員	回数	教室内容
短期水泳 教室	15 名～ 30 名	4 回	春・夏に幼児及び小学生初級クラスを行います。
パーソナルレッスン 30 分	1 名	1 回	お客様の要望に応じたレッスンを行います。

【港南プール 水泳教室スケジュール】

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
9:05～10:05	幼児・児童プール						幼児(年中～年長)	幼児(年中～年長)
	25m①	アクアウォーキング	膝痛・腰痛 予防改善ウォーク	アクアウォーキング	膝痛・腰痛 予防改善ウォーク	アクアウォーキング	小学生初級	小学生初級
	25m②						小学中級	小学中級
10:15～11:15	幼児・児童プール						幼児(年中～年長)	幼児(年中～年長)
	25m①	アクアビクス	初級	初心者	アクアビクス	クロール・背泳ぎ	小学生初級	小学生初級
	25m②		中上級	はじめてバタフライ		初級	小学生上級	小学生上級
11:25～12:25	25m①	ゆっくり4泳法	ロングスイム	平泳ぎ中級	バタフライ中級	中級	最上級	
	25m②	上級	バタフライ中級	ゆっくり4泳法	マスターズ	はじめて平泳ぎ	中上級	
12:35～13:35	25m①	中級	平泳ぎ中級	はじめて平泳ぎ	ロングスイム	初心者		
	25m②	マスターズ	クロール・背泳ぎ	上級	中上級	はじめてバタフライ		
15:00～15:45	幼児・児童プール		幼児(年少)		幼児(年少)			
15:55～16:40	幼児・児童プール	幼児(年中～年長)	幼児(年中～年長)	幼児(年中～年長)	幼児(年中～年長)	幼児(年中～年長)		
15:55～16:55	25m①	小学生初級	小学生初級	小学生初級	小学生初級	小学生初級		
	25m②	小学生中級	小学生上級	小学生中級	小学生上級	小学生中級		
17:10～18:10	25m①	育成コース	中学生中級	育成コース	中学生中級	育成コース		
18:45～19:45	25m①	初級	中級	中上級	上級	マスターズ		

【金沢 水泳教室スケジュール】

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
9:05～10:05	幼児・児童プール						幼児(年中～年長)
	25m①	アクアウォーキング		アクアウォーキング		アクアウォーキング	小学生 A
	25m②						小学生 B
10:15～11:15	幼児・児童プール						幼児(年中～年長)
	25m①	筋トレウォーキング	バタフライ中級	中級	ウォーク&アクア	フクフクアクア	小学生 A
	25m②		平泳ぎ	バタフライ			小学生 C・D・E
11:25～12:25	25m①	アクアビクス	初級	中上級	アクアビクス	上級	最上級
	25m②		初めての水泳	平泳ぎ中級		バタフライ	中上級
12:35～13:35	25m①	中級	中上級	4泳法マスター	初めての水泳	初級	
	25m②	平泳ぎ中級	上級	ロングスイム	バタフライ中級	平泳ぎ	
15:00～15:45	幼児・児童プール	幼児(年少)		幼児(年少)		幼児(年少)	
15:55～16:40	幼児・児童プール	幼児(年中～年長)	幼児(年中～年長)	幼児(年中～年長)	幼児(年中～年長)	幼児(年中～年長)	
15:55～16:55	25m①	小学生 A	小学生 A	小学生 A	小学生 A	小学生 A	
	25m②						
17:10～18:10	25m①	小学生 B	小学生 B	小学生 B	小学生 B	小学生 B	
	25m②						
18:40～19:40	25m①	小学生 C・D・E	小学生 C・D・E	小学生 C・D・E	小学生 C・D・E	小学生 C・D・E	
	25m②	中上級/上級	中級	初級	中上級/上級	4泳法マスター	

【保土ケ谷 水泳教室スケジュール】

		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
9:05～10:05	幼児・児童プール						幼児5～6歳	幼児5～6歳
	25m①	HOT！ダイエット アクア	ロングロングク ロール	SUPヨガ	HOT！ダイエッ トアクア	アクアウォーキン グ(45分)	小学生初級	小学生初級
	25m②						小学中級・上級	小学中級
10:15～11:15	幼児・児童プール						幼児5～6歳	小学生初級
	25m①	3泳法	アクアビクス	はじめてバタフライ	はじめて背泳ぎ	アクアビクス	小学生初級	小学上級
	25m②	はじめてクロール		クロール中級	2泳法B		小学生初級	
11:25～12:25	25m①	4泳法A	アクアシェイブ	はじめてフロー ル	4泳法A	アクアシェイブ	4泳法土	
	25m②	4泳法B		2泳法A	4泳法B		ロングロング3泳法	
12:35～13:35	25m①	バタフライ中級	アクアウォーキン グ(45分)	4泳法A	はじめて平泳ぎ	平泳ぎ中級	ほどがやOWS	
	25m②	はじめてバタフライ		3泳法	ロングロング3泳法	クロール中級		
13:45～14:45	25m①			マスターズ	はじめてクロール	2泳法A	アクアウォーキン グ(45分)	
	25m②	SUPヨガ	2泳法B		バタフライ中級	2泳法C		
15:00～15:45	幼児・児童プール	幼児5～6歳 初級	幼児3～4歳入 門	幼児5～6歳 初級	幼児3～4歳入 門	幼児5～6歳 初級	幼児5～6歳 初級	
15:55～16:40	幼児・児童プール	幼児5～6歳 初級	幼児5～6歳 初級	幼児5～6歳 初級	幼児5～6歳 初級	幼児5～6歳 初級		
15:55～16:55	25m①	小学生初級	小学生初級	小学生初級	小学生初級	小学生初級		
	25m②			小学生中級	小学生上級	小学生中級		

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

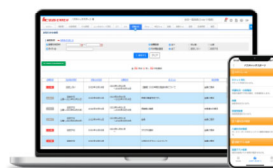
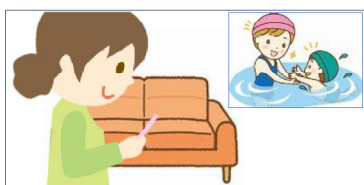
■水泳教室運営のシステム化

水泳教室は子ども、大人等多様な世代から多くの参加者をいただいています。今後も増加と予測しています。

スクール管理システムを導入し、利用者の利便性向上や安全管理に貢献します。

【スクール管理システムの概要】

- ・欠席や振り替え連絡がスマホで実施可能
- ・ICカードと連携で「施設の入退館」が確認可能
 - *保護者への送信も可能
 - *バスと連携すれば「乗降」の確認も可能
- ・個人水泳カルテ等で「進級確認」や「ベストタイム」表示等も可能にします。



■広告事業

・看板広告

港南プールは、環状3号線に面しており、1日約10,000台の車が往来しており、広告物を掲載する企業様を募ります。広告物掲載収入は収支予算書に組み込むことにより、指定管理料の削減に貢献致します。

横浜市屋外広告物条例を遵守し、市と協議の上、実施させていただきます。

規 格	金 額	備 考
3×5 m ² (駐車場側)	年間 ¥400,000(税込)	・ 広告制作費 ・ 取り付け費別途 ・ 撤去費別途
3×7 m ² (蓬莱荘側壁)	年間 ¥600,000(税込)	

【港南プール駐車場側広告設置案】【港南プール蓬莱荘側広告設置案】



■ホームページへのバーナー広告施設ホームページへのバーナー広告を募集します。

■その他屋内広告 屋内の壁面等を活用した広告を検討します。



【横浜国際プール 広告事例】

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

(4) 自主事業の計画

■利用者の多様なニーズに対応し、サービス向上等ため自主事業を実施します

- ・自主事業収益は、指定管理料の削減や利用者増、利便性向上に大きく寄与します。
- ・飲食事業、物販事業、その他利用促進、利便性向上を目指した事業を実施します
- ・時間外の教室事業等立地等を生かした自主事業に取り組みます。
- ・目的外使用の場合があります。市規則に基づき「目的外使用料」を適正に支払います。

【自主事業収支計画 単位：千円】

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
収入	港南プール	8,600	9,260	9,321	9,983	10,046
	保土ヶ谷プール	7,600	7,648	7,696	7,745	7,795
	金沢プール	22,292	22,984	23,077	23,772	23,869
	合計①	38,492	39,892	40,094	41,500	41,710
支出	港南プール	1,124	1,268	1,268	1,412	1,412
	保土ヶ谷プール	1,172	1,172	1,172	1,172	1,172
	金沢プール	2,704	2,848	2,848	2,992	2,992
	合計②	5,000	5,288	5,288	5,576	5,576
収支①—②		33,492	34,604	34,806	35,924	36,134

■自主事業の実施体制

事業管理本部及び施設に自主事業担当を設置し計画・企画、実施、見直しを行います。

担当部門	役割
事業管理本部	専任職員 1 名を自主事業担当者に任命 全体の自主事業企画から施設毎の自主事業の支援を行う
施設に自主事業担当	施設責任者が担当者 施設の自主事業の企画や運営を行う

■物販事業

スポーツ用品の販売、自動販売機、用具のレンタルを行います。

用品の販売に関する問い合わせは多くあります。近くにスポーツ用品店がなく、新規の購入や買い替え等、施設内で購入できるので、ご利用者の利便性向上に繋がります。他の商品アイテムも要望があれば増やしていきます。



■自主事業企画検討書 例

自主事業は目的外使用料の支払い、利用者からの料金徴収、事業費用等収支検討が重要です。

10 万円以上支出がある自主事業は「自主事業収支検討書」により検討し実施等を判断します。

(48 頁参照)

■飲食事業

繁忙期にキッチンカーの誘致を検討します。軽食を期待する利用者もおられます。衛生面、場所、メニュー等検討すべき点は多くあります。

授産施設のお弁当販売等も候補です。ニーズや安全性を調査し販売を検討します。



【保土ヶ谷プール キッチンカー】

商品	価格
スイミングキャップ	500～1000 円/個
ゴーグル	1300～1800 円/個
男性水着	2100～2800 円/個
女性水着	3800～4900 円/個
くもり止め	600 円/個
耳栓	500 円/個
タオル	300 円/個

定期的に水泳用品のセールも行い、よりプールを楽しむ機会をつくります。



様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

■自販機は販売内容を増やします。

利用者ニーズに応え、飲料や軽食（パン、アイスクリーム等）の自動販売機を設置します。

また、キャラクターパッケージされた自販機は、夏休み等大きな売り上げ増につながることがわかっています。導入予定です。

・事業者選定は「広く公募」

自動販売機の設置業者選定は「公募」を行います。公募の方法は「横浜市の調達基準」を参考にします。※災害救援ベンダー対応機種配置



■スポーツ用品以外の販売



【ワゴン販売：イメージ】

■市民向け各種イベント

- ・オリンピックやパフォーマンス団体の協力によるイベント実施（有料の場合）
- ・朝市やフリーマーケットの実施（出店料を徴収の場合）

例／地域農家との連携による販売

農家や地域商店街のイベントに協力し、販売事業を実施します。



【近隣農家と協力し野菜の販売】

■駐車場

駐車場の時間外利用収入も自主事業扱いとなります。利用増の工夫を検討します。

■開館時間外の有効活用

・休館日の有効利用

月1回の休館日の有効利用を模索します。団体利用貸出や特別なイベント利用を検討します。

*開館時間は現在 9:00～20:00（保土ヶ谷は 17:00）となっています。早朝・深夜利用は今後の課題とします。

・時間外利用拡大の調査・検討

時間外の水泳教室も自主事業となります。また、団体利用のプール利用や空いているスペースの利用も自主事業となります。

中学校の水泳部、市民の水泳サークル、総合スポーツクラブの利用等の貸切利用もニーズを調査します。

*無料貴重品ロッカー、有料マッサージ機は設置

■その他自主事業

・レンタルロッカー

更衣室のロッカーとは違い、ロビーなどに月額利用性のロッカーを設置し、お客様のトレーニング用品やヨガマットなど持ち帰りが不便なものを預かるようにします。

・期間限定鍼灸マッサージ

期間限定鍼灸マッサージも調査・研究の対象です。

・サイクルステーション設置（利便性向上重複）

コンビニエンスストアに設置されている例があります。専門業者に委託予定です。



様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

【自主事業収支検討表】

目的外利用で自主事業に相当する場合は収支等を検討し実施判断を行います。

実施例 「プール誕生祭」

プール誕生祭は毎年行っております。

- 港南プール昭和 49 年 7 月開設（令和 6 年で 50 周年） → 7 月開催
- 保土ヶ谷プール昭和 55 年 11 月開設（令和 6 年で 44 周年） → 11 月開催
- 金沢プール平成 15 年 6 月開設（令和 6 年で 21 周年） → 6 月開催

プール誕生祭 予算案

	検討責任者	鎌田		検討日時		20230623
収支見込み	収支計画	項目	金額	内訳		
	収入	朝市有料販売	50,000	野菜等をJAから仕入れ販売		
		合計	50,000			
	支出	港南中演奏搬送代	29,160	4トントラック 発注先⇒丸福運輸		
		ベンチレンタル	23,760	発注先⇒稲尾レントオール 20脚		
		施設使用料	7,600	9:00~11:00 全コース夏料金		
		ヨーヨー釣りセット	3,747	ヨーヨー・各種釣り具（100個分）、ビニールプールなど⇒ 発注先⇒有限会社トチギヤ		
		お菓子つかみ取り用お菓子	10,800	お菓子約850個分、持ち帰り袋、箱など⇒ 発注先⇒有限会社トチギヤ		
		輪投げゲームセット	16,254	輪投げゲーム用品、景品セット（100人分）⇒ 発注先⇒有限会社トチギヤ		
		送料・代引き手数料	1,179	イベント用品トチギヤ ⇒ 送料：864円、代引き手数料：315円		
		雑費	70,000			
		野菜等仕入れ	40,000	前回実績より		
		合計	212,500			
		収支	-157,500	検討結果 予算は本部費から支出 実施を前提に計画 すべてのプールで実施 一括発注で予算削減交渉		
	本部長	企画担当		施設責任者		

様式 10

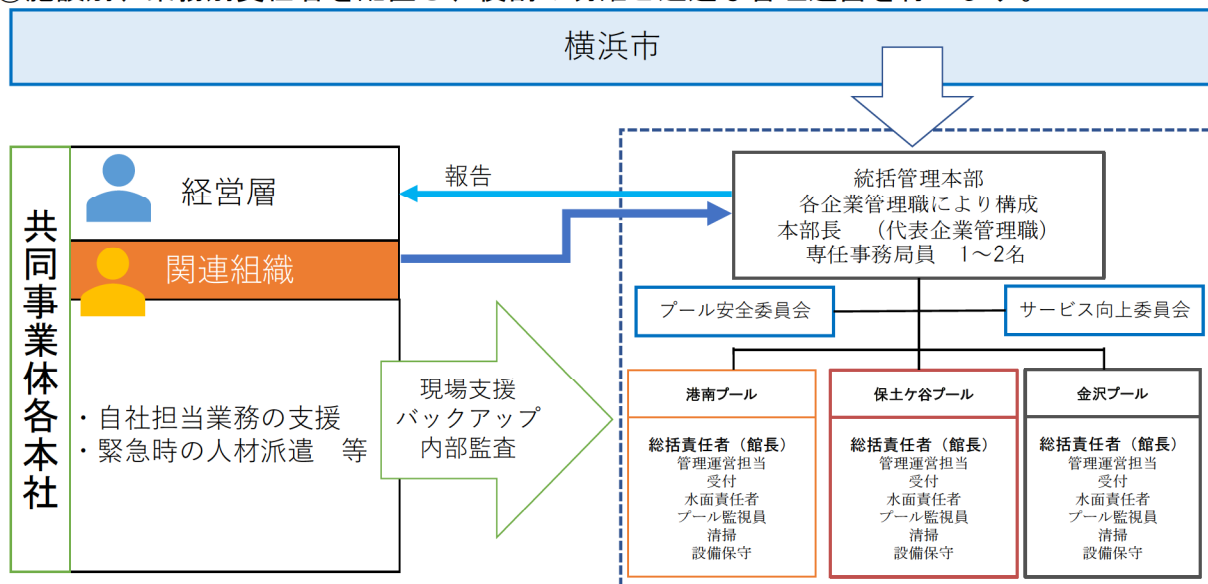
単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

(5) 業務履行体制

■マネジメント体制構築による効果的・効率的な管理・運営を実施

- ①管理本部に企画や営業を担う人材配置し利用増等に積極的に取り組みます。
- ②責任・権限の明確化と経験者の配置により信頼される運営管理を行います。
- ③統括管理本部会議の開催や支援体制により企業として責任を持った管理運営を行います。
- ④施設別、業務別責任者を配置し、役割の明確と迅速な管理運営を行います。



◆統括管理本部

共同企業体管理職により構成され事業方針、事業計画、予算の決定及び事業計画の進捗管理等を担う。内部監査及び安全衛生指導、イベント企画運営も行う。

専任者を 1～2 名配置します。

◆事業統括責任者（本部長）

3 施設を取りまとめる責任者として、事業統括責任者として代表団体から選任します。

◆統括管理本部会議

毎月開催し、施設別事業報告の確認、課題検討を行う。必要に応じて、施設責任者が参加する。

◆施設統括責任者（館長）

施設別に統括責任者を配置する。常に施設に責任者が常駐する体制を整え、円滑な業務遂行を図ります。

◆施設別体制

総括責任者（館長）、受付、水面責任者、プール監視員、清掃、設備保守を配置します。（一部業務は兼務します）

●プール統括責任者候補者プロフィール

運動・スポーツ施設での経験豊富な人材が確保できています。

・施設管理運営業務歴

スポーツ施設運営管理業務 12 年

・保土ヶ谷プール統括責任者

◆保有資格

- ・日赤水上安全法救助員
- ・公認水泳教師
- ・甲種防火管理者
- ・防災管理者

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

【役割分担・能力基準・配置人数】

役職等	業務内容	能力基準	人配置数
統括管理本部	指定管理事業の統括管理、内部監査及び安全衛生指導、保全計画・履行確認、安全管理指導、イベント企画運営	各企業の上級管理職	各企業1～2名
事業統括責任者	本指定管理事業全体を統括する運営全体の責任者。指定管理者側の窓口として横浜市民局との調整業務、連絡・報告業務、各施設の統括管理、地域や各種機関との交流連携業務等	代表企業管理職 指定管理者責任者やマネジメント経験がある管理職	1名
統括管理本部会議	事業統括責任者が主催し、事業計画進捗確認、課題検討、集客企画等の検討、意思決定を行う	事業統括責任者、各企業の担当管理職、統括責任者（館長）、管理本部事務局員が参加	毎月開催
管理本部事務局員	イベント企画、サービス向上施策の検討、関係機関の訪問、ニーズ調査、各施設のデータ集約、各会合の準備等	管理職経験者 社員採用	1～2名
統括責任者（館長）※	プール施設の施設責任者、施設の経営状況、事業計画に基づく業務の履行、その他運営に関わる各種の調整業務、報告業務、地域や機関との交流連携業務、施設保全、スタッフ教育等	救護に関する講習を修了し、日本赤十字社又は日本水泳連盟・MFAの救助に関する適認証保持者又は応急手当普及員の有資格者	1名
水面責任者※	スタッフの統括・指導監督、安全衛生指導、プール水面監視、衛生管理、応急救護、利用案内、水泳指導等	日本赤十字社又は日本水泳連盟・NFAの救助に関する適認証保持者又は応急手当普及員の有資格者	1名
プール監視員※	水面監視、衛生管理、水質測定、場内清掃、プール場内及び更衣室・ロッカー巡回点検、応急救護、利用案内、水泳指導等	（一社）日本プール管理業協会または、（一社）プールガードジャパンの有資格	2～3名
受付員※	受付接客、利用案内、事務処理（各種統計、教室参加者の受講管理）、使用料納付、遺失物処理、館内巡回等	受付接客、利用案内の経験者（不足の場合は他施設での研修）	1～2名
設備員※	プール施設における機械設備の運転保守、巡回点検、検診・測定、軽微な修繕、保守点検作業の立会い監督等	運転保守経験者3年以上	1～2名
清掃員※	館内日常清掃（受付や監視員が兼務）	清掃手順等の研修	
プール安全委員会	プールの安全強化や安全課題、監視員のスキル向上等検討 安全等に関する情報の共有化	各プールの水面責任者及び指名されたプール監視員により構成 四半期毎に開催する	3名+α
サービス向上委員会	利用者の利便性向上施策、苦情対応、業務改善等を検討する	統括本部、施設、指名された施設職員から構成し四半期毎に開催する	各社1名 施設責任者3名
各社支援スタッフ	業務分担に応じて構成企業各社に支援員を配置（明確化） スタッフの欠員対応、技術指導、イベント支援等を行います	各業務経験者で社員	各企業5～8名

※はプール毎に配置

様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■人材確保

必要な人材は現在雇用の社員等から確保済みです。

【勤務ローテーション イメージ 右図】

繁忙時期やイベント開催等による施設利用者増加の際は、監視員等のスタッフを適宜、増員して対応します

■ローテーション勤務

・労働基準法を遵守し、勤務ローテーションにより勤務します。勤務表は前月 15 日までに作成し、職員の都合等を配慮し働きやすい職場を目指します。

■高齢者、障がい者雇用を推進

65 歳以上を 3 名、障がい者 1 名雇用します。

■ワークライフバランスの取組み

- ・時間外労働の許可制や終礼等を実施し、業務の平準化や有休の取得を奨励します。
- ・マルチジョブの推進
複数の仕事をこなす職員を育成することで「育児」「介護」の休暇を取りやすくしています。

■バックアップ体制

職員の都合により「出社出来ない」等が発生した場合、職場をバックアップする体制を本社及び施設に構築しています。

■配置者の資格

日本体育協会公認スポーツリーダー、障がい者スポーツ指導員等水準以上の資格者の配置をします。

■目標達成のためのチーム方式運営

施設運営にかかわる職員は全員がチーム員であることを徹底し、顧客の満足度を高める行動をとります。

チーム員の行動原則は、自分の仕事以外に顧客やチーム員のための行動を常に心がけることです。挨拶から始まり、他人の支援（困っていることがありそうなら手伝う）を重要視しています。

■職員との定期的面談

総括責任者は、従事者と定期的に面談し、職場環境の向上に努めます。

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
統括責任者						副統括責任者							
監視員（水面責任者）						監視員（水面責任者）							
監視員①						監視員③							
監視員②						監視員④							
受付清掃員①						受付清掃員③							
受付清掃員②						受付清掃員④							
設備員①						設備員②							

■当社の職員は積極的です

- ・いつも笑顔でお迎えます
- ・職員紹介ポスターの掲示

スタッフは、全員名札、制服を着用し、案内等に掲示します。一人ひとりが責任を持ちます

- ・周辺清掃活動の実施

建物周辺の清掃を定期的を実施します。周辺地域全体の環境美化と施設の利用促進に間接的に寄与できます。

- ・声かけ運動の展開

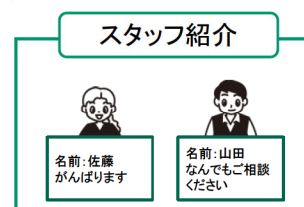
子どもたちも多く利用します。受付、監視員等全員で、子どもたちに「おはよう」「さようなら」「どうしたの？」等多くの声かけを実施します。事故や非行等の防止につながります。

- ・手話教育の実施

受付スタッフだけではなく、全職員が手話研修を受けます。

■女性活躍推進法の推進

女性責任者（統括責任者や水面責任者）を 50% 以上にします。



様式 10

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

■人材育成・安定した運営管理や継続的なサービス向上を目指す人材を育成します。

- ①指定管理者は「市の代行者」であることを理解し計画的に人材育成を行います。
- ②配置前研修から資格取得等施設の運営管理に必要な項目を実施します。
- ③資格取得等も積極的に行い、利用者に役立つ人材になります。

■材育成計画

- 職員は、人材育成計画に基づく OJT、offJT 研修を実施し、施設管理・運営の基本方針実現のための取り組みを積極的に行うことができる人材へ育成します。

■法令の遵守

- 地方自治法、公共サービス基本法、横浜市条例など関法令の解釈の研修、運営会議における事例報告・検証や成果を共有化するための研修を定期的に行うことで、「市の代行者」であることを理解し、運営管理ができるようになります。
- コンプライアンスは法令に限らず、公共精神、社会的規範、人権研修などの理解を高めます。



■多様な研修方法

受付、水面監視員等は「自社講師」「外部セミナー」「通信教育」「他施設訪問」等を実施します。



■教育等の記録

研修等の記録を残します。

教育・研修記録

■人材評価

業務への取組状況やヒアリングを行い、年 1 回本人にフィードバックします。

【基本研修項目】

研修名称	内 容	頻度
基礎研修 (配置前)	指定管理者としての心構え、公共施設の設置目的、管理仕様理解 等	1 回 ／年
CS・ 接客研修 (OJT 含)	マニュアルによる接客研修 CS 向上に向けての取り組み 検討 苦情対応方法の確認	1 回 ／年
防犯・防 災・緊急時 対応	危機管理行動マニュアル、 安全 3 点セット研修 (①応 急手当て②心肺蘇生法③ A E D 自動体外式除細動器)	2 回 ／年
個人情報 保護	個人情報保護法及び、横浜 市個人情報保護条例及び同 施行規則の理解	1 回 ／年
コンプライ アンス研修	法令・規則等の確認、法令 順守意識の徹底	2 回 ／年
高齢者・障 がい者サポ ート研修	特殊な器具をつけて、高齢 者等の立場から施設を利用 する研修	2 名 ／年
類似 施設見学	スタッフの意識向上とネッ トワークの構築	1 回 ／年
人権 保護研修	人権保護等の基礎研修	1 回 ／年
その他資格 取得研修	資格取得を支援します	適宜

■専門的な資格

- ライフガードの研修
警備員研修等安全管理に必要な研修を監視員に実施しています。
- 運動指導員等資格取得
運動指導等施設運営業務に関する資格は積極的に取得します。通信講座、外部研修を受講する場合、業務支援になるものは時間、費用で支援します

【取得目標】

取得する資格	人数	備考
障がい者スポーツ指導員	3 名	増員
BLS	3 名	増員

4 本市の重要施策を踏まえた取組

(1) 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組

■指定管理者として利用者等の個人情報を保護します。

- ①情報公開、行政手続等の法令を理解し業務を行います。
- ②グループ内にコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンス方針の設定、従事者研修、順守点検を実施します。
- ③コンプライアンスに関するマニュアル、手順書を作成し、研修等を通じて徹底します。
- ④ハラスメント防止等の対策を実施します。

■利用者等個人情報保護

- ・個人情報の保護は、個人情報保護法をはじめ、横浜市個人情報保護条例及び施設に適用する内部規定を順守します。
- ・「個人情報保護方針」を作成し施設に掲示します。

・遵守項目は職員及び関係者に周知徹底を図り、個人情報保護に努めます。

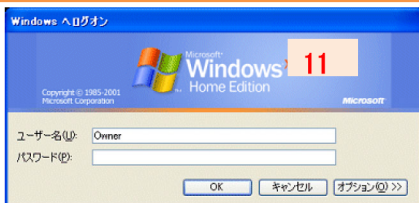
- ・代表企業は「プライバシーマーク」を認証しています。施設にその運用PMSを適用します。



* PMS：プライバシーマネジメントシステム

【実施する安全管理施策 例】

個人情報	管理方法
利用者、利用登録を行う個人や団体に属する方の氏名、電話番号等	①施設個人情報保護方針の掲示
従業員等の氏名、電話番号等	②職員の教育及び誓約書の取得
情報資産	③紙媒体：施錠管理、コピー禁止
利用・管理運営データ等	④電子媒体：PC パスワード設定、USB 等の利用禁止
	⑤システムセキュリティ
	⑥資料持ち出し禁止
	⑦定期的遵守点検



写真：ノート PC のワイヤー固定（イメージ）

●機密保持

管理業務に係る個人情報、管理情報は他人に知らせません。これは指定管理が満了後も同様です。

●従業員の監督

個人情報を取り扱う従業員には、安全管理の重要性、違反の場合の罰則の適用、退職後の守秘義務があることを教育します。従業員からは「情報の取り扱いに関する誓約書」を取得します。

誓 約 書

●利用場所の制限

個人情報、運営管理は、定められた場所以外で取り扱うことはしません。

■情報公開、行政手続等の法令を理解した業務

横浜市情報公開条例、横浜市情報公開規定に基づく業務を行います。情報公開や減免手続等従事者には「定期的研修」を実施します。

情報公開を求められた場合、公の施設の管理という役割と責任、市公開条例の趣旨、関係法令等を十分認識し、必要に応じた開示等を市と相談し、実施します。

■個人情報保護、情報管理の教育

●施設の職員（維持管理職員も含む）には個人情報保護に関する教育を実施します。

●情報の取り扱い

だけではなく、職員同士の会話、携帯電話の利用ルール等も含めた個人情報に関する注意事項を徹底し、理解度の確認も行います。



理解度テスト

様式 11

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

■法令順守点検

代表企業、構成企業の多くは ISO、プライバシーマークを認証しています。

同認証では法令台帳等による「法令順守点検」が求められその状況も「認証審査機関」から第三者点検を受けています。

当施設においても適用し、年 1 回の内部監査「法令順守点検」を行います。

NO	環境法規制	規制事項	対象、設備活動・化学物質等	対応・届出書類	遵守状況
環境に関する法律					
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	第12条の3 (産業廃棄物管理票・マニフェスト) ・産業廃棄物の排出時におけるマニフェストの発行 ・マニフェスト発行後、D票を90日、E票を180日以内に回収すること。 ・管理票は、5年間保存する。	発生する産業廃棄物の処理	マニフェスト回収できない場合、知事に届出産業廃棄物管理表等状況報告書の作成及び提出	○
		第12条2 産業廃棄物保管場所における囲い・表示(□60cm)	発生する産業廃棄物の保管時	保管場所への囲い・表示	○
		第12条4 委託業者(収集・処分共)と契約書の締結 委託業者の許認可証写しの入手	発生する産業廃棄物の処理委託	契約書締結、許認可証写し入手	○
2	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)	第4条 取扱い事業者は化学物質が人の健康を損なう恐れがあるものなど理解し、取扱いにかかわる管理を行う責務がある。	ワックス洗剤類	購入先よりMSDSの取寄せ社内保管 必要に応じて提供	○
3	毒物及び劇物取締法	毒物劇物の管理方法の遵守 毒物劇物取扱責任者の設置	毒物劇物	利用記録	○
4	消防法	危険物貯蔵方法の遵守 ガソリンの運搬・貯蔵は金属容器で行う。(最大容量22Lまで)	危険物 高圧洗浄機用ガソリン	指定数量以上の貯蔵については消防署へ危険物の届出	○ ○
5	容器包装にかかわる分別収集及び再商品化の促進に関する法律	第4条 (事業者及び消費者の責務) 繰り返し使用可能な容器包装の使用、容器包装の過剰使用の抑制により、容器包装廃棄物の抑制に努めなければならない。分別収集、再商品化の促進に努めなければならない。	事業系廃棄物全般	廃棄物の分別	○
6	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	第6条 (事業者及び消費者の責務) 特定家庭用機器(冷蔵庫洗濯機等)を廃棄する際、所定の料金を小売業者等へ支払いの上、小売業者等へ引き渡す。	事務所・控室内のエアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機	廃棄の場合	○

【環境関連法令台帳 例 部分】

■個人情報保護方針 (部分)

個人情報保護方針

当団体はは、市民プールにおける利用者等の個人情報を適切に取り扱い、漏洩、棄損等の防止により保護していきま

- 1 個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の取得・利用及び提供するための内部規程を定め、これを遵守します。
- 2 個人情報を取得は、施設利用に関するためであり、利用目的の達成に必要な範囲内で取り扱います。当初の範囲を超えて取り扱う場合には改めて本人の同意を得るなど規程に従った対応を行います。
- 3 個人情報の保護に関する法律 (個人情報保護法)、国が定める指針及び関連するその他の法令・規範を遵守します。
- 4 個人情報への不正アクセス、個人情報の漏えい、滅失または毀損及び改ざんなどに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全性・正確性の確保を図り、万一問題が発生した場合には速やかに是正・改善を実施します。
- 5 個人情報の取り扱いに関する苦情・相談・お問い合わせ・開示等のご請求に、誠実かつ迅速に対応します。
- 6 個人情報保護マネジメントシステムを確立し、確実に運用するとともに、定期的な見直し及び継続的な改善を実施致します。

制定日：令和 4 年 4 月 1 日

統括責任者：*****

■ヨコハマ3R夢プラン

横浜市は、G30 を礎に、分別・リサイクルはもちろんのこと、ごみのリデュース（発生抑制）に取り組み、温暖化対策・CO2 削減を進めています。また、ごみ処理の安心と安全・安定を追求し、ごみのことで困らない住みよいまちの実現を目指しています。

「ヨコハマ3R夢プラン」の取組として、リデュース(Reduce)の推進をするために

- ・「横浜マイボトルスポット」に登録し、ごみの減量を図っていきます。
- ・クリーンアップ活動 SNS「ありがとう！ヨコハマクリーンアップ」に積極的に参加します。
- ・事業者としての活動（右側 環境配慮参照）
- ・利用者への啓蒙（右側 環境配慮参照）

■人権尊重

横浜市の人権スローガンは“一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会”の実現”となっています。

人権尊重取組として

- ①施設従事者への研修・教育
- ②利用者への啓発活動
- ③障がい者団体等とのコミュニケーション

■男女共同参画推進

横浜市の男女共同参画推進では、以下の3つ政策を中心に進められています。

- ①女性活躍のさらなる推進
 - ②安全・安心な暮らしの実現
 - ③誰もが活躍できる 豊かな地域・社会づくり
- 当施設では以下を実施します。

・ワークライフバランスの取組み

時間外労働の許可制や終礼等を実施し、業務の平準化や有休の取得を奨励します。

・マルチジョブの推進

複数の仕事をこなす職員を育成することで「育児」「介護」の休暇を取りやすくしています。

・女性活躍推進法の推進

女性責任者（統括責任者や水面責任者）を 50% 以上にします。

・子育て家庭応援事業「ハママグ」の協賛施設

横浜市こども青少年局地域子育て支援課が実施しています。授乳ペース等を設置し、子育てをする家庭に優しい施設を目指します。



※環境への配慮（一部施設管理環境配慮と重複）

■環境配慮の具体策

- ・省資源・省エネルギー目標設定
責任者を中心に、省資源・省エネルギーに基づいた具体策を決定し目標達成を目指します。施設の電気、ガス、水道使用量のデータを各種評価手法により分析し、削減目標を毎年設定します。

- ・3Rと電子化による消耗品等の削減
事務における文書ファイルは、両面印刷や裏紙使用などにより紙の使用量削減に努めるとともに、電子化及びペーパーレス化、メールの活用を推進します。また、事務用品やOA機器・各種用具等もリサイクルを図ります。
- ・購買品はエコマークやグリーン認定用品
維持管理資材は環境配慮型を利用します。洗剤、清掃機材は環境を配慮した商品を活用します。鉛の入っていないワックス、塩素系溶剤を含まない洗剤等を利用します。

■イベント開催もエコへの取り組み

- ・多くの人が集まるイベントでは、大量の廃棄物が発生し、たくさんのエネルギーや資源が消費されるなど、環境への負荷が大きくなります。
- ・環境への負荷をできるだけ少なくするように配慮した「エコイベント」の取組が重要です。
- ・主催するイベント等において、環境に配慮したエコイベントの取組に率先して努めます。
- ・参加者にも環境配慮の実践を促し、環境に配慮したエコイベントの取組が広く定着することを目指します。
- ・イベントの開催は、参加者への環境意識の啓発を行う良い機会ともなります。

■市中小企業振興基本条例の趣旨を踏まえた取組

- ・市内中小企業優先発注
教室の講師、施設管理の専門的業務は市内業者（個人事業主含む）に発注します。件数、費用の80%以上を市内とします。
- ・イベント等施策における活用
イベントや集客施策（例 ホームページの作成、キッチンカー等）でも委託が必要な業務が数多くあります。積極的に活用します（現状でもほぼ100%市中小企業です）。

様式 11

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■「健康横浜 21」への貢献

GoGo 健康！～「健康寿命の延伸」を目指して～
元気なうちから介護予防

横浜市健康福祉局施策
に連携・協働していきます。

横浜市の高齢化率は約
25%で、超高齢社会に入
っています。
団塊の世代の方が 75 歳
以上となる令和 7 年には
高齢者数が 96 万人を超え、高齢化率は約 26%に
なると推計されています。

また、平成 27 年から令和 7 年にかけて、後期高
齢者（75 歳以上の方）は約 40 万人から約 58 万
人、要介護認定者数は約 15 万人から約 21 万人、
認知症高齢者数は約 14 万人から約 20 万人とな
り、いずれも 1.4 倍程度急増することが見込まれ
ています。

社会全体として高齢化が進む中でも、「いつまで
も元気にいきいきと自分らしく毎日を過ごした
い」というのが、誰もが望むことではないでしょ
うか。いくつになっても健康で自立した生活を送
り、活動的に過ごすためには「健康寿命」を延ば
すことが重要です。

健康横浜 21 基本目標 健康寿命を 10 年間にわた
り延ばすことを目標としています。

当団体は、上記の市の政策に貢献できるように健
康運動指導士やスポーツプログラマーによる高齢
者の健康寿命を延ばす適切な運動プログラムを提
供します。



■ウォーキングポイントリーダー設置

各プールは「ウォーキングポイントリーダー設
置」となります（実施施設あり）。



【設置しているウォーキングポイントリーダー】

様式 11

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

(2) 第3期横浜市スポーツ推進計画を踏まえた取組となっているか。

■第3期横浜市スポーツ推進計画の目標達成に寄与します

- ①第3期横浜市スポーツ推進計画の趣旨、目標を理解し、管理運営を進めます。
- ②取組は毎年達成度確認や施策内容を見直し、継続的に推進します。

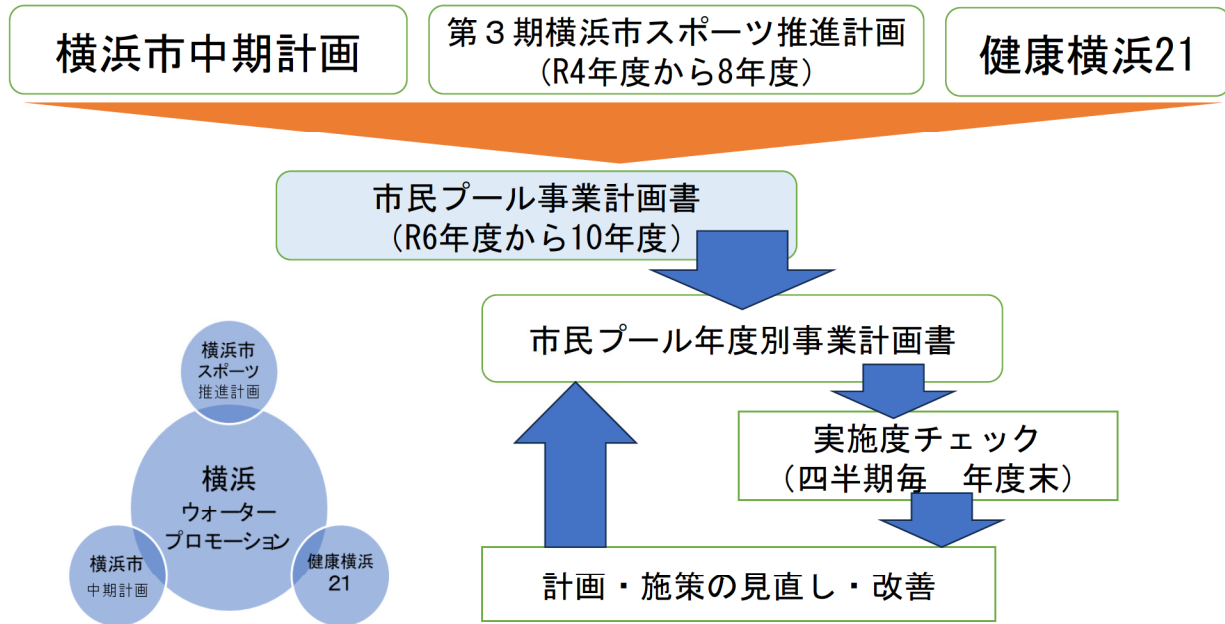
【施策の区分】

分野	施策 例（利便性向上、利用促進と重複）
市民の健康づくりを後押しするため、子どもから高齢者までが、初心者であっても楽しく、気軽に参加できるイベントの提案や、健康づくりへの関心・関心のある方の行動に繋がるような支援策の提案	・プールを利用した「見る機会」の提供 ・教室は初心者、ベテラン、幼児から高齢者まで多様なプログラム提供 ・水泳を主体とした健康セミナーの開催 ・指定運動療法施設の認定取得
年齢や性別、子育て世代の親、障がいの有無、国籍等に関係なく多様な主体が有する特徴の制約を受けずに、利用しやすいスポーツの場を充実するため、必要な支援や配慮 託児サービスの活用やバリアフリー化、ユニバーサルデザインの推進、多言語・やさしい日本語への対応など具体的な対応策	・託児所開設、子育てママの仲間づくり支援 ・多言語での対応（受付）、情報発信（HP） ・掲示物の大文字化や外国語対応 ・インクルーシブ水泳教室開催 ・LGBTの方の着替え室確保 ・障がい者プールの日 設定 ・障がい者水泳教室の開催 ・バリアフリー対応
施設の職員が研修に参加するなど、インクルーシブスポーツを推進できる取組が提案されているか	・障がい者スポーツ指導員の資格取得と配置 ・インクルーシブ水泳教室開催

【目標】

項目	目標	備考
件数実施度	80%	実施件数/企画件数
市の評価	この分野で A 評価	
毎年施策の追加	4 件	統括本部会議で検討

■取組状況や結果は定期的に評価・見直しを行います。



* 「健康横浜 21」への寄与については（60 頁）に記載

様式 11

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

■第3期横浜市スポーツ推進計画・・・スポーツ都市横浜

- ◆目標1 スポーツを通じた健康増進
- ◆目標2 スポーツを通じた共生社会の実現
- ◆目標3 スポーツによる賑わいづくり

* 以下は実施予定の様々な施策（利便性向上、集客、地域連携施策含む）

* 一部の施策は集約表記

* SDGs17の目標への寄与を各アイコンで記載



	取組テーマ（利便性向上・利用者増・広報施策に挙げたテーマ）		3つの目標			
			通じた健康	スポーツを通じた共生	スポーツによる賑わい	スポーツに
1	サービス向上委員会の設置 継続的に利用者の利便性向上や安全を検討する場	3 すべての人に健康と福祉を	○	○	○	
2	プール連絡協議会の設置 他プール、体育館との連携	3 すべての人に健康と福祉を 17 パートナシップで目標を達成しよう	○	○	○	
3	開館時間の維持（通年 9:00～20:00） 少しでも多くの利用可能時間を確保 （都築・旭は 10:00～20:00） 保土ヶ谷プール開館時間外の利用促進：7:00～9:00 早朝利用	3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう	○			
4	送迎バス配車（保土ヶ谷プール） 送迎バス配車（金沢プール）	3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう	○	○		
5	保土ヶ谷プール指定運動療施設認定の取り組み	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナシップで目標を達成しよう	○			○
6	金沢プール健康増進施設認定の取り組み	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナシップで目標を達成しよう				
7	広報や情報発信の充実	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナシップで目標を達成しよう	○	○	○	
8	キャッシュレス決済の導入		○			
9	休館日の利用検討 団体利用やターゲットを絞った特別な教室等 団体貸切利用の推進（利用事例等の作成と広報）	3 すべての人に健康と福祉を	○			○
10	管理本部書職員による利用見込み施設や団体の訪問 障がい者施設等を訪問しニーズヒアリングし施策へ反映	3 すべての人に健康と福祉を	○	○	○	
11	外国人対応マニュアルの作成や掲示物 外国語対応実施	3 すべての人に健康と福祉を		○		
12	「みる」イベントの開催 オリンピック等における水泳教室 記録会などに関係者の観覧可能可	3 すべての人に健康と福祉を 17 パートナシップで目標を達成しよう	○	○	○	
13	子ども貧困問題への取組 （教室への無料参加 等）	1 貧困をなくそう 17 パートナシップで目標を達成しよう	○	○		
14	健康セミナーの開催	2 健康と福祉を 3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう	○		○	

様式 11

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

15	地域総合スポーツクラブとの連携			○		○
16	託児所の開催 子育て世代の仲間づくり支援			○	○	
17	障がい者プールの日 設定					○
18	障がい者スポーツ指導員の資格取得					○
19	障がい者水泳教室開催					○
20	インクルーシブの日設定 又は教室開催 (教室は既に実績あり)					○ ○ ○
21	学校プール支援 施設近隣学校の水泳授業支援 施設近隣学校の水泳部の練習の場提供 水泳部活動地域移行支援				○	○
22	トレーニングマシンの設置 血圧計、体組成計の設置 ランニングステーションとして利用可能			○		
23	記録会の開催 団体記録会開催支援			○		
24	様々な水泳教室等の開催 (例 幼稚園や小学校先生向けライフガード教室) パーソナル水泳レッスン (個人や仲間等) 水泳ビデオクリニック 様々なスポーツ (フロア) 教室等の開催					○ ○
25	地域コミュニティと連携したイベントの企画 地域スポーツ推進委員と連携し、スポーツ大会に水泳部門追加検討			○	○	○
26	運動・スポーツのスポーツ講師派遣 (アウトリーチ活動)			○	○	○
27	日本水泳連盟公認水泳検定会の開催			○		○
28	サイクルステーションの設置				○	

様式 11

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■スポーツ推進に向けた「15 項目」への貢献（主なもの）

項目 (横浜市スポーツ推進計画)	取組・提案内容
◆取組 1 「健康づくりに気軽に取り 組む機会の充実」	保土ケ谷プールが「指定運動療法施設」の認定を受けます。 背景： 健康寿命の延伸と医療・介護費の削減・抑制 金沢・港南・保土ケ谷プールとも平日日中は高齢者の方が利用する割合が 90%を超えている。
◆取組 3 働く世代と子育て世代の親 と子が楽しむスポーツの充 実	親子水泳教室をはじめ、ベビースイミングを実施し、親は自分の運動不足解消と子の成長を見ながら楽しく水泳をできる環境を整えます。
◆取組 4 児童生徒がスポーツを楽し む機会・場の充実	スポーツ庁が推進する部活動の地域移行を目指し、プール近隣学校の水泳部の受け入れを行います。
◆取組 5 高齢者向けスポーツの充実	高齢者向けの多様なスポーツ教室の開催 「指定運動療法施設」では医師の協力のもと、健康づくり教室の充実が可能です。
◆取組 15 総合型地域スポーツクラブ の育成・活動支援及び連 携・協働の推進	部活動の地域移行への取組としてプールを活用し、地域中学校の水泳部員を保土ケ谷プールで受け持ちます 

■障がい者利用支援

①体系的・計画的に「施設訪問やニーズ等の調査研究」「施策検討」「広報活動」「実施」「見直し」等 PDAC サイクルを展開し着実に効果のあるものを実施します。

②障がい者やその団体、支援団体に利用環境整備の情報発信を強化します。

横浜市の施策や調査データを参考に、当面は「障がい者プールの日 設定」「指導資格者の増員」「教室の開催」に重点を置きます。

■横浜市の目指すところ

(中期計画より)

◇スポーツ環境課題

障がいのある市民（成人）の「週1回以上」のスポーツ実施率は、令和3年度は45.0%となっています。東京2020パラリンピック競技大会により高まった障がい者スポーツの機運を維持しつつ、障がいの有無にかかわらずスポーツに親しめる環境を整備し、共生社会の実現につなげていくことが求められます。

【右図 横浜市障がい者プラン より】

◇スポーツを通じた共生

社会の実現パラスポーツを推進することで、障がい者がスポーツに参加する機会を提供し、障がい者のスポーツ実施率を向上させます。また、年齢や性別、障がいの有無、国籍等にかかわらず、ともにスポーツを楽しめるインクルーシブな場をつくり、様々な人が多様性を認め合うことで、スポーツを通じた共生社会の実現目指します。

■障がい者運動・スポーツに関する注目すべき点

* データは4年度横浜市民スポーツ意識調査より

項目	データ
運動スポーツはどこでおこなったか	自宅 36.5% 障がいのある方優先施設 8% 公共のスポーツ施設 27.5%
今後運動スポーツをするときはどこを利用したいか	自宅 41.1% 障がいのある方優先施設 4.8% 公共のスポーツ施設 15.5%
今後の運動スポーツへの取組	運動スポーツを行っているがもっといきたい 28%
運動スポーツで障がいになっているものは	交通手段がない 8% 運動スポーツのできる場所がない・断られる 8.5% 情報が得られない 8% 指導者がいない 8%



どこから情報を入手していますか

広報よこはま	35.5%
雑誌・無料情報誌	11.5%
家族・友人から口コミ	23%
インターネット	25.5%

注目：どこでしたか、今後したい所はどこかの比較で、公共施設は大きくダウン
公共施設は使いにくのではないかな？

■検討施策（R6 年度後半から）

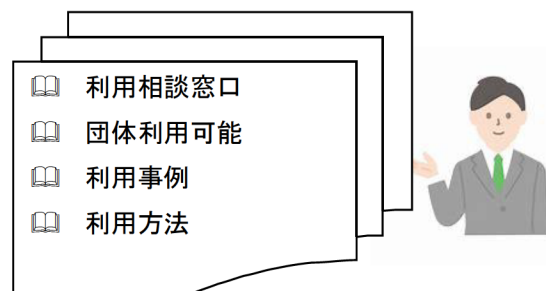
- 障がい者プールの日 設定
- 関連施設、団体の訪問やダイレクトな情報提供
- 障がい者水泳教室の開催
- 障がい者施設の団体水泳利用推進（団体貸出等）
- 障がい者スポーツ指導員の資格取得（各施設最低1名）

■障がい者利用支援は体系的・計画的実施します

	R6	R7	R8	R9	R10
授産施設等の施設訪問とニーズ理解	→				
利用支援施策の構想・具体化	→	→			
広報活動	→	→	→	→	→
利用支援の実施	→	→	→	→	→
見直し					→

■その他検討施策

- 障がい者利用パンフレットの作成



* 担当者が可能性施設を訪問し紹介します

様式 12

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

5 管理運営経費

(1) 利用料金等収入増への取組

■利用料金等収入増への取組

- ・利用料収入は、集客施策、スポーツ教室の拡充等により、収入を見込んでいます。
- ・利便性向上、広告・PR,集客施策で利用料収入、スポーツ教室の収入増
- ・平成7年度には「コロナ過」の影響を脱し、平成30年度ベースに回復させ、その後、集客増施策が寄与し増収させます。

【利用料金等収入計画 単位：千円】

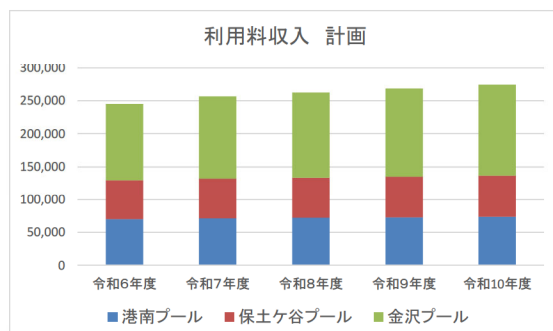
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
港南プール	70,345	71,567	72,329	73,093	73,856
保土ケ谷プール	59,180	60,400	61,162	61,925	62,687
金沢プール	115,700	124,712	129,192	133,673	138,154
合計	245,225	256,679	262,683	268,691	274,697

■利用料収入は増加

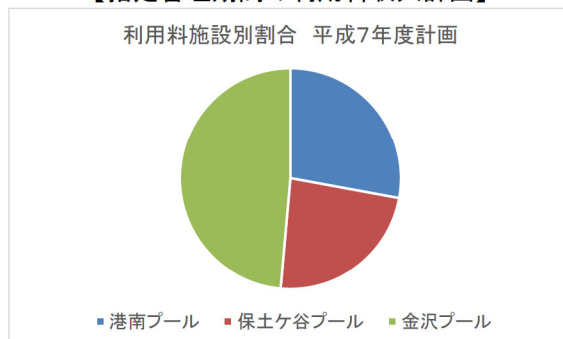
集客施策、スポーツ教室の拡充等により、収入増を見込んでいます。

■金沢プールの利用料収入が重要

特に、金沢プールは収入の全体利用料収入の5割弱閉めます。「送迎バス」「滞在型プール企画」「広告・PR」等を積極的に実施し増収を目指します。



【指定管理期間の利用料収入計画】



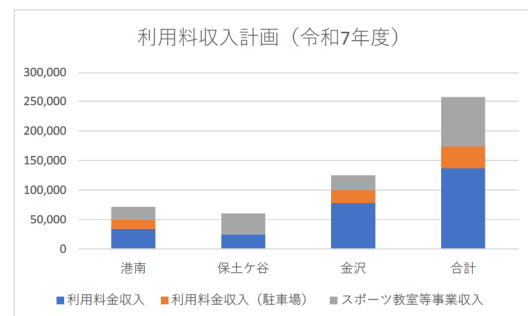
【施設別収入割合 令和7年度】

■「スポーツ教室」収入

水泳教室の多様化、多目的室での「スタジオ教室」等を展開し収入増を図っています。

	港南	保土ケ谷	金沢	合計	割合
利用料金収入	33,967	24,400	78,112	136,479	53%
利用料金収入（駐車場）	15,600		21,600	37,200	14%
スポーツ教室等事業収入	22,000	36,000	25,000	83,000	32%
合計	71,567	60,400	124,712	256,679	100%

【施設別・項目別利用収入計画 令和7年度】



■保土ケ谷プール

送迎バス等の利用増施策を計画し利用料収入増を目指しています。令和10年度には港南プールの85%程度の収入まで伸ばします。

■その他収入

港南プールでは「屋上・外壁」への広告事業を計画しています（収入 年間100万円）。

	収入	目的外使用料	収支
広告収入	1,000,000	630,000	370,000

様式 12

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

(2) 指定管理料の額

■指定管理料の額

- ・ 5年間（指定期間計）総額上限 462,375 千円を 10825 千円（2.3%）下回る額となります。
- ・ 各年度額は「利用増施策」の実施時期、効果が表れる時期等が収入に影響し、指定管理料の増減に影響して、若干変動しています。
- ・ 令和 6 年度は利用料収入が回復なかばであること、「利便性向上施策」や「集客増施策」での初期投資があり、収支との関係から多少高めになっています（但し年度上限金額 92,475 千円以内）。

【指定管理料 単位：千円】

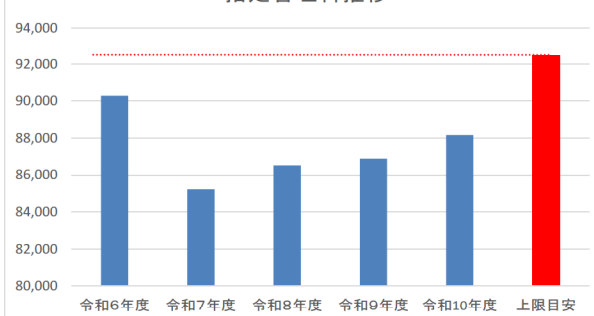
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計
指定管理料	91,680	87,726	89,222	90,714	92,208	451,550
年額上限(目安)	92,475	92,475	92,475	92,475	92,475	462,375

【指定管理料計算明細 単位：千円】

項 目	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	合計
施設運営収入 (A)	245,225	256,679	262,683	268,691	274,697	1,307,975
施設名 港南プール	70,345	71,567	72,329	73,093	73,856	361,190
保土ヶ谷プール	59,180	60,400	61,162	61,925	62,687	305,354
金沢プール	115,700	124,712	129,192	133,673	138,154	641,431
維持管理運営費用 (B)	336,905	344,405	351,905	359,405	366,905	1,759,525
施設名 港南プール	119,835	122,335	124,835	127,335	129,835	624,175
保土ヶ谷プール	108,435	110,935	113,435	115,935	118,435	567,175
金沢プール	108,635	111,135	113,635	116,135	118,635	568,175
指定管理料 支出(B)－収入(A)	91,680	87,726	89,222	90,714	92,208	451,550

- ・ 令和 7 年度はコロナ以前平成 30 年度程度まで利用人数等が回復する計画にしています。
- ・ 令和 8 年度以降は利用人数は増加（設定した目標値 4 頁）を見込んでいますが、計算利用人数はリスク回避のため、若干低めを想定し収支計算をしています。
- ・ 利用料収入が大幅増の場合、横浜市に還元します（101 頁参照）。
- ・ 各年度額は「利用増施策」の実施時期、効果が表れる時期等が収入に影響し、指定管理料の増減に影響して、若干変動しています。
- ・ 令和 6 年度は利用料収入が回復なかばであること、「利便性向上施策」や「集客増施策」での初期投資があり、収支との関係から多少高めになっています（但し年度上限金額 92,475 千円以内）。

指定管理料推移



様式 12

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

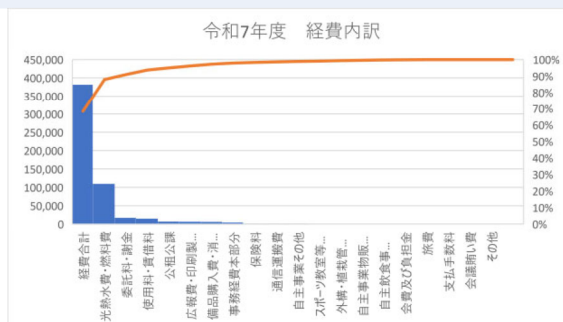
(3) 施設の課題等に応じた費用配分

■施設の課題等に応じた費用配分・・・(モデル年度として令和7年度予算活用)

- ①人件費(46%)及び水道光熱費(29%)で全体の75%を占める経費配分とした。
- ②その他「修繕費」「設備管理費等」「使用料・賃借料」「委託料等」が各4%程度とした。
- ③上記6費目で全体の91%となり、過去実績(省略)と比較して、人件費の割合が増加した予算とした。
- ④人件費は増額しているが、効果的運用である「集客増のため見込み顧客の訪問」「イベント等の企画・運営」「送迎バスの運転手」「職員によるスポーツ教室講師」等が利用料収入増に寄与すると見込んでいる。

【R7年度経費予算】

支出費目	金額	割合(約)
人件費	174,135	50%
修繕費	16,500	5%
設備管理費・保安警備費	13,950	4%
備品購入費・消耗品費	6,000	2%
外構・植栽管理費 ・廃棄物処理費	1,380	0%
広報費・印刷製本費	6,600	2%
光熱水費・燃料費	82,600	24%
保険費	1,800	1%
使用料・賃貸料	9,900	3%
委託料・謝金	17,140	5%
公租公課	7,200	2%
旅費	360	0%
会議賄い費	54	0%
通信運搬費	1,800	1%
支払手数料	186	0%
会費及び負担金	600	0%
事務経費本部分	4,200	1%
その他	0	0%
スポーツ教室棟事業 (時間外)	1,440	0%
自主飲食事業 (目的外使用料)	1,092	0%
自主事業物販事業	1,220	0%
自主事業その他	1,536	0%
経費合計	349,693	100%



◆経費削減

経費削減では「マルチジョブ 例 日常清掃は職員が実施」や「業務の内製化」に取り組んだ予算とした。

◆修繕費

修繕費は施設の「長寿命化」や「既に発生している不具合修繕」を考慮し、1500万円(消費税別)を計上した。

◆水道光熱費

特に電気代は施設管理会社(A社、D社)の検討により「エコチューニング 例 空調の調整」等による5%程度の削減を見込んでいる。

様式 12

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

(4) 事業予算の計画

■事業収支計画のため、収入、支出とも個別の数値（利用人数・単価）や業務別人件費を積み上げて事業収支を計算しています。

■人件費等は「最低賃金」を上回る単価を設定し、積算しています。

【総括収支】

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
①施設運営収入 (A)	245,225	256,679	262,683	268,691	274,697	1,307,975	
施設名 港南プール	70,345	71,567	72,329	73,093	73,856	361,190	
保土ヶ谷プール	59,180	60,400	61,162	61,925	62,687	305,354	
金沢プール	115,700	124,712	129,192	133,673	138,154	641,431	
②自主事業による収入	38,492	39,892	40,094	41,500	41,710	201,688	
施設名 港南プール	8,600	9,260	9,321	9,983	10,046	47,210	
保土ヶ谷プール	7,600	7,648	7,696	7,745	7,795	38,484	
金沢プール	22,292	22,984	23,077	23,772	23,869	115,994	
合計(①+②)	283,717	296,571	302,777	310,191	316,407	1,509,663	

(2) 支出

(千円、税込み)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
③維持管理運営費用 (B)	336,905	344,405	351,905	359,405	366,905	1,759,525	
施設名 港南プール	119,835	122,335	124,835	127,335	129,835	624,175	
保土ヶ谷プール	108,435	110,935	113,435	115,935	118,435	567,175	
金沢プール	108,635	111,135	113,635	116,135	118,635	568,175	
④自主事業による経費	5,000	5,288	5,288	5,576	5,576	26,728	
施設名 港南プール	1,124	1,268	1,268	1,412	1,412	6,484	
保土ヶ谷プール	1,172	1,172	1,172	1,172	1,172	5,860	
金沢プール	2,704	2,848	2,848	2,992	2,992	14,384	
合計(③+④)	341,905	349,693	357,193	364,981	372,481	1,786,253	

(3) 指定管理料

(千円、税込み)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
指定管理料＝ (支出 (B)－収入 (A))	91,680	87,726	89,222	90,714	92,208	451,550	

■保土ヶ谷プール利用料収入計算方法

- ・利用単価：設定利用料
- ・利用人数：過去実績値と施策効果等から推定

【例 保土ヶ谷プール 平成6年度予算】

	単価	想定利用人数	利用料収入
大人	400	30,400	12,160,000
子ども	100	21,280	2,128,000
障害者大人	200	3,800	760,000
障害者子ども	50	1,520	76,000
演とも	200	7,600	1,520,000
回数券大人	320	7,600	2,432,000
回数券子ども	80	3,800	304,000
合計		76,000	19,380,000

■非常勤職員給与基準

- 監視員 2名×5,616千円＝11,232千円
- 設備員 1名×3,500千円＝3,500千円
- 受付員 1名×5,250千円＝5,250千円
- 清掃員 1名×5,250千円＝5,250千円

■委託費は委託先見積りや実績から算出

設備管理費、保安警備費、植栽管理費等は過去実績や相見積り等から算出しています。

費目 例	予算金額
設備管理費（压力容器・環境衛生・冷却塔清掃等）	2,500
保安警備費（機械警備）	2,150
外構・植栽管理費（敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか）	260

様式 12

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

(5) 適正な委託・調達・雇用

■管理運営業務の多くは当社グループが直接行います

◆委託・調達は購買等のルールを設定し行います。

- ・特殊な資格等が必要な維持管理業務は「委託」します
- ・一部の水泳教室の講師を外部（個人事業主）に委託しています
- ・委託は契約書等文書で明確にします
- ・業務が適正に行われたかの確認を実施します
- ・市内企業や住民を優先します。

■雇用は市民を優先し、適正且つオープンな方法で行い人材を確保します。

■運営管理業務はほぼすべて社員が実施

維持管理も含めて運営管理業務は当グループ社員が実施します。

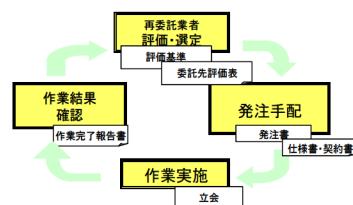
但し、維持管理業務の中で「昇降機定期点検」等専門性の高い業務は「委託」します。作業内容、品質、安全、業務結果を確認します。万が一不適切な作業が行われた場合、直ちに手直しを行うとともに委託先を是正指導します。

■事前評価

- ・市内企業を優先させ、当社の管理基準に見合っているか「委託先評価」を実施し、基準に達した場合に委託先候補します。
- ・市内企業（個人事業主含む）を優先します。

評価項目

- ① 管理体制（品質・安全管理）
- ② 過去のクレーム及び対応
- ③ 見積価格
- ④ 横浜市内企業 等



【委託業務と点検・チェック方法 例】

委託業務	留意事項	点検・チェック方法			
		目視	写真	報告書その他	立会
害虫駆除	仕様書	○		○	
樹木管理	仕様書	○	○	○	
エレベータ保守点検	法定点検			○	

■業務報告書の提出義務付け

委託業務は、委託内容に応じて業務完了報告を実施させ、業務の基準遵守、品質、時間等を確認します。業務報告の最終承認者は統括責任者となります

■教室の指導員を市内から採用

教室の企画・運営は館長及び担当者責任者が実施します。指導員は市内在住者優先し、資格者を採用します。

- ・市内在住者を優先させ、面談等をおこない当社の管理基準に見合っているか「評価」を実施し、認められた場合に採用します。

【教室委託 例】

教室名	内容	委託先
こども水泳教室	指導員	個人
アクアビクス教室	指導員	個人
レベルアップスイム	指導員	個人

■適正な契約の実施

- ・指導員の運動指導等に関する資格を確認します。
- ・教室の内容は契約書等で文書化します

■監視員、清掃業務職員等も自社採用

プールの監視員は自社採用です。資格や水泳能力、経験から採用判断します。水面責任者指示のもとに、迅速対応が可能になっています。

■ミーティング

委託先と定期的に情報交換を行い、教室状況の情報入手や安全管理の徹底を図ります。

■委託の履行評価

委託業務は1回年、報告書等確認やヒアリングを行い履行状況の評価を行います。

運動教室評価報告
教室参加者アンケート
面談実施

様式 12

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■職員の雇用に関しては法令及び各法令に基づき行ないます。

- ・職員は横浜市住民を優先します。
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進など、職員の雇用環境を向上させます。

■施設従事者予定者は確保

現在、施設従事者予定者は確保されています。

■高齢者、障がい者雇用を推進

65歳以上の雇用2名以上雇用を実施します。

■労働関係法令の遵守

法律	規定・届出等
労働基準法	就業規則
労働者災害補償保険法 (労災保険法)	労災保険への加入
労働安全衛生法	安全教育 労働衛生委員会 の開催等
育児休業、介護休業等育児又は 家族介護を行う労働者の福祉に 関する法律(育児介護休業法)	就業規則
労働時間等の設定の改善に 関する特別措置法	就業規則
短時間労働者の雇用管理の改善 等に関する法律 (パート労働法)	就業規則
労働契約法	就業規則
労働安全衛生法施行令	安全教育 労働衛生委員会 の開催等
労働者災害補償保険法施行令	労災加入
政令第33号労働基準法第37 条第1項の時間外及び休日の割 増賃金に係る率の最低限度を定 める政令	就業規則

■ワーク・ライフ・バランスの取組み

- ・時間外労働の許可制や終礼等を実施し、業務の平準化や有休取得を奨励しています。
- ・マルチジョブの推進
複数の仕事をこなす職員を育成することで「育児」「介護」の休暇を取りやすくしています。
- ・有給取得を積極的に推進

■女性活躍推進法の推進

施設統括責任者、水面責任者の50%以上を女性にします。
代表企業等は「次世代法・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画」をホームページで公表しています。

■従事者面談の実施

施設統括責任者は定期的に施設従事者と面談し、職場環境に関するニーズを聞き、改善に努めます。

■就業環境

	労働基準法		健康保険法 厚生年金 保険法	健康保険法 労災保険法	労働安全 衛生法
	給与	期間	社会保険	雇用保険 労災保険	健康 診断
正規職員	月給	無期	加入	加入	実施
有期雇用契約職員	時給	有期	加入	加入	実施
パートタイマー	時給	有期	未加入 (20時間以内)	加入 加入	実施

様式 13

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

7 施設管理

(1) メンテナンス及び環境保持・環境配慮

■様々な利用者が満足・感動できる維持管理を展開

- ①市民・利用者にとって安全・安心・快適な「環境」を提供します。
- ②各施設に必要な常駐設備員を配置し保守管理を行います。
- ③施設特性の理解と課題へ対応した維持管理を実施します。
- ④施設維持に関する法令遵守を徹底します。
- ⑤メンテナンス PDCA を展開します。
- ⑥予防保全効果を高める管理体制で効率的な維持管理を実施します。
- ⑦施設管理に関する予算は「自社施工」「相見積の実施」「計画発注」等により削減に務めます。

【施設課題】

築年数がたち、修繕費の効果的な利用が重要です。

様々な利用者は施設案内、維持管理へのニーズも様々であり柔軟な対応が必要です。

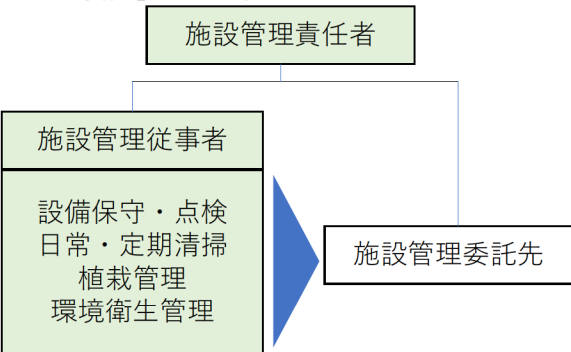
ライフサイクルコスト（将来的な修繕費や維持管理費）を考慮した管理が重要です。

【維持管理計画書 例 港南プール】

作業項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日常設備員運転管理	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ストレージタンク・熱交換設備検査							●					
高架・受水槽点検清掃							●					
雑排水槽点検清掃（汚泥引き）								●				
冷却塔レジオネラ菌検査 （冷却塔薬剤投）			●	●	●							
敷内樹木剪定・除草・薬剤散布・施肥他					●							
給湯水レジオネラ菌検査			●						●			
簡易ボイラー定期点検			●			●						
冷凍機保守定期点検		●					●		●			
消防設備点検					●						●	
ろ過機定期点検			●			●			●			●
害虫防除		●						●				
空気環境測定	●		●		●		●		●		●	
飲料水水質検査						●						
電気点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

■施設管理体制

施設毎に管理責任者と施設管理従事者を配置し、施設管理計画の策定、日常点検業務、定期点検業務等を行います。一部の専門的業務は「委託」します。



- ・保守管理マニュアルの作成、従事者の研修、作業の実施、点検や作業記録を残し確実な施設管理を行います。
- ・保守管理マニュアルは、法令遵守、管理水準の確保及び予防保全に重点を置いた点検を確実にします。
- ・委託費は実績と相見積から想定しました。指定管理期間、大きな変化は無い様です。

費目	内容	金額：千円
修繕費	設備機器経年劣化・故障等の修繕	5,500
設備管理費	圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	2,500
保安警備費	機械警備	2,150
備品購入費	用具等	500
消耗品	駐車場に係る消耗品 入退場機器消耗品 電球・券紙 施設運営に係る消耗品	550 950
外構・植栽管理費	敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥 ほか	260
廃棄物処理費	施設発生ゴミ・事業系廃棄物ほか	200
合計		12,610

【令和6年度保土ヶ谷プール 委託項目と費用】

様式 13

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

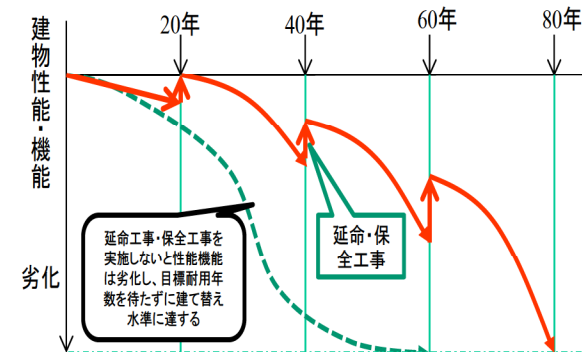
施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

■長寿化の取り組み

横浜市は施設関連投資額の低減や平準化を図りつつ、安全・安心な市有施設を維持し、良質な公共サービスを持続的に提供することを目的に公共施設の見直しを行っています。

施設の保守点検や修繕については、適正な費用での維持管理、予防保全点検、適切な修繕から施設全体の長寿命化を目指します。

日常の維持管理や保守点検に予防保全につながる点検項目を配慮します。



■維持管理業務水準向上の目標

維持管理水準向上のために独自に管理指標を設定し日常のマネジメントの中でその達成を目指します。

	サービス基準	業績指標単位：年
確実性	点検を決められた回数・方法で確実に実施	100%達成 (回数内容をすべて実施)
	異常発見時、適切に処置を行う	手順通り適切処理 (二次災害防止)
安全性	点検により設備異常を事前に知覚し、事故を未然に防ぐ	異常事前発見件数 3件以内
	安全意識、安全作業を徹底し、人的事故を未然に防ぐ	人的事故発生件数 0件
迅速性	維持管理に関するクレームや要望事項に迅速に対応する	1次対応⇒ 1時間以内
	トラブル発生時は迅速に報告する	速報 20分以内
満足度	施設の維持管理に関する顧客の満足度を充足する	基準満足度調査 (5点尺度) 平均 4点以上
	施設の維持管理に関する顧客のクレーム件数を評価する	クレーム発生件数 3件以内
効率性	サービス、作業、省エネ、コスト改善への取組及び提案を行う	改善提案 10件以上
	サービス、作業、省エネ、コスト改善に実施及び実績をあげる	改善効果 50万円以上



・台風、大雨等の災害には、事前の臨時点検と事後に復旧を迅速に行います。

【台風などの主な臨時点検】

項目	時期	内容
屋上 ルーフ ドレイン	事前	破損、異常、枯葉、ごみ除去
	事後	雨漏、破損、飛来物、ごみ除去等
排水升	事前	汚泥、ごみ等の除去
	事後	汚泥、ごみ等の除去
建物外周 部	事前	止水対策、所在の状況や看板等点検
	事後	雨漏、破損、倒木、飛来物等の確認
外壁・ガラス	事前	止水対策、異常等点検
	事後	雨漏、破損等の確認
屋上外部 設備機器	事前	破損、異常、枯葉、ごみ除去
	事後	雨漏、破損、飛来物、ごみ除去等
駐車場	事前	破損、異常の確認
	事後	破損、倒木、飛来物の確認

■小破損は自主修繕

小修繕に関しては自社職員又は社内専門家により作業を行います。

・メリット

- ◆迅速な作業（即実施）により、安全確保が可能で且つ施設運営に支障を及ぼさない
- ◆費用が材料費程度で済み、費用削減になる



【即応した施設修繕職員】

【工事前】



【工事中】



【工事後】



【維持管理担当者による壁の補修】

■環境保持・環境配慮

◆環境マネジメントシステムの適用

- ・維持管理担当企業は環境 ISO を認証取得しています。環境方針の設定と周知、環境目的・目標の設定と達成管理、内部監査、レビュー等を実施してきています。
- ・横浜市が取り組む環境マネジメントシステムを理解し、目標達成に寄与します。

◆環境配慮№1 施設を目指します

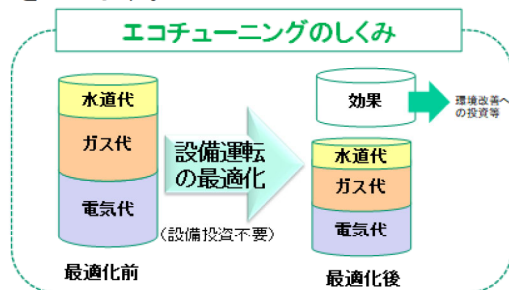
- ・職員全員の環境意識の向上を図りつつ、地球環境に優しい管理運営の実践で環境負荷の低減を図ります。
- ・エネルギー管理の徹底、リサイクル推進活動、利用者啓蒙活動など運営管理の環境負荷の低減活動を継続的に実施します。



項目	実施手法・内容	指標
省エネ活動の展開	空調機運転・運用においてはエネルギー総合管理技術指導員による監視設備の運用データの分析。省エネ活動を展開します。	別途目標設定
環境レポート作成と情報公開	施設全体の環境負荷や改善状況等に関して「環境レポート」を作成し市に提供します。	1 回/年

◆エコチューニング実践

- ・エコチューニングとは環境省が推奨している CO2 削減プログラムです。
- ・建築物の設備・機器・システムについて省エネルギー診断を実施して、消費されてエネルギーの「見える化」を行い、その結果を基に設備・機器の運用改善、並びに適正メンテナンスを行うことにより効率のよい運転をおこない、省エネルギーを図る手法をいいます。



◆環境配慮の具体策

- ・省資源・省エネルギー目標設定
責任者を中心に、省資源・省エネルギーに基づいた具体策を決定し目標達成を目指します。施設の電気、ガス、水道使用量のデータを各種評価手法により分析し、削減目標を毎年設定します。
- ・冷暖房効率の推進
冷暖房温度は、国が設定する温度を励行し、省エネルギーの推進を図ります。従業員の服装もクールビズ、ウォームビズを推奨します。
- ・3Rと電子化による消耗品等の削減
事務における文書ファイルは、両面印刷や裏紙使用などにより紙の使用量削減に努めるとともに、電子化及びペーパーレス化、メールの活用を推進します。また、事務用品やOA機器・各種用具等もリサイクルを図ります。
- ・購買品はエコマークやグリーン認定用品
維持管理資材は環境配慮型を利用します。洗剤、清掃機材は環境を配慮した商品を活用します。鉛の入っていないワックス、塩素系溶剤を含まない洗剤等を利用します。

◆イベント開催もエコへの取り組み

- ・多くの人が集まるイベントでは、大量の廃棄物が発生し、たくさんのエネルギーや資源が消費される環境への負荷が大きくなります。
- ・環境への負荷をできるだけ少なくするように配慮した「エコイベント」の取組が重要です。
- ・主催するイベント等において、環境に配慮したエコイベントの取組に率先して努めます。
- ・参加者にも環境配慮の実践を促し、環境に配慮したエコイベントの取組が広く定着することを目指します。
- ・イベントの開催は、参加者への環境意識の啓発を行う良い機会ともなります。

■保安警備業務

- 開館中は施設従事者が定期的に巡回します。
- 防犯、防火及び防災に万全を期し、利用者が安心して利用できる環境の確保のために保安警備業務を行います。警備業法、労働基準法等関係法令及び監督官庁の指示を遵守します。
- 夜間は機械警備を用いて実施します。

■廃棄物処理業務

- 施設から発生する廃棄物の発生抑制に努めるとともに、横浜市の分別ルールに沿って適切に分別を行い、市が構築する回収ルート等を活用し、可能な限り資源化していくなど「市役所ごみゼロ」の取組を推進します。

様式 13

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

(2) 快適な施設環境の提供

- ① 日常清掃、定期清掃は実施頻度、方法を定め計画的に行います。
- ② 環境衛生管理業務として「空気環境測定業務」を行います。
- ③ より快適に施設を利用していただく工夫を行います。

■ プールの水質検査

厚生労働省が「遊泳用プールの衛生基準」により定期的に実施し、記録を残します

項目	基準値	検査頻度
遊離残留塩素	0.4mg/L以上 (1.0mg/L以下が望ま)	※1
pH値	5.8以上8.6以下	
大腸菌	検出されないこと	
一般細菌	200CFU/mL以下	定期的に毎月1回以上
過マンガンカリウム消費量	12mg/L以下	
濁度	2度以下	
総トリハロメタン	0.2mg/L以下 (暫定目標値)	定期的に毎年1回以上
レジオネラ属菌 ※3	検出されないこと	※2 毎年1回

※1: 少なくとも毎日午前中1回以上及び午後2回以上 (このうち1回は遊泳者数のピーク時に測定することが望ましい。)

※2: 通年営業又は夏季営業のプールにあっては6月～9月、それ以外の時期に営業するプールにあっては水温が高めの時期

※3: 気泡浴槽、採暖槽等の設備、その他エアロゾルを発生させやすい設備、水温が比較的高めの設備がある場合

■ 清掃管理計画

良好な環境衛生、美観の維持に心がけ、快適な空間を保つために、清掃業務を実施します。清掃はできる限り利用者の妨げにならないように実施し、また、プールにおいては、カビや苔・金属部の錆の発生を防止するため、湿気対策を行います。24 時間換気など、設備維持に効果的な対策を実施します。

■ 日常清掃

全区域を日常的に清掃し、施設、備品、器具等が常に清潔な状態に保たれるようにすること。清掃回数等は最低 2 回/日とします。

シャワー室、便所等の水周りについては、衛生等について留意し、消耗品は常に補充します。

場所	清掃方法	回数時間帯等
事務室	床拭き掃き	毎日開館前、閉館後
多目的室	床拭き掃き	毎日開館前、閉館後
エントランスホール	床拭き掃き	毎日開館前、閉館後
トイレ	便器清掃 床拭き掃き	毎日 2 時間毎巡回清掃 専用機材使用
更衣室 シャワー室	床拭き掃き	毎日開館前、閉館後 2 時間毎巡回この時、 髪の毛等を回収 休館日に高圧洗浄
プールサイド	ブラシ掛け	朝、夕 毎日実施 休館日高圧洗浄

その他、巡回時に「汚染部」を発見した場合は都度清掃を実施します。

■ 定期清掃

維持管理を担う企業が専門スタッフを派遣し計画的に実施します。

	回 数	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
床 面 定 期 清 掃	1 回/年						○						
カ ー ペ ッ ト ク リ ー ニ ン グ	1 回/年						○						
ガ ラ ス 清 掃	1 回/年							○					
照 明 器 具 清 掃	1 回/年							○					
換 気 扇 清 掃	1 回/年							○					

■ 臨時・特別清掃

特に汚れが発生する催しで使用する場合には、特別清掃を実施します。また、施設点検日、休館日等に特に汚れがひどい場所を重点清掃します。

■ 環境衛生管理業務

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」等の関係法規を遵守します。

項目	内容	
空気環境測定業務	大気汚染防止法に定められた方法で測定実施	有資格者が一酸化炭素、二酸化炭素、湿度、気温、気流、ホルムアルデヒドの測定を行います (1 回/2 か月)
鼠・昆虫等防除業務	忌避剤等を用い鼠族或いは衛生害虫の防除及び駆除を実施	専門業者により、害虫駆除、生息調査点検を行います (駆除 2 回/年) (保守点検調査 10 回/年)
飲料水水質検査業務	飲料水の水質検査を行います	(1 回/年)

■ 外構・植栽管理業務

- ・施設の景観を保持するため、年間管理計画を作成し、敷地内における施設の外構の清掃及び地面、施設 付属物等の維持管理を実施します。
- ・敷地内の植栽の管理 (除草・草刈、中低木管理、高木管理) を行います。
- ・散水、施肥、害虫駆除、剪定、除草、草刈を計画的に行い、適切な緑樹の状態を維持します。

様式 13

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■より快適に施設を利用していただく工夫

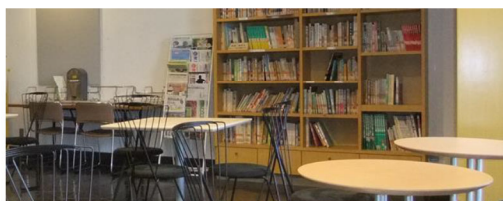
プール利用で不快に感じる可能性がある項目	工夫
受付やエントランスホールが熱い、日差しが直接あたる	壁の計器気温ではなく実質気温を測定し、温度調整 グリーンカーテン等
トイレの匂い	換気や芳香剤の設置
更衣室の水ぬれ	1回2時間巡回 モップで清掃 休館日に高圧洗浄
更衣室の抜け毛髪散乱	1回2時間巡回 ロールで清掃
自販機のボトル入れが満杯であふれている	施設巡回時点検し 適宜清掃
プールサイドの黒カビや汚れ	休館日に高圧洗浄
シャワー室の黒カビや汚れ	休館日に高圧洗浄

■男性用サニタリーボックスの設置

病気治療や加齢等、尿漏れパットなどをご使用している男性にも安心して館内をご利用頂けるように、男性トイレ個室の一部に「サニタリーボックス」を設置します。

■休憩・情報コーナーの設置

プール利用後の休憩や水泳教室の子どもをお待ちになる親御さんのために、「休憩・情報コーナー」の設置を行います。



■エントランスホールでの水泳ビデオ放映

デジタルサイネージ（液晶テレビ）を設置し定期的に「水泳関連ビデオ」を放映します。

■金沢プールホール等レイアウト改善（再掲載）

施設の強みを生かし「余暇時間消費プール」「滞在型プール」を目指しています。

「エントランスホール」「休憩室（和室）」のレイアウト改善を実行し、快適空間を作り出します。

■キッズスペースの充実・授乳室の設置

子どもの水泳教室終了を待っている方がおられます。下のお子様等が遊べる空間や安心してお世話ができる空間を設置します。

様式 13

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

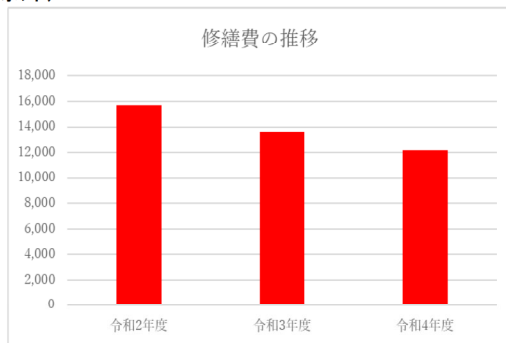
(3) 修繕等への取組

- ①施設の安全確保及び長寿命化の観点から、適切かつ積極的な修繕計画に取り組みます。
- ②横浜市建築局が実施する劣化調査や二次点検等を考慮し、優先的に行うべき修繕等を計画します。
- ③予防保全や道連れ工事等に取り組み、修繕費の効果的な活用を行います。
- ④修繕費の効果的な活用は、予防的に使うことで「大規模修繕」までの期間を延ばすことが可能となります。

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
修繕費用	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000

■修繕の実態

- 令和 1 年度に大規模な修繕を実施したこと、また、予防的な維持管理の推進で減少傾向にあります。（令和 1 年度は市の計画に沿った修繕が多くあり、3,400 万円弱の費用、分析対象から除外）

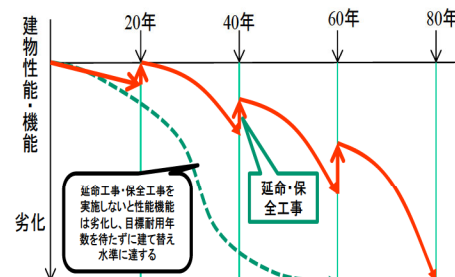
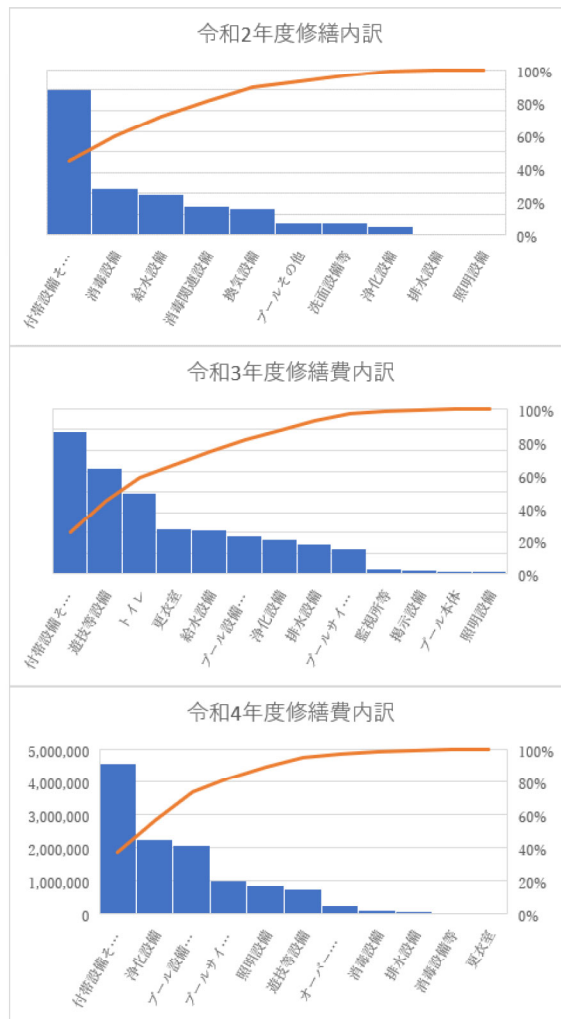


- それぞれの年度の修繕内訳（右図参照）を見ると「プール付帯設備」や「プール本体関連施設」等様々な分野で修繕が多くなっています。
- 特に「プール付帯設備」は毎年全体費用の 30～40%を占め、耐用年数（10～14 年程度）の短い付帯設備も今後の修繕の対象となっていくと思われます。
- 「プール付帯設備とは、自動ドア、非常用放送設備、エアコン」等を言います。「修繕費区分 79 頁参考」

■劣化調査や二次点検等を考慮し、優先的に行うべき修繕等を計画

横浜市は建物の長寿命化政策の一端として市施設 170 ヲ以上の建築基準法第 12 条点検並びに劣化調査を行い、A・B・C 判定による修繕の実施時期等をまとめ、報告書が提出されています。（構成企業 D 社が受託しています。）

この判定結果を修繕前の「不具合」等と照合し修繕実施や今後の不具合を見込んだ「道連れ工事（他の修繕工事と一緒に実施することで材料費、段取り工事等の費用軽減）」を実施します。



様式 13

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

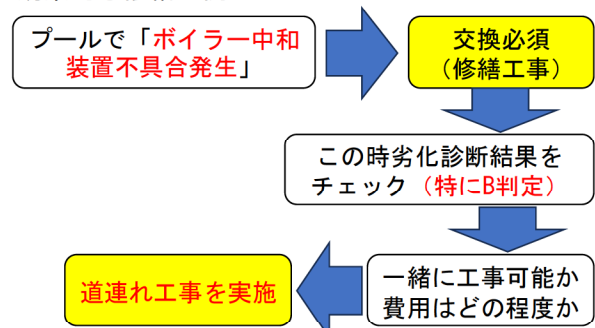
施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■建築基準法第 12 条点検並びに劣

化調査の A・B・C 判定

判定	内容	対応
A	すぐに処置又は修繕が必要	修繕工事計画を立案し工事実施
B	経過観察し対応決定	中長期修繕計画に盛り込みが適切
C	このまま使用可能	

■効果的な修繕 例



■緊急を要する修繕 港南プール（見積取得中）

項目	内容
プール受水槽更新 蓬萊荘共用項目 応急処置が出来ない場合プールは営業出来支障あり	現在地下 RC 構造で天井部の上側に雑排水の側溝が有り、衛生上好ましくない 地上設置の FRP 構造に新設して欲しい
プール施設用給湯配管 応急処置が出来ない場合プールは営業に支障あり	設置時のままで老朽化が激しくビンボールが数か所あり特殊テープで処理している状態 給湯タンクからプール端末まで全て更新して欲しい 蓬萊荘は 2020 年に給湯タンクから端末迄全て更新した
プール用蒸気配管	トレンチピット内高温室内の配管が老朽化している その他の部位は耐震工事時に更新している

【参考：修繕費の施設分野区分】

	設備名		設備名
プ ル 設 備	(1) プール本体	付 帯 設 備	(1) 更衣室
	(2) プールサイド及び通路		(2) シャワー設備
	(3) 給水設備		(3) トイレ
	(4) 排水設備		(4) うがい設備、洗面設備、その他
	(5) 消毒設備		(5) 照明設備
	(6) 浄化設備		(6) 換気設備
	(7) オーバーフロー水再利用設備		(7) 消毒剤等保管管理設備
	(8) その他		(8) 監視所等
		(9) 採暖室及び採暖槽	
		(10) 遊技等設備	
		(11) 観覧席	
		(12) 掲示設備	
		(13) その他	

【参考情報：令和 2 年度 修繕明細 単位：円】

浄化設備	小計	429,000
グレーチング交換	プールその他	40,700
ボイラー水漏れ修繕	プールその他	154,000
プールリフトバッテリー交換	プールその他	40,920
ボイラー中和装置ポンプ交換	プールその他	242,000
蒸気バルブパッキン取替	プールその他	32,340
蒸気ヘッダートラップ交換	プールその他	108,240
プールその他	小計	618,200
シャワー水栓取付け	洗面設備等	594,000
洗面設備等	小計	594,000
プール天井照明器具脱着	照明設備	31,900
照明設備	小計	31,900
レストランレンジフード交換	換気設備	171,600
排煙寫修理	換気設備	858,000
防火シャッターワイヤー交換	換気設備	275,000
換気設備	小計	1,304,600
採暖室ベンチ修繕	消毒関連設備	257,000
高温室自動制御装置交換	消毒関連設備	1,155,000
消毒関連設備	小計	1,412,000
入り口ドア鍵交換	付帯その他	41,800
サウナ入り口温度計設置	付帯その他	374,000
冷凍機バッテリー交換	付帯その他	102,300
ケーブル引替え工事	付帯その他	165,000
冷凍機部品清掃交換	付帯その他	365,750
浴槽機械室塩素タンク交換	付帯その他	121,000
外階段門扉修繕	付帯その他	999,000
駐車場門扉修繕	付帯その他	107,800
留守番電話設置	付帯その他	74,800
金庫暗証番号調査	付帯その他	13,200
入金機移設工事	付帯その他	66,000
機械警備センサー取外し工事	付帯その他	54,450
機械警備取外し工事	付帯その他	55,000
防火シャッター動作確認	付帯その他	33,000
非常用発電機光電器サーモスタット交換	付帯その他	323,180
非常用発電機バッテリー交換	付帯その他	252,560
エアコン設置工事	付帯その他	327,800
冷却槽ボールタップ交換	付帯その他	14,300
消火器設置	付帯その他	8,690
煙感知器交換	付帯その他	28,600
消防設備不具合修繕	付帯その他	759,000
ダンパーモーター交換	付帯その他	143,000
インターホン設置	付帯その他	836,000
エントランス漏水工事	付帯その他	1,738,000
付帯設備その他	小計	7,004,230
	総計	15,687,000

7 安全管理

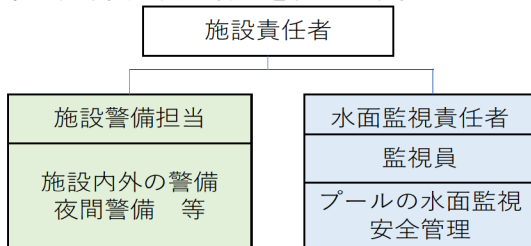
(1) 平常時の体制

■お客様が安全安心に利用できるのは、当団体が提供するサービスの中で最も重要なことです。スポーツを「する」「みる」「ささえる」に、「**まもる**」を重視し、重大事故が起こりやすい水の事故から利用者を守ります。

- ①全職員で日常の巡回点検、危険予知を行い、施設全体の事故等未然防止に注力します。
- ②プール安全委員会を設置し見直し、安全管理強化を継続的に行います。
- ③事故・災害等の危機管理は事故等事前想定と初期対応の手順化、訓練が重要です。
- ④水面監視は市の定める基準を遵守すると共に(一社)日本プール管理業協会認定プール監視救助員もしくは(一社)プールガードジャパンの有資格者を配置します。
- ⑤事故等発生時は手順等に従い、救助、二次事故の拡大防止等を着実にを行います。

■保安警備体制

施設の保安警備とプールの安全管理の担当者を任命し、確実な安全管理を行います。



■事故防止等安全管理に関する方針

- ・事故を起こさないためのあらゆる活動、対策を実施する
- ・安全管理者を配置し巡回点検指導等を徹底
- ・事故等の予兆となる軽微な事象も配慮した管理を行う

■水面監視の強化

プール監視員は自社採用です。警備員に必要な「新任研修」を受けることや施設での実地研修を行いレベルの高い監視を行います。

■安全管理責任者の任命

水面監視責任者を安全管理責任者し任命し、ミーティング等で安全に関する事項の確認、伝達を行います。

■職員の対応スキルアップ

定期的な救命訓練・講習会の実施、AEDの内容を含めた「BLS 講習」全員講習会に参加



■施設警備

開館中は巡回による保安点検、夜間は機械警備を行います。

■事故等の事前想定と準備

利用者の安全を確保するためには、事前のリスク把握や事故想定と事前対応検討が重要です。施設の特性想定事項を配慮した「危機管理マニュアル」を作成します。

想定事項	内容
利用者の事故	プール利用者が溺れる。
利用者のけが	利用者が施設の不具合、又はその他の理由でけがをする。
職員のけが	施設の職員が業務中に、施設の不具合、又はその他の理由でけがをする。また、施設等の破損が発生する
盗 難	ロッカー荒らし、収入金、常備釣り銭、備品等
施設の毀損	窓ガラス、ドア、壁、フェンス、場内の設備が既存する、破壊される
火災等	施設内火災が発生する
その他	館内での暴力行為、痴漢、その他緊急を要する事項

■日常の安全管理

- ・毎日、当日の緊急対応責任者は腕章を付けることや役割分担（緊急対応確認票）を確認する（ローテーション勤務のため、日々職員の組合せが異なる）
- ・緊急対応確認票⇒処置方法や当日の役割分担を記載したもの
- ・開館の前に各担当者がチェックシートを用いて施設内の見回りを実施します。
- ・避難誘導灯や消火設備などの状態確認や防災備品、AEDの点検等実施します。
- ・危険箇所があった場合には、表示等の対応を早急に行い、利用者の安全を確保します。

様式 14

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■ヒヤリハット

- ・施設職員、利用者から「ヒヤリハット」を収集し、事前対策、注意喚起を行います。
- ・事例集の作成と配布や定期的なポスター掲示に重大事故の未然防止を図ります。



■定期的な救命訓練・講習会の実施

- ・職員はAEDの内容を含めた「BLS講習」全員講習会に参加します。新規採用者も受講します。



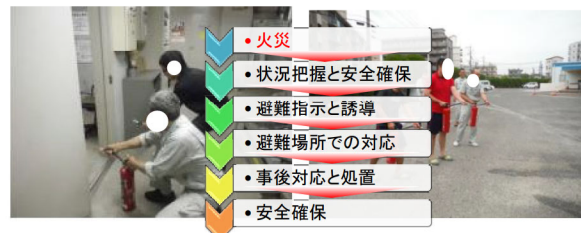
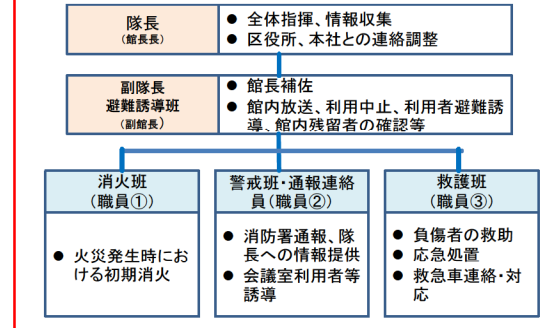
■防災関係機器の保守点検の実施

- ・消防法により定められた消防設備機器点検については、年に2回実施します。
- ・点検結果は、消防用設備等点検結果報告書にまとめ、所轄消防署に提出します。

■利用参加による実践的な防災訓練

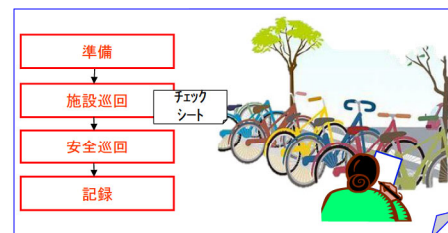
- ①基本マニュアルや消防計画に基づいた各種訓練を行い、防災対応能力を高めます。
- ②利用者にも防災意識を高めてもらえるように、避難誘導訓練では参加を募集するなど、より実践的な防災訓練を行います。
- ③他施設、関係者と協力し毎年6月、12月に地域防災訓練を実施します。

自衛消防隊 組織図



■施設の安全巡回

受付職員、設備管理職が交代で定期的に巡回し安全の確認を行います。



■声かけの実施

子どもたちも多く利用します。受付、監視員等全員で、子どもたちに「おはよう」「さようなら」「どうしたの？」等多くの声かけを実施します。事故や非行等の防止につながります。

様式 14

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

防犯マニュアル 部分抜粋

(1) 利用者の安全確保のために、そのままの場所にとどめるほうが良いのか、別の場所に避難すべきか、判断し、即応する。

(2) 早期に警察に連絡する。

不審者の身柄の拘束は警察に委ねる。少しでも危険が想定される場合は、一刻も早く警察（消防）に連絡すること。

結果的に、通報するまでもないような案件であったという場合もあるが、それを心配して通報が遅れるということがないようにする（空振りであってもかまわない）。

■チェックと対応

チェック 1 不審者かどうか

不審者かどうかのポイントは、「行動の内容」、「声かけ」した際の対応で判断する。なお、声をかける前に不審を感じるような場合は、一人に対応せず、複数の職員で対応すること。さらに、危険を感じるような場合にあっては、警察への通報を行う。

★対応 退去を求める

(1) 不審者侵入時の役割分担に従い、他の職員に連絡し、協力を求める。その際、不審者に知られないようなサインや暗号を決めておく。場合によっては、緊急時連絡システムを使用し、関係者に知らせる。（日頃から、いくつかの状況を想定した訓練を実施しておく。）

(2) 言葉や相手の態度に注意しながら、丁寧に退去するよう説得する。その際、相手に近寄りすぎない。（最低 1m から 1.5m は離れること。）

(3) 次のような場合は、不審者として、警察へ通報する。
・案内や呼びかけ等を無視し、無理に立ち入ろうとする。
・退去の説得に応じようとしない。
・暴力的な言動をする。

(4) 一旦退去しても、再び侵入する可能性もあるので、敷地外に退去したことを見届ける。

(5) 再度侵入したり、周辺に居続けたりする可能性があるため、しばらくの間は、その場に残って様子を見る。

(6) 警察に報告し、施設付近のパトロールの強化や近隣の施設等への情報提供をする。

（省略）

■プールにおける安全管理

プールは、利用者が安全かつ快適に利用できる施設でなければならないため、事故が起こらない安全管理体制を整えなければなりません。安全管理については神奈川県海水浴場等に関する条例、同条例施行規則、「プールの安全標準指針」（文部科学省・国土交通省）及び「横浜市プール事故防止標準マニュアル」を遵守し、管理体制を整え運営します。

■プール管理マニュアルに基づいた管理運営

構成団体 B は、ライフガードのコンサルティングを行っている企業であり、特にプールの安全管理については確かなノウハウを持っています。各プールの危険箇所を考慮し、「プール管理マニュアル」を策定し、安全管理を致します。

■有資格者の配置

当団体では、日本赤十字社水上安全法指導員が職員にいたため、毎年、保土ヶ谷プールで講習会を開催しております。（令和 4 年と 5 年に実績あり）

専門的な資格講習会を職員に向け開催することによって、より強固な安全管理体制を築けます。また（一社）日本プール管理業協会や（一社）プールガードジャパンのより専門的なスキル・ノウハウも資格取得します。

■救助資機材の配備

プールでの溺水事故は、呼吸原生のため人工呼吸が必須であります。しかしコロナウイルス感染症予防により、一次救命処置における人工呼吸は感染防止ができなければ行わなくてよいことになっています。

当団体では、Bag Valve Mask を配備し安全に対応できる体制が整っています。そのほかバックボードなど必要な資機材は配備します。

■監視員の教育研修・トレーニング

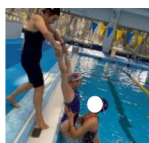
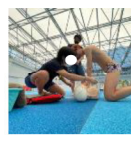
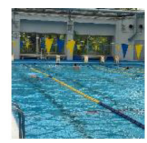
水の危険性を理解し、なぜ監視員の必要性なのかを教育します。各監視ポジションにおいて危険因子は変わってきます。危険予知や監視方法等は専属のトレーナーによる OJT で指導します。監視員は事故が起きた際にすぐに行動に移せるよう、トレーニングを行います。また 3 カ月おきにバジテスト（下表参照）を行い、監視員のスキルを保ちます。

バジテスト内容

- ・ 1 人心肺蘇生法・2 人心肺蘇生法
- ・ 応急手当・500m 泳・救助の一連
- ・ シミュレーション

（緊急事態の発生を想定した実地訓練）

トレーニング内容

溺者発見→引き上げ	プールサイドでの CPR	フィジカルトレーニング
		

様式 14

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■プール監視体制

・プールで起こる事故は重大な事故につながる可能性が高く、我々は多くの事故を検証した実績から、常に利用者の行動による事故予見を監視の第一に、さらに死角や事故が起きやすい場所を分析し、リスクマネジメントをいたします。

・監視員は、プールの利用状況に合わせて配置いたし、どのような状況でも安全管理ができる体制を築きます。監視は「警戒して見張る」ことです。常に集中して監視ができるようにするため、30分のローテーションを行います。交代時には指差し確認によるダブルチェックおよび引継ぎをし、一時も空白時間をつくらず安全管理を徹底します。

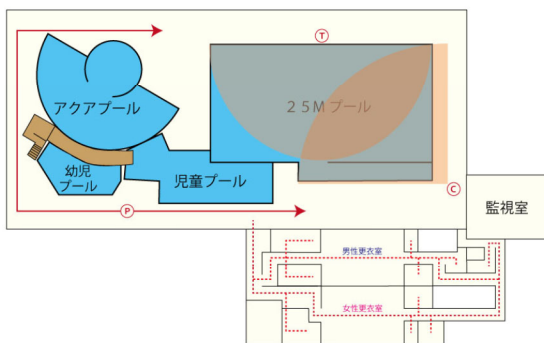
・当団体では、監視ルールに「10/20 プロテクションルール」を採用し、各ポジションの監視範囲を10秒毎にスキャン、何か起きても20秒以内に到達できるシステムで監視を行います。

※監視体制ローテーション例

・司令(コントロール・監視室内)⇒②監視台(タワー)⇒③巡視(パトロール)／④待機(レスト)

■金沢プール監視ポイント

- ・児童プールと25Mプールとの境やスロープでの児童の溺れの可能性あり。
- ・スライダー等で死角が多い。

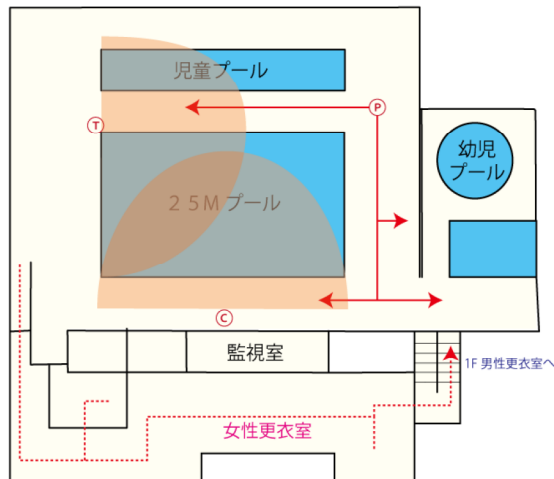


【金沢プール監視員配置図】

■港南プール監視ポイント

- ・幼児プールが壁で隔たれているので、常に注意が必要である。→重点的にパトロールをする。
- ・児童プールから25Mプールへ容易に移動できるため、身長が低いお子様には注意が必要である。
→タワー監視を25Mと児童プールの間に配置することで危険なお子様を認知しやすくなる。
- ・採光窓が少ないため、プール自体が全体的に薄暗く監視しづらい。

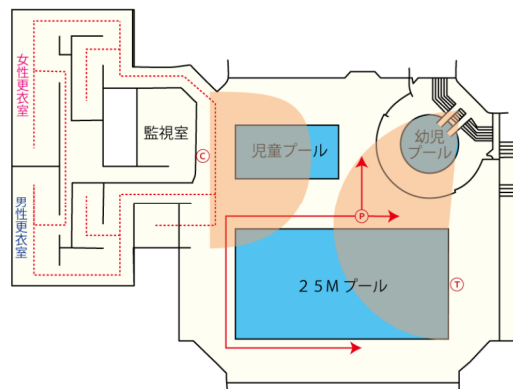
→死角をなくすよう常にパトロールが動く。



【港南プール監視員配置図】

■保土ケ谷プール監視ポイント

- ・幼児プールが壁で隔たれているため、死角がある。→常に注意深くパトロールをする。
- ・児童プールから25Mプールへの移動しやすい→身長が低いお子様に注意が必要である。



【保土ケ谷プール監視員配置図】

様式 14

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■水泳教室の安全管理

水泳教室では、適切な人数設定、能力や経験に合わせたプログラムや指導を行うことで安全管理をおこないます。水泳教室を担当する構成団体Bは、ライフガード専門会社としてそのノウハウを水泳教室にも取り入れています。

成人水泳教室では、受講者とコミュニケーションを常にとり、その日の体調などを聞き出し無理のない運動を行います。急性疾患のように予兆がない場合がありますので、インストラクターは監視をしながら水泳指導いたします。

子ども水泳教室では、幼児・小学生の危険行動を指導者全員で認識し、飛び込み事故や溺れが発生しないよう常に注意・監視を強化しながら指導します。

潜水行為
飛び込み
ビート板に座る・叩く

【子どもの水泳教室時の危険な行動】

■熱中症対策

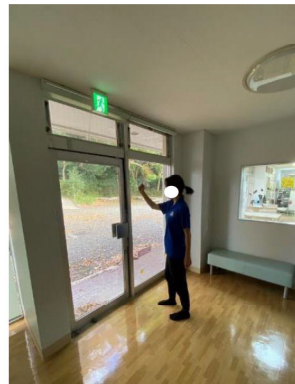
プール内では、温度湿度も高いため熱中症は起こりやすいです。飲み物を各自持参していただき水分補給を行いながら教室を行います。掲示や管内放送を活用し注意喚起を行います。特に熱中症アラート等が発令された場合は「1時間毎」に放送を行います。プール後の帰路での注意喚起も行います。

■イベント開催時の安全管理

イベント毎に安全対策を決定し、職員に徹底します。記録会等では保険に加入します。

■「安全の日」の制定

毎月15日には、安全の日と定め、プール内だけでなく起こり得る危険性について職員全員で研修をします。



【避難経路と非常口の確認】



【コンセントの確認】



【危険箇所の確認】

様式 14

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

(2) 緊急時の体制

■緊急事態毎の対応体制・手順を設定し、訓練等に基づいた行動を行います。

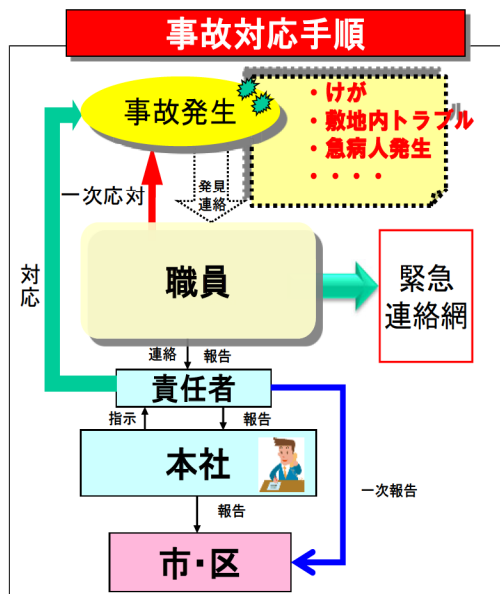
- ①施設の異常や事故を発見、察知したときの緊急対応の内容及び連絡体制を整備します。
- ②安全管理に携わる全ての従事者に緊急対応の内容及び連絡体制を周知徹底します。
- ③施設の異常が発見された場合は、危険箇所に遊泳者を近づけないよう直ちに措置します。
- ④事件・事故、火災等発生時は人命優先、二次被害防止等速やかに行動します。
損害賠償保険に加入します。
(身体事故 1 名につき 1 億円 1 事故につき 10 億円 財物事故 1 事故につき 2000 万円)

■緊急時の体制

総括責任者	現場急行し全体指揮を行う
水面責任者	応急措置等初期活動を実施
水面監視員	避難誘導等初期活動を実施
受付	緊急連絡網等による連絡

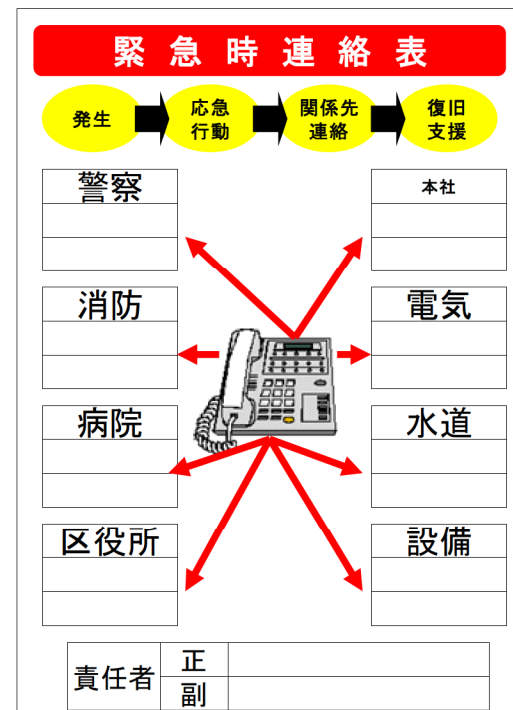
■事故時の活動

- ・事故が発生したときは 1 人でも多くの人に協力を求め、初期活動にあたる。
- ・救出・救護活動を行い、救急車の手配を行う
- ・安全が確保できる区域などに利用者を誘導する。特に高齢者や体の不自由な人の安全確保と優先的な避難を行う。
- ・市や警察など関係機関に緊急連絡を行う
- ・人的災害への対応
- ・災害の発生にともなった人的災害(怪我、やけど等)には速やかに応急処置を行います。



■緊急連絡網

- ・近隣の医療機関等を含めた「緊急連絡網」を整備し周知します。
- ・委託先や休日等の連絡先等も含めた、連絡網を構築します。連絡網活用に関しても可能な範囲で訓練を実施します。



■バックアップ体制

事業統括責任者	現場急行し施設業務の支援 各企業のバックアップ職員 への支援要請
各企業のバックアップ職員	事業統括総括責任者の指示 に基づき「現場急行」 作業実施

様式 14

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

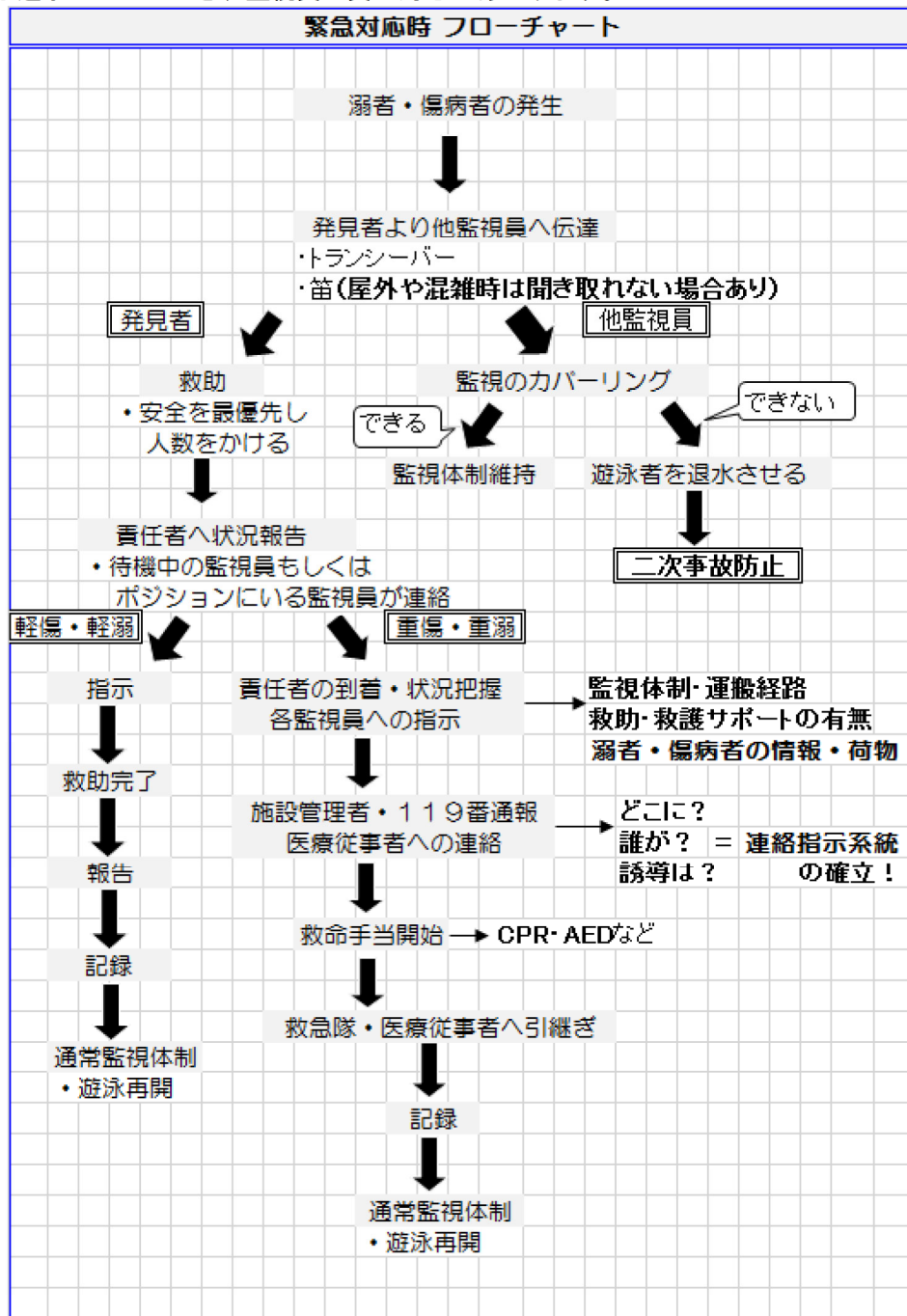
施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■プール事故発生時の救助について

人身事故が起きた場合は、傷病者の救助・救護を迅速に行うとともに、速やかに 消防等の関係機関及び関係者に連絡します。

■Emergency Action Plan(緊急時対応計画) の発動

プール内で緊急度の高い事故が発生した場合には、二次事故の危険性回避のため、プール利用者はプールから退水していただき、監視員全員で対応にあたります。



様式 14

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■大規模災害（震度 5 強地震）時の対応・・・大規模災害時の行動計画

◆事業継続計画（BCP）

事業継続計画を導入しており、「リスクの特定」「発生時の対応」「復旧業務の優先順位」「復旧目標」等を検討します。＊BCP：Business Continuity Plan

ステップ 1：プール施設の横浜市における BCP 位置づけの確認（現在避難所には指定されていない）

ステップ 2：プールにおける BCP 行動計画の作成

ステップ 3：職員への教育や訓練の実施

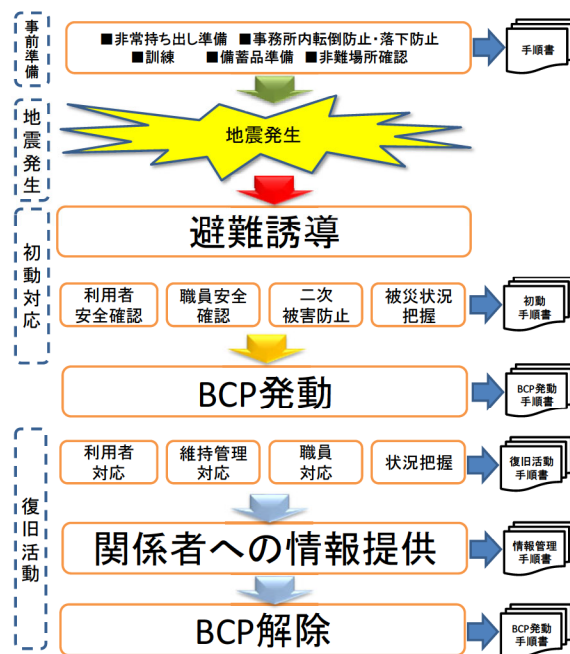
ステップ 4：BCP 行動計画の見直し

■大規模地震等災害時の対応

災害	対応概要
勤務中の発生	BCP マニュアルや指示等に基づいた対応
夜間等に発生	館長又は代理人等は現場急行（家族の安否確認終了後）
復旧支援	業務がどの程度の人数・日数（復旧）でできるか「業務継続計画」の作成



【災害時対応業務の流れ】



■避難誘導

作業	作業内容	担当者	参考資料
避難通路の確保（転倒並びに散乱物の除去）	避難誘導担当者は分担し、避難通路の安全確認、散乱物の除去を行う	自衛消防隊組織図	避難通路図
非常放送設備による避難誘導を実施	状況を把握し、避難に必要性及び実施する場合の方法を案内	自衛消防隊組織図	放送文書事例
敷地内もしくは公的な避難場所への避難誘導を実施	施設内及び広域避難場所の判断の実施 避難誘導担当者は分担し、利用者の避難を誘導する	自衛消防隊組織図	敷地内の避難場所 広域避難場所への誘導（ルート、距離、時間） 掲示と配布
重要書類の保護（人的避難終了後）	担当者は重要書類が損傷する可能性がある場合、安全な場所又は事業所外に持ち出す	自衛消防隊組織図	
電子データの保護（人的避難終了後）	担当者は重要データが損傷する可能性がある場合、安全な場所又は事業所外に持ち出す	自衛消防隊組織図	

様式 14

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■安全確認と対応

作業	具体的な作業内容	担当者	参考資料
エレベータの 閉じ込め有無確認	担当者は手順に基づきエレベータの閉じ込め有無確認 閉じ込めがあった場合、館長に連絡する。エレベータの閉じ込め事案に対する救助活動の実施	自衛消防隊 組織図	メーカー提供 マニュアル
施設巡回及び避難先 での利用者の 安否確認の実施	チェックシートを用いて、避難先で利用者、職員の安否確認を実施する 結果を館長に報告する 帰宅困難者や外部避難者対応 ビルの帰宅困難者、周辺の帰宅困難者、被災者があることを想定	自衛消防隊 組織図	チェックシート
傷病者の救護、 援助、搬送	傷病者の救護、援助、搬送 一時搬送場所の確保	自衛消防隊 組織図	傷病者対応手順
緊急連絡先 (警察、消防、医療 機関などへの連絡 (受け入れ等確認))	緊急連絡先（警察、消防、医療機関などへの連絡（受け入れ等の確認） 大規模災害時...医療機関には「受入可否」確認が最初・・・救急車はあてにできない	自衛消防隊 組織図	緊急連絡網 最寄りの医療 （災害時対応病院）を予め把握し、搬送方法を検討
建物・設備点検 チェックシート による安全確認	建物・設備点検チェックシートによる安全確認 建物・設備点検を館長に報告する	自衛消防隊 組織図	建物・設備点検 チェックシート
電気、水道、ガスが 寸断された場合は 一次側遮断による 安全確認	担当者は手順に基づいて電気、水道、ガスが寸断された場合は一次側を遮断 突然の復旧によって、機器の故障、火災の発生事例あり	自衛消防隊 組織図	建物・設備点検 チェックシート
安全確認の状況や結果について被災速報 を利用者に情報提供 （第一報）を行う	情報整理シート 市・利用者・関係者への情報提供 可能なかぎり速やかに情報提供実施 無対応は混乱状態との誤解を生む 復旧に大きな影響あり	自衛消防隊 組織図	情報提供は「様式や文例準備」
建物・設備の 使用可否（応急） 判定の実施	担当者は建物・設備点検チェックシートと応急使用判定基準に従って判定する 判定結果を掲示する なにを基準に「安全」と判断するか、ゼネコン等から判断基準の入手	自衛消防隊 組織図	応急判定基準 判定様式

様式 14

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

■安否確認

作業	具体的な作業内容	担当者	参考資料
安否確認（緊急連絡）システムを用いて安否確認を実施	手順を確認し、必要な職員の安否確認を行う	自衛消防隊組織図	伝言ダイヤル
安否確認（緊急連絡）システムを用いて緊急時対応要員の招集を実施	手順を確認し、必要な職員の出社要請する	自衛消防隊組織図	伝言ダイヤル

■応急対応

作業	作業内容	担当者	参考資料
立ち入り禁止措置の実施	危険個所に対する立ち入り禁止措置の実施（虎ロープ、カラーコーン、トラバーを使用）	自衛消防隊組織図	緊急用資材置き場
初期消火活動の実施	消化担当は初期消火活動の実施（火災発生の場合）	自衛消防隊組織図	消防手順
防災用資材（防潮扉、土嚢等）の設置	防災用資材（防潮扉、土嚢等）の設置	自衛消防隊組織図	
電力供給	設備担当者は非常用発電機による電力供給 供給結果を点検する ビルの非常用発電機 非常用発電機は非常用設備への給電 停電による開錠できなくなる扉、 使用できなくなる情報機器への 電源供給の検討	自衛消防隊組織図	設備マニュアル
関係者への情報提供	関係者（市、本社）への情報提供を行う 被害状況、復旧の見込み等を協議 設備メーカーへの連絡	自衛消防隊組織図	情報収集シート 緊急連絡網
専門業者（保守先、ゼネコン等）への保守依頼を実施	専門業者（保守先、ゼネコン等）への保守依頼を実施 被災時の保守要員確保は迅速に行う	自衛消防隊組織図	緊急時 連絡先リスト

8 地域との協力

(1) 地域支援・地域連携

■地域におけるスポーツ振興事業の取組に積極的に参加・支援します。

- ①地域コミュニティ、地域施設の支援や教育機関や関連団体と連携を実施します。
- ②施設を拠点としたネットワークを構築し、地域イベント開催を積極的に行います。
- ③教育機関、関連団体のコミュニケーションを強化し施設を利用していただきます。
- ④地域や教育機関、関係団体のニーズをお聞きし管理・運営に反映します。

項目	内容
職員による訪問	本部職員、施設責任者を中心に地域や教育機関、関係団体を訪問し、施設紹介や利用ニーズをお聞きし、運営に反映します
利用者懇談会の設置	地域や教育機関、関係団体等に参加をお願いしニーズや利用促進について意見を伺います
地域イベントの協力	施設の周辺の地域イベントへの参加します
学校部活動、水泳サークルや中間づくり支援	学校水泳部へのプール貸し出し継続や水泳サークル活動支援を行います
公民館等地域の公共施設との連携	地区センター、体育館と連携します。健康運動等プールが事務局を引き受けます



■「健康増進施設」「指定運動療法施設」認定への挑戦

- ・「健康増進施設認定規程」をクリアし、認定に挑戦し、地域に貢献します。
- ・厚生労働省は、国民の健康づくりを推進する上で適切な内容の施設を認定しその普及を図るため「健康増進施設認定規程」を策定し、運動型健康増進施設について、大臣認定を受けます。
- ・健康増進のための有酸素運動を安全かつ適切に行うことのできる施設を言います。(主な設備 トレーニングジム、運動フロア、プールの全部又は一部が必要)

■地域におけるスポーツ振興事業の取組

- ・区主催のスポーツ大会に水泳競技を取り入れの検討やさわやかスポーツ大会へ参加協力します。

■スポーツに親しめる機会の提供

- ・地域ケアプラザとの事業協力
- ・体育館、地区センター等と連携した教室開催

■ネットワークを構築し、地域連携

項目	内容 例	狙い
市内授産施設の支援	制作品の販売 プール利用支援	授産施設の経営支援になる 社会貢献
福祉施設等他施設と連携	水泳の教室開催 や団体利用の相談	直接情報提供し 利用の関心を高める
地域民間企業と連携	社員向け教室開催 メタボ社員の運動施設	スポーツを活用した社員の健康づくり支援
近隣施設との連携イベント	保土ヶ谷プールでは近隣施設とともに「ふれあい祭り」に参加しています	地域との 協調・連携

様式 15

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

■横浜市スポーツ推進委員との連携

スポーツ推進委員は、本市スポーツ行政の推進者として重要な役割を担っており、スポーツ・レクリエーション活動に親しむことを目指し、その普及・発展を図っています。

プールを活用して、同活動にどのような貢献が可能な相談します。

例

地域スポーツ大会に水泳部門を追加

プール障がい者利用の日 協力をお願い

■利用者懇談会の設置

2回/年、地域や教育機関、関係団体等に参加をお願いしニーズや利用促進について意見を伺います。

■地域ニーズの把握・職員による訪問

- ・館長を中心に地域や教育機関、関係団体を訪問します（すでに多くの実績があります）。
- ・施設紹介や利用ニーズをお聞き、運営に反映します。

■地域の学校との連携（機能保管）

学校にてプール授業の維持が難しくなっていると理解しています。各プールでの授業受け入れや水泳部への貸し出しを積極的に行います。

例

近隣中高校の水泳部と相談し、「早朝練習 7:30～8:30、夜間 17:00～19:00 利用いただいております。



【保土ヶ谷プール 中学水泳部利用支援】

■近隣商店街や農産者との連携



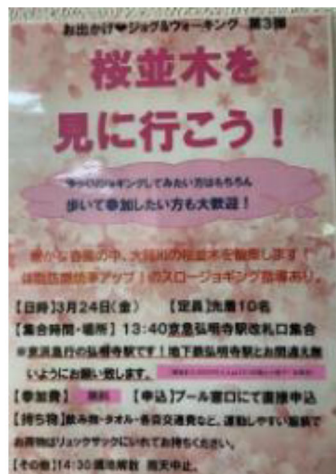
【農産者に協力いただいて開催したマルシェ】

■地域への積極的な情報提供

- ・区役所訪問しプール案内等の専用ラック設置
- ・自治会長様を訪問し、地域掲示板にポスター
- ・他自治会の紹介をいただき、広報強化

■地域に貢献するイベント開催

利用者や地域に参加を呼び健康イベントの開催を行います



【水から陸へ ウォーキングイベント開催】

様式 15

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

(2) 地域貢献

■地域貢献は

- ①地域住民、施設、団体とのコミュニケーションから始めます。
- ②細かな地域貢献施策の積み上げが「地域に信頼される施設」になると考えています。
- ③「地域の皆さんに親しみのある愛されるプール」になります。

項目	内容
「指定運動療法施設」認定	スポーツドクターとの連携もあり、地域住民の健康増進、施設利用費は医療費控除の対象となる
地域の人材を採用します	施設従事者に「地域住民」を雇用します 水面監視員、保守担当、教室指導員に地域住民を採用します
地域の授産施設製品の販売や資材調達	地域ある授産施設の方が作成されたもの 販売や購買を行います
地域の情報発信への協力	施設内掲示版に地域情報の掲示等を行います
こども貧困問題取組	子ども向け水泳教室等に「無料参加」を可能にします。 市・区の福祉担当者と相談します。
地域のボランティア活動に参加	区や市等が公募するボランティア活動に 施設従事者が参加します
地域の総合スポーツクラブ支援	地域の総合スポーツクラブの活動を支援します。 例 クラブ員が水泳レーンの貸切使用
地域イベントへの参加・協賛	盆踊り、秋祭り等に協賛します。地域の団体と協力したフリマの開催 等 例 抽選用賞品として「回数券」
学校水泳授業支援	水泳授業が難しくなっています。 学校訪問等で可能性を追求します。
部活動地域移行支援	水泳部の活動拠点や指導支援を行います
地域の幼稚園、小学校の先生にライフガード指導（プール安全指導）	「水の事故」を防ぐために、地域の幼稚園、小学校の先生に ライフガード指導（プール安全指導）を行います
運動・スポーツ指導員の派遣	要請があれば地域の団体、企業等に運動・ スポーツ指導員の派遣します
地域の人に参加できる AED 研修	施設内では定期的に AED 研修を行っています。 地域住民の参加も可能にします
施設周辺の掃除等による環境美化	施設周辺の清掃を行います
地域 JA と協力した朝市開催	地域 JA と協力して農産物の販売会を施設で開催します
商店街イベントの協賛	施設周辺の商店街イベント (例 年末大売り出し) に協賛します。
中学校の就業体験の実施の継続	受付や水面監視等を小・中学生の 就業体験場として提供します
こども 110 番	「こども 110 番」の看板を掲げ、 トラブルを抱えた子どもたちを支援します
TV 撮影協力	金沢プール、保土ケ谷プールはこの 4 年間で 5 回ほど TV 番組撮影の相談があり、全て受け入れました。(TV 番組撮影に使われた場所として知名度が上がり、地域貢献) 保土ケ谷プールでは 17:00 以降の閉館時間が有効に使われています

※項目の中には、利便性向上等に記載したものもあります（重複掲載）

様式 15

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■周辺の環境美化

自治会、授産施設等自ら地域へ出かけました。イベントでは多くの方の賛同を得て協力いただき、このコミュニケーションを多く行ったことが利用者増、高い顧客満足を生んだと考えています。



【イベント・清掃ボランティア】

■ハマロード・サポーターへの参加

横浜市で実施している、地域の身近な道路を対象に、地域のボランティア団体と行政が協働して、身近な道路の美化や清掃等を行っているという制度です。

■「プール誕生祭」にて地域協力

毎年プール開設月に「プール誕生祭」を行います。金沢プールは近隣食品関連工場との連携により物品販売、保土ケ谷プールは11月に「農と緑のふれあい祭り」に協力します。

■地域イベントへの協賛

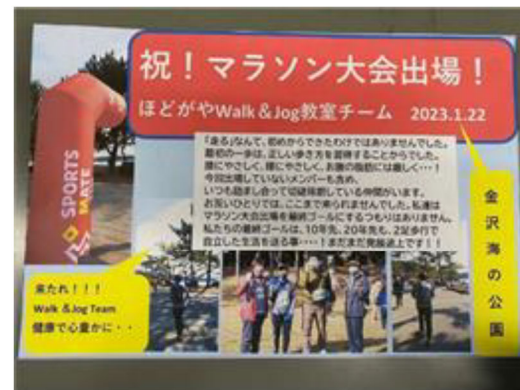
地域の活動（ボランティア、礼祭、市や区主催活動、訓練等）に積極的に参加します。地域との交流の中でコミュニケーションが生まれ、ニーズを理解、利用促進につなげます

■教室参加者の方々と大会にも参加

教室参加者の方々と大会にも参加し、コミュニティの輪を広げていきます。



【教室参加者とウォーキング大会参加】



【教室参加者とマラソン大会参加】



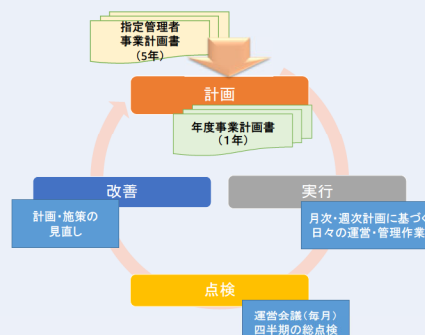
【オープンウォータースイム大会参加】

9 モニタリング

(1)自己評価・第三者評価

■自己評価の実施方針

- ①PDCAマネジメントサイクルを基準とした継続的な改善体制を構築します。
- ②定期的な利用者満足度調査（外部モニタリング）と自己評価（セルフモニタリング）利用者や外部専門家による第三者評価を受けます。
- ③利用者満足度調査では、満足度合い、指摘事項等により、利用者ニーズの高いスポーツ教室の開催や施設運営へ繋がります。
- ④自己評価では、総括責任者（館長）による四半期毎の「自主モニタリング」及び「統括管理本部」評価により、階層的なモニタリングを行います。
- ⑤自主モニタリング、内部監査では、法令、仕様書等の順守評価、事業計画書の進捗度合い等エビデンスに基づき点検し報告書と必要な場合「是正指示」が出されます。

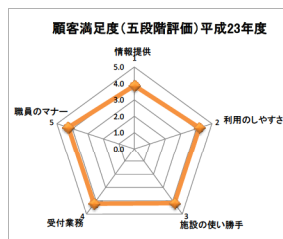


■階層的なモニタリング

	内容・頻度
自主モニタリング	顧客満足度調査 2回/年 利用者アンケート 200サンプル程度
	教室やイベント毎のアンケート調査 教室やイベント毎参加者へのアンケート調査（すべての教室とイベント）
	総括責任者による施設毎のモニタリング 施設毎の年度事業計画書に基づき、四半期毎に実施
	内部監査 各企業本社職員による担当業務の監査（特に法令順守）1回/年
	事業統括本部による自己評価 年度事業計画書に基づき、半期毎に実施
市によるモニタリング	市の担当者によるヒアリング
第三者モニタリング	市指定の担当者によるヒアリング 1回/指定管理期間（5年）

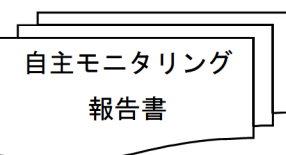
■利用者満足度調査

- ・利用者アンケート
- ・イベント、教室毎の満足度調査



■総括責任者自身による四半期自主モニタリング

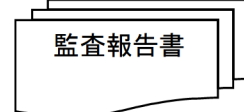
・施設毎の運営責任者が「事業計画」「法令台帳」「仕様書」「各報告書」により、自主点検を実施します。未実施事項は改善を行います
・結果は「自主モニタリング報告書」を作成し、「運営会議にて報告します」。



■内部監査

特に法令遵守に重点をおいた各企業本社職員による業務の監査（1回/年）を実施します。

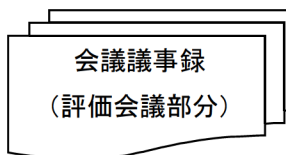
指摘事項に関しては「是正勧告」「改善報告」を期限を決めて求めます。



■事業統括本部による自己評価

毎月で開催される「運営会議」の一部を「評価会議」とします。

評価会議では「事業計画書」に基づいた「施設責任者」からの報告を「計画に対する作業実施の有無」「進捗の度合い」「目標達成度」「不適合事項」「是正の必要性」を判断し、「施設責任者」に改善を指示します。



様式 16

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

■市モニタリングへの協力

市によるモニタリングに積極的に協力します。
説明資料の準備、事業計画の進捗状況明確化、法令遵守のエビデンス等対応します。

改善指導等ご指示をいただいた場合は原因究明、応急対応、再発防止を行います。

■第三者評価

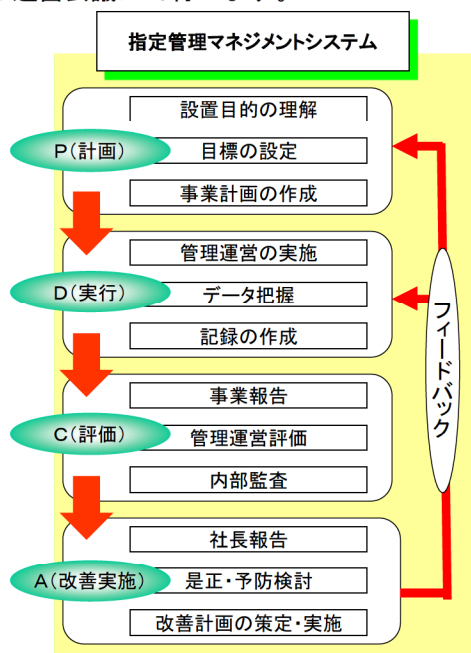
横浜市の指定管理者制度では「第三者評価機関」による評価制度を導入しています。この精度にも積極的に協力します。

外部の専門家による評価・指摘は大変重要であり、指定管理者としての今後の事業活動にも影響を与えます。

評価会議の準備、対応を確実にを行います。

■目標による管理

- ・私たちは、他の指定管理や施設運営で構築した指定管理マネジメントシステムを当施設に適用し、着実な方針、目標の達成に努めます。
- ・具体的には、方針に基づいた具体化・細分化された「指標」とその指標に対する「目標（値）」を設定し、「目標に基づく管理」を展開します。
- ・全体の方針、目標は経営層が決定し、個々の目標、実施施策は館長、職員が設定し達成に向けて努力します。
- ・定期的な報告や課題検討は本社、責任者等との運営会議にて行います。



様式 17

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール 提 案 書

10 新型コロナウイルス感染症等の対策に関する取組

(1) 新型コロナウイルス感染症等への対応

■新型コロナウイルス感染症等の対策に関する取組方針

- ①従来の基本的な感染症拡大防止策は継続します。
- ②感染状況の変化への対応は国や横浜市の保身や指針を積極的に情報収集し対応します。
- ③アフターコロナを見据え、積極的に運動・スポーツの機会を提供します。

■コロナの影響

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、運動不足による健康二次被害、スポーツに楽しむ上での「新しい生活様式」への対応の必要性、スポーツ施設の利用制限、学校運動部活動やスポーツ大会、イベントの延期・中止などが相つぎました。
- ・その一方で成人における週1回以上のスポーツ実施率は感染拡大前より向上しています。
- ・国が示した「新しい生活様式」に留意しながらスポーツを推進することが求められています。

【基本的な感染症拡大防止策】

	対応策（継続含む）	5 類移行前の対策で廃止したもの
受付	アクリルパーテーションの設置 「手指消毒液」の配置 任意な検温 三蜜回避や消毒等のチラシ、掲示等の実施	マスクの着用や 検温依頼 利用者がならぶ場合はソーシャルディスタンスの確保と床へのマーク付け
更衣室	サーキュレーターや窓開放による喚起	ロッカーの間引き使用 入場制限やシャワーの利用制限
プール	サーキュレーターや窓開放による喚起 利用時は事前の手指消毒	教室参加時、 コーチはマスク実施
多目的室	利用時は事前の手指消毒 マシン等の消毒は利用者より都度消毒 職員による定期消毒	トレーニング時のマスク着用 検温の必須
教室運営	サーキュレーターや窓開放による喚起 参加時は事前の手指消毒	定員制限 教室参加時コーチはマスク実施
職員の対応	こまめなうがい、 手洗い手指消毒の徹底 利用者対応時はマスク着用	濃厚接触者の 出社禁止
その他	多頻度積極箇所の午前・午後の消毒	多頻度積極箇所の1時間毎の消毒

「新しい生活様式」の実践例

（1）一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 会話をしている際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、直前は、熱中症に十分注意する。
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
- 人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

娯楽、スポーツ等

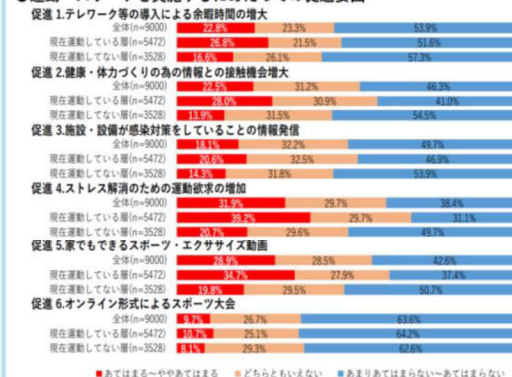
- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔をもしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

【図 厚生省の示す「新しい生活様式 実践事例】

【新型コロナウイルス感染症の流行による国民のスポーツへの参画状況や意識の変化、健康状態等に関する調査研究】

◆withコロナの時代に運動・スポーツを実施するにあたっての促進要因

●運動・スポーツを実施するにあたっての促進要因



◆考察・分析

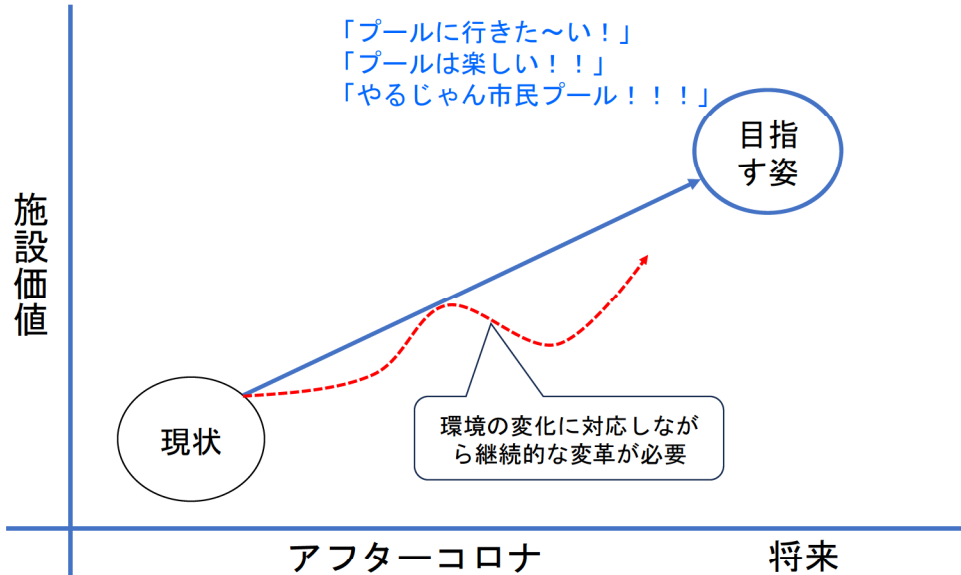
運動・スポーツを実施するにあたっての促進要因は、「ストレス解消」が最も多く、「家でできるエクササイズ動画」「余暇時間の増大」「情報接触機会増大」と続いた。以前運動をしていなかったが現在は運動をするようになった層を抜き取ってみても概ね同様の傾向を示し、現在行っている運動/スポーツは半数以上が「ウォーキング（散歩・ぶらぶら歩き）」であった。「テレワーク等の導入による余暇時間の増大」による影響は、全体では22.8%だったが、「会社員」で絞り込むと26.1%となった。

■アフターコロナを見据えた施設運営・事業展開

社会は複合的な構造変革期といわれる環境に置かれています。プール運営管理といえども対応が求められています。

これからの市民プール運営管理は、ビジョンを明確にし、知恵やエネルギーを結集して、「質の良いテーマ（課題）」「目標」をタイムリーに形成しと取り組んでいかなければなりません。

- ・長期的な視点で「人材」育成を行い、プール運営管理の改善や革新を継続します。
- ・積極的に運動・スポーツの機会を提供します（当提案書各項目に記載）。



■長期的な視点で「人材」育成を行う。

人材は極めて重要です。単なるプールの管理・運営では高い目的・目標は達成できません。

「プールの管理・運営」に「戦略的な視点」や「マーケティング手法」の導入が必要です。

施設総括責任者や本部スタッフだけではなく、広くやる気の人材を発掘・育成することに心がけます。

例／施設の従事者の中には、自ら区役所に出かけ交渉し「プール専用の情報ラック」設置に成功した者、施設近辺の自治会長様とお会いし「自治会掲示板」にプールポスター掲示の承諾を得た者もいます。

これら人材の行動力を評価し、新たな挑戦ができる場を与えていきます。

■積極的に運動・スポーツの機会を提供（当提案書各項目に記載）。

特別な「工夫」より、事業計画書全体に記載した施策を確実に展開することが重要です。

【以下は提案ポイントのまとめ】

- ・横浜市民が一層運動・スポーツの取組機会として、様々な施策に取り組みます。
- ・施設の在り方としては「水」だけではなく、「水＋α」が期待できる施設になる（プールの強み発揮になり差別化できる）。
- ・特に「広報・PR」が重要と考え、「待ちの姿勢」ではなく、積極的に「攻めの姿勢」で「広報・PR」「営業活動」を行います。
- ・その他の重要な施策は「総括本部に1～2名の専任者の配置」や「横浜市プール全体のコンセプト検討や啓蒙活動を行うプール連絡調整会議」等を企画しています。

様式 18

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール 提 案 書

その他。

■利益を還元

私たちは「大きな利用者増」の利用者目標を設定しています。この成果が収支に寄与し、累積経常利益が 1,000 万円を超えた場合、横浜市に貢献します。

具体的な方法や内容は市と別途ご相談申し上げます。

	検討可能な方法（分野）	内容 例
横浜市の 貢献方法	指定管理料の削減	累積が目標を超えて次年度の指定管理料委を削減
	施設改修への投資	太陽光パネル設置やエントランスホールの改修等 施設価値向上へ投資
	利便性向上や集客増への投資	送迎バスの買い替えや広告宣伝費への投資
	その他	市のニーズに対応します

【施設改修 例 太陽光パネルの設置】

	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	備考
経常収支 例	0	500 万円	700 万円	700 万円	500 万円	
累積	0	500 万円	1200 万円	700 万円	1200 万円	
計画		改修等の見 積取得等検 討開始	R9 年度の施 設改修計画 立案	施設改修 実施	R11 年度の 施設改修計 画立案	

■特徴（秀でた内容や施策）をもった施設

私たちは、民間の施設とも競争しています。継続して利用いただき、市民に自慢されるプールになりたいと思っています。

将来、「指定管理者の運用基準等を満たし、安定した運営管理ができるようになった」と判断できたら、「各プールが特徴を持つ」ことに挑戦します。

	テーマ 例	発揮すべき特徴
港南プール	共生社会実現モデルプール	障がい者支援やインクルーシブ大会が 他施設より数多く開催される施設
保土ケ谷プール	学校水泳支援プール	「送迎バス」の運行をきっかけに 「地域の中高水泳部の練習拠点」「学校水泳授業」 の支援ができる施設
金沢プール	横浜市民トライアスロン拠点	市民が気軽にミニトライアスロンに 挑戦可能な施設

これらが、最終的な目標が達成する姿と考えています。

■私たちが目指すプールのコンセプト

「明るい幸福な未来へ」

収支予算書(港南プール・保土ケ谷プール・金沢プール)

1 総括表

(1)収入 ※ 指定管理料を除いた金額。

(千円、税込み)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
①施設運営収入 (A)	245,225	256,679	262,683	268,691	274,697	1,307,975	
施設名 港南プール	70,345	71,567	72,329	73,093	73,856	361,190	
保土ケ谷プール	59,180	60,400	61,162	61,925	62,687	305,354	
金沢プール	115,700	124,712	129,192	133,673	138,154	641,431	
②自主事業による収入	38,492	39,892	40,094	41,500	41,710	201,688	
施設名 港南プール	8,600	9,260	9,321	9,983	10,046	47,210	
保土ケ谷プール	7,600	7,648	7,696	7,745	7,795	38,484	
金沢プール	22,292	22,984	23,077	23,772	23,869	115,994	
合計(①+②)	283,717	296,571	302,777	310,191	316,407	1,509,663	

(2)支出

(千円、税込み)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
③維持管理運営費用 (B)	336,905	344,405	351,905	359,405	366,905	1,759,525	
施設名 港南プール	119,835	122,335	124,835	127,335	129,835	624,175	
保土ケ谷プール	108,435	110,935	113,435	115,935	118,435	567,175	
金沢プール	108,635	111,135	113,635	116,135	118,635	568,175	
④自主事業による経費	5,000	5,288	5,288	5,576	5,576	26,728	
施設名 港南プール	1,124	1,268	1,268	1,412	1,412	6,484	
保土ケ谷プール	1,172	1,172	1,172	1,172	1,172	5,860	
金沢プール	2,704	2,848	2,848	2,992	2,992	14,384	
合計(③+④)	341,905	349,693	357,193	364,981	372,481	1,786,253	

(3) 指定管理料

(千円、税込み)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
指定管理料＝ (支出(B)－収入(A))	91,680	87,726	89,222	90,714	92,208	451,550	

※ 自主事業の内訳は、様式24、25の事業ごとに記載してください。

収支予算書(港南プール)

1 港南プール総括表

(1)収入 ※ 指定管理料を除いた金額。

(千円、税込み)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
①施設運営収入 (A)	70,345	71,567	72,329	73,093	73,856	361,190	
項 目							
利用料金収入	32,745	33,967	34,729	35,493	36,256	173,190	
利用料金収入(駐車場)	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	78,000	
スポーツ教室等事業収入	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	110,000	
文化系教室収入						0	
託児事業収入						0	
広告業務収入						0	
その他						0	
②自主事業による収入	8,600	9,260	9,321	9,983	10,046	47,210	
項 目							
スポーツ教室等事業(時間外)	1,200	1,800	1,800	2,400	2,400	9,600	
飲食事業(自販機)	3,000	3,060	3,121	3,183	3,246	15,610	
物販事業	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	16,000	
利用料金収入(時間外)						0	
利用料金収入(駐車場)(時間外)	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000	
その他						0	
合計(①+②)	78,945	80,827	81,650	83,076	83,902	408,400	

(2)支出

(千円、税込み)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
③維持管理運営費用 (B)	119,835	122,335	124,835	127,335	129,835	624,175	
項 目							
人件費	55,545	58,045	60,545	63,045	65,545	302,725	
修繕費	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	27,500	
設備管理費・保安警備費	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	23,250	
備品購入費・消耗品費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
外構・植栽管理費・廃棄物処理費	460	460	460	460	460	2,300	
広報費・印刷製本費	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	11,000	
光熱水費・燃料費	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	180,000	
保険料	600	600	600	600	600	3,000	
使用料・賃借料	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	16,500	
委託料・謝金	4,780	4,780	4,780	4,780	4,780	23,900	
公租公課	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	12,000	
旅費	120	120	120	120	120	600	
会議贈い費	18	18	18	18	18	90	
通信運搬費	600	600	600	600	600	3,000	
支払手数料	62	62	62	62	62	310	
会費及び負担金	200	200	200	200	200	1,000	
事務経費本部分	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	7,000	
その他						0	
④自主事業による経費	1,124	1,268	1,268	1,412	1,412	6,484	
項 目							
スポーツ教室等事業(時間外)	288	432	432	576	576	2,304	
飲食事業	216	216	216	216	216	1,080	
物販事業	380	380	380	380	380	1,900	
その他	240	240	240	240	240	1,200	
合計(③+④)	120,959	123,603	126,103	128,747	131,247	630,659	

(3) 指定管理料

(千円、税込み)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
指定管理料＝ (支出(B)－収入(A))	49,490	50,768	52,506	54,242	55,979	262,985	

※ 自主事業の内訳は、様式24、25の事業ごとに記載してください。

様式22

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(港南プール)

2 指定管理・収入の部(令和6年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			70,345
利用料金収入			32,745
項 目	プール(個人)	大人400円×42,000人=16,960千円 子ども100円×29,680人=2,968千円 障がい者大人200円×5,300人=1,060千円 障がい者子ども50円×2,120人=1,060千円 濃とも200円×10,600人=2,120千円 回数券大人利用320円×10,600人=3,392千円 回数券子ども利用80円×5,300人=424千円	27,030
	多目的室(個人)	1,000円(時間利用)×8組×4週×12か月=384,000円	384
	プール(団体)		
	多目的室(団体)		
	附帯設備利用料金	ロッカー(106,000人×50円=5,300千円) ドライヤー(106,000人×3%×10円=31千円)	5,331
利用料金収入(駐車場)		駐車場利用料金収入	15,600
スポーツ教室等事業収入		(別紙参照)	22,000
文化系教室収入			
託児事業収入			
広告業務収入			
その他			

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			70,345
指定管理料 (B)			49,490
収入合計 (A)+(B)			119,835

様式22

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(港南プール)

2 指定管理・収入の部(令和7年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			71,567
利用料金収入			33,967
項 目	プール(個人)	大人400円×44,000人=17,600千円 子ども100円×30,800人=3,080千円 障がい者大人200円×5,500人=1,100千円 障がい者子ども50円×2,200人=110千円 濱とも200円×11,000人=2,200千円 回数券大人利用320円×11,000人=3,520千円 回数券子ども利用80円×5,500人=440千円	28,050
	多目的室(個人)	1,000円(2時間利用)×8組×4週×12か月=384,000円	384
	プール(団体)		
	多目的室(団体)		
	附帯設備利用料金	ロッカー(110,000人×50円=5,500千円) ドライヤー(110,000人×3%×10円=33千円)	5,533
利用料金収入(駐車場)		駐車場利用料金収入	15,600
スポーツ教室等事業収入		(別紙参照)	22,000
文化系教室収入			
託児事業収入			
広告業務収入			
その他			

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			71,567
指定管理料 (B)			50,768
収入合計 (A)+(B)			122,335

様式22

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(港南プール)

2 指定管理・収入の部(令和8年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			72,329
利用料金収入			34,729
項 目	プール(個人)	大人400円×45,000人=18,000千円 子ども100円×31,500人=3,150千円 障がい者大人200円×5,625人=1,125千円 障がい者子ども50円×2,250人=1,125千円 濱とも200円×11,250人=2,250千円 回数券大人利用320円×11,250人=3,600千円 回数券子ども利用80円×5,625人=450千円	28,687
	多目的室(個人)	1,000円(2時間利用)×8組×4週×12か月=384,000円	384
	プール(団体)		
	多目的室(団体)		
	附帯設備利用料金	ロッカー(112,500人×50円=5,625千円) ドライヤー(112,500人×3%×10円=33千円)	5,658
利用料金収入(駐車場)		駐車場利用料金収入	15,600
スポーツ教室等事業収入		(別紙参照)	22,000
文化系教室収入			
託児事業収入			
広告業務収入			
その他			

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			72,329
指定管理料 (B)			52,506
収入合計 (A)+(B)			124,835

様式22

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(港南プール)

2 指定管理・収入の部(令和9年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			73,093
利用料金収入			35,493
項 目	プール(個人)	大人400円×46,000人=18,400千円 子ども100円×32,200人=3,220千円 障がい者大人200円×5,750人=1,150千円 障がい者子ども50円×2,300人=115千円 濱とも200円×11,500人=2,300千円 回数券大人利用320円×11,500人=3,680千円 回数券子ども利用80円×5,750人=460千円	29,325
	多目的室(個人)	1,000円(2時間利用)×8組×4週×12か月=384,000円	384
	プール(団体)		
	多目的室(団体)		
	附帯設備利用料金	ロッカー(115,000人×50円=5,750千円) ドライヤー(115,000人×3%×10円=34千円)	5,784
利用料金収入(駐車場)		駐車場利用料金収入	15,600
スポーツ教室等事業収入		(別紙参照)	22,000
文化系教室収入			
託児事業収入			
広告業務収入			
その他			

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			73,093
指定管理料 (B)			54,242
収入合計 (A)+(B)			127,335

様式22

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(港南プール)

2 指定管理・収入の部(令和10年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

	内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)		73,856
利用料金収入		36,256
項 目	プール(個人)	大人400円×47,000人=18,800千円 子ども100円×32,900人=3,290千円 障がい者大人200円×5,675人=1,175千円 障がい者子ども50円×2,350人=1,175千円 濱とも200円×11,750人=2,350千円 回数券大人利用320円×11,750人=3,760千円 回数券子ども利用80円×5,875人=470千円
	多目的室(個人)	1,000円(2時間利用)×8組×4週×12か月=384,000円
	プール(団体)	
	多目的室(団体)	
	附帯設備利用料金	ロッカー(117,500人×50円=5,875千円) ドライヤー(117,500人×3%×10円=35千円)
利用料金収入(駐車場)	駐車場利用料金収入	15,600
スポーツ教室等事業収入	(別紙参照)	22,000
文化系教室収入		
託児事業収入		
広告業務収入		
その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

	内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)		73,856
指定管理料 (B)		55,979
収入合計 (A)+(B)		129,835

収支予算書(港南プール)

3 指定管理・支出の部(令和6年度)

	積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		119,835
項 目	人件費	55,545
	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費) 統括責任者 副統括責任者 水面監視責任者 設備責任者	
	・非常勤職員給与 監視員 設備員 受付員 清掃員	
	給与・賞与	54,481
	社会保険料	114
	通勤手当	135
	健康診断費	35
	退職給付引当繰入額	780
	修繕費	5,500
	駐車場に係るもの	800
	設備機器経年劣化・故障等の修繕	4,700
	設備管理費	2,500
	圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	2,150
	保安警備費	500
	機械警備	2,150
	備品購入費	500
	用具等	1,500
	消耗品費	1,500
	トイレトペーパー・事務用品・プール薬剤ほか	550
	駐車場に係る消耗品 入退場機器消耗品 電球・券紙	950
	施設運営に係る消耗品	260
	外構・植栽管理費	200
	敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	800
	廃棄物処理費	200
	施設発生ゴミ・事業系廃棄物ほか	1,400
	広報費	30,000
	HP・SNS・新聞折り込みほか	5,500
	印刷製本費	5,500
	リーフレット・チラシほか	19,000
	光熱水費	6,000
	電気代・ガス代・水道代	600
	電気代	200
	ガス代	400
	水道代	2,460
燃料費	自家発電燃料・ガソリン代	2,160
	施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	300
	施設賠償責任保険	2,320
保険料	施設賠償責任保険	200
	スポーツ障害保険	200
	スポーツ障害保険	2,400
使用料・賃借料	リース料・使用料ほか	800
	音楽著作権使用料	2,500
	リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,460
委託料	駐車場管理業務・現金集配	2,160
	駐車場管理業務委託費	300
	現金集配業務委託費	2,320
謝金	講師報酬・託児費	2,400
	消費税・収入印紙	0
	事業所税	2,380
公租公課費	消費税・収入印紙	20
	収入印紙	120
	巡回・研修参加時等	18
旅費	会議・研修参加時等	600
	JV会議・施設長会議ほか	62
	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	200
通信運搬費	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	120
	支払手数料	80
	振込手数料ほか	1,400
会費及び負担金	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	
	職員研修参加費	
	協賛・会費	
事務経費本部分	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	
	職員研修参加費	
	協賛・会費	
その他	本部経費	

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賞金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(港南プール)

3 指定管理・支出の部(令和7年度)

	積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		122,335
項 目	人件費	58,045
	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費) 統括責任者 副統括責任者 水面監視責任者 設備責任者	
	・非常勤職員給与 監視員 設備員 受付員 清掃員	
	給与・賞与	54,481
	社会保険料	114
	通勤手当	135
	健康診断費	35
	人材育成費	2,500
	退職給付引当繰入額	780
	修繕費	5,500
	駐車場に係るもの	800
	設備機器経年劣化・故障等の修繕	4,700
	設備管理費	2,500
	圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	
	保安警備費	2,150
	機械警備	
	備品購入費	500
	用具等	
	消耗品費	1,500
	トイレトペーパー・事務用品・プール薬剤ほか	
	駐車場に係る消耗品 入退場機器消耗品 電球・券紙	550
	施設運営に係る消耗品	950
	外構・植栽管理費	280
	敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	
	廃棄物処理費	200
	施設発生ゴミ・事業系廃棄物ほか	
	広報費	800
	HP・SNS・新聞折り込みほか	
	印刷製本費	1,400
	リーフレット・チラシほか	
	光熱水費	30,000
	電気代・ガス代・水道代	
	電気代	5,500
	ガス代	5,500
	水道代	19,000
	燃料費	6,000
	自家用発電燃料・ガソリン代	
	保険料	600
	施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	
	施設賠償責任保険	200
	スポーツ障害保険	400
	使用料・賃借料	3,300
	リース料・使用料ほか	
	音楽著作権使用料	800
	リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,500
	委託料	2,460
	駐車場管理業務・現金集配	
	駐車場管理業務委託費	2,160
	現金集配業務委託費	300
	謝金	2,320
	講師報酬・託児費	
	公租公課費	2,400
	消費税・収入印紙	
	事業所税	0
	消費税・収入印紙	2,380
	収入印紙	20
	旅費	120
	巡回・研修参加時等	
	会議諸い費	18
	JV会議・施設長会議ほか	
	通信運搬費	600
	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	
	支払手数料	62
	振込手数料ほか	
	会費及び負担金	200
	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	
	職員研修参加費	120
	協賛・会費	80
	事務経費本部分	1,400
	本部経費	
	その他	

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(港南プール)

3 指定管理・支出の部(令和8年度)

	積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		124,835
項 目	人件費	60,545
	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費) 統括責任者 副統括責任者 水面監視責任者 設備責任者	
	・非常勤職員給与 監視員 設備員 受付員 清掃員	
	給与・賞与	54,481
	社会保険料	114
	通勤手当	135
	健康診断費	35
	人材育成費	5,000
	退職給付引当繰入額	780
	修繕費	5,500
	駐車場に係るもの	800
	設備機器経年劣化・故障等の修繕	4,700
	設備管理費	2,500
	圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	
	保安警備費	2,150
	機械警備	
	備品購入費	500
	用具等	
	消耗品費	1,500
	トイレトペーパー・事務用品・プール薬剤ほか	
	駐車場に係る消耗品 入退場機器消耗品 電球・券紙	550
	施設運営に係る消耗品	950
	外構・植栽管理費	280
	敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	
	廃棄物処理費	200
	施設発生ゴミ・事業系廃棄物ほか	
	広報費	800
	HP・SNS・新聞折り込みほか	
	印刷製本費	1,400
	リーフレット・チラシほか	
	光熱水費	30,000
	電気代・ガス代・水道代	
	電気代	5,500
	ガス代	5,500
	水道代	19,000
	燃料費	6,000
	自家用発電燃料・ガソリン代	
	保険料	600
	施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	
	施設賠償責任保険	200
	スポーツ障害保険	400
	使用料・賃借料	3,300
	リース料・使用料ほか	
	音楽著作権使用料	800
	リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,500
	委託料	2,460
	駐車場管理業務・現金集配	
	駐車場管理業務委託費	2,160
	現金集配業務委託費	300
	謝金	2,320
	講師報酬・託児費	
	公租公課費	2,400
	消費税・収入印紙	
	事業所税	0
	消費税・収入印紙	2,380
	収入印紙	20
	旅費	120
	巡回・研修参加時等	
	会議諸い費	18
	JV会議・施設長会議ほか	
	通信運搬費	600
	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	
	支払手数料	62
	振込手数料ほか	
	会費及び負担金	200
	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	
	職員研修参加費	120
	協賛・会費	80
	事務経費本部分	1,400
	本部経費	
	その他	

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(港南プール)

3 指定管理・支出の部(令和9年度)

	積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		127,335
項 目	人件費	63,045
	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費) 統括責任者 副統括責任者 水面監視責任者 設備責任者	
	・非常勤職員給与 監視員 設備員 受付員 清掃員	
	給与・賞与	54,481
	社会保険料	114
	通勤手当	135
	健康診断費	35
	人材育成費	7,500
	退職給付引当繰入額	780
	修繕費	5,500
	駐車場に係るもの	800
	設備機器経年劣化・故障等の修繕	4,700
	設備管理費	2,500
	圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	
	保安警備費	2,150
	機械警備	
	備品購入費	500
	用具等	
	消耗品費	1,500
	トイレトペーパー・事務用品・プール薬剤ほか	
	駐車場に係る消耗品 入退場機器消耗品 電球・券紙	550
	施設運営に係る消耗品	950
	外構・植栽管理費	280
	敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	
	廃棄物処理費	200
	施設発生ゴミ・事業系廃棄物ほか	
	広報費	800
	HP・SNS・新聞折り込みほか	
	印刷製本費	1,400
	リーフレット・チラシほか	
	光熱水費	30,000
	電気代・ガス代・水道代	
	電気代	5,500
	ガス代	5,500
	水道代	19,000
	燃料費	6,000
	自家用発電燃料・ガソリン代	
	保険料	600
	施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	
	施設賠償責任保険	200
	スポーツ障害保険	400
	使用料・賃借料	3,300
	リース料・使用料ほか	
	音楽著作権使用料	800
	リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,500
	委託料	2,460
	駐車場管理業務・現金集配	
	駐車場管理業務委託費	2,160
	現金集配業務委託費	300
	謝金	2,320
	講師報酬・託児費	
	公租公課費	2,400
	消費税・収入印紙	
	事業所税	0
	消費税・収入印紙	2,380
	収入印紙	20
	旅費	120
	巡回・研修参加時等	
	会議諸い費	18
	JV会議・施設長会議ほか	
	通信運搬費	600
	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	
	支払手数料	62
	振込手数料ほか	
	会費及び負担金	200
	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	
	職員研修参加費	120
	協賛・会費	80
	事務経費本部分	1,400
	本部経費	
	その他	

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(港南プール)

3 指定管理・支出の部(令和10年度)

	積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		129,835
項 目	人件費	65,545
	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費) 統括責任者 副統括責任者 水面監視責任者 設備責任者	
	・非常勤職員給与 監視員 設備員 受付員 清掃員	
	給与・賞与	54,481
	社会保険料	114
	通勤手当	135
	健康診断費	35
	人材育成費	10,000
	退職給付引当繰入額	780
	修繕費	5,500
	駐車場に係るもの	800
	設備機器経年劣化・故障等の修繕	4,700
	設備管理費	2,500
	圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	
	保安警備費	2,150
	機械警備	
	備品購入費	500
	用具等	
	消耗品費	1,500
	トイレトペーパー・事務用品・プール薬剤ほか	
	駐車場に係る消耗品 入退場機器消耗品 電球・券紙	550
	施設運営に係る消耗品	950
	外構・植栽管理費	280
	敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	
	廃棄物処理費	200
	施設発生ゴミ・事業系廃棄物ほか	
	広報費	800
	HP・SNS・新聞折り込みほか	
	印刷製本費	1,400
	リーフレット・チラシほか	
	光熱水費	30,000
	電気代・ガス代・水道代	
	電気代	5,500
	ガス代	5,500
	水道代	19,000
	燃料費	6,000
	自家用発電燃料・ガソリン代	
	保険料	600
	施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	
	施設賠償責任保険	200
	スポーツ障害保険	400
	使用料・賃借料	3,300
	リース料・使用料ほか	
	音楽著作権使用料	800
	リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,500
	委託料	2,460
	駐車場管理業務・現金集配	
	駐車場管理業務委託費	2,160
	現金集配業務委託費	300
	謝金	2,320
	講師報酬・託児費	
	公租公課費	2,400
	消費税・収入印紙	
	事業所税	0
	消費税・収入印紙	2,380
	収入印紙	20
	旅費	120
	巡回・研修参加時等	
	会議諸い費	18
	JV会議・施設長会議ほか	
	通信運搬費	600
	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	
	支払手数料	62
	振込手数料ほか	
	会費及び負担金	200
	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	
	職員研修参加費	120
	協賛・会費	80
	事務経費本部分	1,400
	本部経費	
	その他	

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

様式24

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(港南プール)

4 自主事業・収入の部(令和6年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			8,600
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	団体コース貸し	1,200
	飲食事業	自動販売機:屋内設置6台	3,000
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	3,200
	利用料金収入(時間外)		
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	駐車場:時間外利用	1,200
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

様式24

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(港南プール)

4 自主事業・収入の部(令和7年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			9,260
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	団体コース貸し	1,800
	飲食事業	自動販売機:屋内設置6台	3,060
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	3,200
	利用料金収入(時間外)		
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	駐車場:時間外利用	1,200
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

様式24

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(港南プール)

4 自主事業・収入の部(令和8年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			9,321
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	団体コース貸し	1,800
	飲食事業	自動販売機:屋内設置6台	3,121
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	3,200
	利用料金収入(時間外)		
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	駐車場:時間外利用	1,200
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

様式24

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(港南プール)

4 自主事業・収入の部(令和9年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			9,983
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	団体コース貸し	2,400
	飲食事業	自動販売機:屋内設置6台	3,183
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	3,200
	利用料金収入(時間外)		
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	駐車場:時間外利用	1,200
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

様式24

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(港南プール)

4 自主事業・収入の部(令和10年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			10,046
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	団体コース貸し	2,400
	飲食事業	自動販売機:屋内設置6台	3,246
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	3,200
	利用料金収入(時間外)		
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	駐車場:時間外利用	1,200
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(港南プール)

5 自主事業・支出の部(令和6年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			1,124
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 10日 × 12か月	288
	飲食事業	3,000円 × 6台 × 12か月	216
	物販事業	物販使用スペース	380
	その他	駐車場時間外管理費	240

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(港南プール)

5 自主事業・支出の部(令和7年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			1,268
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 15日 × 12か月	432
	飲食事業	3,000円 × 6台 × 12か月	216
	物販事業	物販使用スペース	380
	その他	駐車場時間外管理費	240

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(港南プール)

5 自主事業・支出の部(令和8年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			1,268
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 15日 × 12か月	432
	飲食事業	3,000円 × 6台 × 12か月	216
	物販事業	物販使用スペース	380
	その他	駐車場時間外管理費	240

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(港南プール)

5 自主事業・支出の部(令和9年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			1,412
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 20日 × 12か月	576
	飲食事業	3,000円 × 6台 × 12か月	216
	物販事業	物販使用スペース	380
	その他	駐車場時間外管理費	240

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(港南プール)

5 自主事業・支出の部(令和10年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			1,412
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 20日 × 12か月	576
	飲食事業	3,000円 × 6台 × 12か月	216
	物販事業	物販使用スペース	380
	その他	駐車場時間外管理費	240

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(保土ヶ谷プール)

1 保土ヶ谷プール総括表

(1)収入 ※ 指定管理料を除いた金額。

(千円、税込み)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
①施設運営収入 (A)	59,180	60,400	61,162	61,925	62,687	305,354	
項目 利用料金収入	23,180	24,400	25,162	25,925	26,687	125,354	
利用料金収入(駐車場)						0	
スポーツ教室等事業収入	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	180,000	
文化系教室収入						0	
託児事業収入						0	
広告業務収入						0	
その他						0	
②自主事業による収入	7,600	7,648	7,696	7,745	7,795	38,484	
項目 スポーツ教室等事業(時間外)	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	12,000	
飲食事業(自販機)	2,400	2,448	2,496	2,545	2,595	12,484	
物販事業	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	14,000	
利用料金収入(時間外)						0	
利用料金収入(駐車場)(時間外)						0	
その他						0	
合計(①+②)	66,780	68,048	68,858	69,670	70,482	343,838	

(2)支出

(千円、税込み)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
③維持管理運営費用 (B)	108,435	110,935	113,435	115,935	118,435	567,175	
項目 人件費	55,545	58,045	60,545	63,045	65,545	302,725	
修繕費	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	27,500	
設備管理費・保安警備費	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	23,250	
備品購入費・消耗品費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
外構・植栽管理費・廃棄物処理費	460	460	460	460	460	2,300	
広報費・印刷製本費	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	11,000	
光熱水費・燃料費	21,800	21,800	21,800	21,800	21,800	109,000	
保険料	600	600	600	600	600	3,000	
使用料・賃借料	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	16,500	
委託料・謝金	7,580	7,580	7,580	7,580	7,580	37,900	
公租公課	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	12,000	
旅費	120	120	120	120	120	600	
会議賄い費	18	18	18	18	18	90	
通信運搬費	600	600	600	600	600	3,000	
支払手数料	62	62	62	62	62	310	
会費及び負担金	200	200	200	200	200	1,000	
事務経費本部分	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	7,000	
その他						0	
④自主事業による経費	1,172	1,172	1,172	1,172	1,172	5,860	
項目 スポーツ教室等事業(時間外)	576	576	576	576	576	2,880	
飲食事業(目的外使用料)	216	216	216	216	216	1,080	
物販事業	380	380	380	380	380	1,900	
その他						0	
合計(③+④)	109,607	112,107	114,607	117,107	119,607	573,035	

(3) 指定管理料

(千円、税込み)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
指定管理料＝ (支出(B)－収入(A))	49,255	50,535	52,273	54,010	55,748	261,821	

※ 自主事業の内訳は、様式24、25の事業ごとに記載してください。

様式22

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(保土ヶ谷プール)

2 指定管理・収入の部(令和6年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			59,180
利用料金収入			23,180
項 目	プール(個人)	大人400円×30,400人=12,160千円 子ども100円×21,280人=2,128千円 障がい者大人200円×3,800人=760千円 障がい者子ども50円×1,520人=76千円 濱とも200円×7,600人=1,520千円 回数券大人利用320円×7,600人=2,432千円 回数券子ども利用80円×3,800人=304千円	19,380
	多目的室(個人)		
	プール(団体)		
	多目的室(団体)		
	附帯設備利用料金	ロッカー(76,000人×50円=3,800千円)	3,800
利用料金収入(駐車場)			
スポーツ教室等事業収入			36,000
文化系教室収入			
託児事業収入			
広告業務収入			
その他			

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			59,180
指定管理料 (B)			49,255
収入合計 (A)+(B)			108,435

様式22

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(保土ヶ谷プール)

2 指定管理・収入の部(令和7年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計	(A)		60,400
利用料金収入			24,400
項 目	プール(個人)	大人400円×32,000人=12,800千円 子ども100円×22,400人=2,240千円 障がい者大人200円×4,000人=800千円 障がい者子ども50円×1,600人=80千円 濱とも200円×8,000人=1,600千円 回数券大人利用320円×8,000人=2,560千円 回数券子ども利用80円×4,000人=320千円	20,400
	多目的室(個人)		
	プール(団体)		
	多目的室(団体)		
	附帯設備利用料金	ロッカー(80,000人×50円=4,000千円)	4,000
利用料金収入(駐車場)			
スポーツ教室等事業収入			36,000
文化系教室収入			
託児事業収入			
広告業務収入			
その他			

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入	(A)		60,400
指定管理料	(B)		50,535
収入合計	(A)+(B)		110,935

様式22

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(保土ヶ谷プール)

2 指定管理・収入の部(令和8年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			61,162
利用料金収入			25,162
項 目	プール(個人)	大人400円×33,000人=13,200千円 子ども100円×23,100人=2,310千円 障がい者大人200円×4,125人=825千円 障がい者子ども50円×1,650人=82千円 濱とも200円×8,250人=1,650千円 回数券大人利用320円×8,250人=2,640千円 回数券子ども利用80円×4,125人=330千円	21,037
	多目的室(個人)		
	プール(団体)		
	多目的室(団体)		
	附帯設備利用料金	ロッカー(82,500人×50円=4,125千円)	4,125
利用料金収入(駐車場)			
スポーツ教室等事業収入			36,000
文化系教室収入			
託児事業収入			
広告業務収入			
その他			

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			61,162
指定管理料 (B)			52,273
収入合計 (A)+(B)			113,435

様式22

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(保土ヶ谷プール)

2 指定管理・収入の部(令和9年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			61,925
利用料金収入			25,925
項 目	プール(個人)	大人400円×34,000人=13,600千円 子ども100円×23,800人=2,380千円 障がい者大人200円×4,250人=850千円 障がい者子ども50円×1,700人=85千円 濱とも200円×8,500人=1,700千円 回数券大人利用320円×8,500人=2,720千円 回数券子ども利用80円×4,250人=340千円	21,675
	多目的室(個人)		
	プール(団体)		
	多目的室(団体)		
	附帯設備利用料金	ロッカー(85,000人×50円=4,250千円)	4,250
利用料金収入(駐車場)			
スポーツ教室等事業収入			36,000
文化系教室収入			
託児事業収入			
広告業務収入			
その他			

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			61,925
指定管理料 (B)			54,010
収入合計 (A)+(B)			115,935

様式22

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(保土ヶ谷プール)

2 指定管理・収入の部(令和10年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			62,687
利用料金収入			26,687
項 目	プール(個人)	大人400円×35,000人=14,000千円 子ども100円×24,500人=2,450千円 障がい者大人200円×4,375人=875千円 障がい者子ども50円×1,750人=87千円 濱とも200円×8,750人=1,750千円 回数券大人利用320円×8,750人=2,800千円 回数券子ども利用80円×4,375人=350千円	22,312
	多目的室(個人)		
	プール(団体)		
	多目的室(団体)		
	附帯設備利用料金	ロッカー(87,500人×50円=4,375千円)	4,375
利用料金収入(駐車場)			
スポーツ教室等事業収入			36,000
文化系教室収入			
託児事業収入			
広告業務収入			
その他			

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			62,687
指定管理料 (B)			55,748
収入合計 (A)+(B)			118,435

収支予算書(保土ヶ谷プール)

3 指定管理・支出の部(令和6年度)

	積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		108,435
人件費	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費) 統括責任者 副統括責任者 水面監視責任者 設備責任者	55,545
	・非常勤職員給与 監視員 設備員 受付員 清掃員	
	給与・賞与	54,481
	社会保険料	114
	通勤手当	135
	健康診断費	35
	退職給付引当繰入額	780
修繕費		5,500
	駐車場に係るもの	
	設備機器経年劣化・故障等の修繕	5,500
設備管理費	圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	2,500
保安警備費	機械警備	2,150
備品購入費	用具等	500
消耗品費	トイレトペーパー・事務用品・プール薬剤ほか	1,500
	駐車場に係る消耗品 入退場機器消耗品 電球・券紙	550
	施設運営に係る消耗品	950
外構・植栽管理費	敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	280
廃棄物処理費	施設発生ゴミ・事業系廃棄物ほか	200
広報費	HP・SNS・新聞折り込みほか	800
印刷製本費	リーフレット・チラシほか	1,400
光熱水費	電気代・ガス代・水道代	19,800
	電気代	3,000
	ガス代	800
	水道代	16,000
燃料費	自家用発電燃料・ガソリン代	2,000
保険料	施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	600
	施設賠償責任保険	200
	スポーツ障害保険	400
使用料・賃借料	リース料・使用料ほか	3,300
	音楽著作権使用料	800
	リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,500
委託料	駐車場管理業務・現金集配	300
	駐車場管理業務委託費	
	現金集配業務委託費	300
謝金	講師報酬・託児費	7,280
公租公課費	消費税・収入印紙	2,400
	事業所税	0
	消費税・収入印紙	2,380
	収入印紙	20
旅費	巡回・研修参加時等	120
会議諸い費	JV会議・施設長会議ほか	18
通信運搬費	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	600
支払手数料	振込手数料ほか	62
会費及び負担金	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	200
	職員研修参加費	120
	協賛・会費	80
事務経費本部分	本部経費	1,400
その他		

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(保土ヶ谷プール)

3 指定管理・支出の部(令和7年度)

	積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		110,935
人件費	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費) 統括責任者 副統括責任者 水面監視責任者 設備責任者	58,045
	・非常勤職員給与 監視員 設備員 受付員 清掃員	
	給与・賞与	54,481
	社会保険料	114
	通勤手当	135
	健康診断費	35
	人材育成費	2,500
	退職給付引当繰入額	780
修繕費		5,500
	駐車場に係るもの	
	設備機器経年劣化・故障等の修繕	5,500
設備管理費	圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	2,500
保安警備費	機械警備	2,150
備品購入費	用具等	500
消耗品費	トイレトペーパー・事務用品・プール薬剤ほか	1,500
	駐車場に係る消耗品 入退場機器消耗品 電球・券紙	550
	施設運営に係る消耗品	950
	外構・植栽管理費	260
	敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	260
廃棄物処理費	施設発生ゴミ・事業系廃棄物ほか	200
広報費	HP・SNS・新聞折り込みほか	800
印刷製本費	リーフレット・チラシほか	1,400
光熱水費	電気代・ガス代・水道代	19,800
項	電気代	3,000
	ガス代	800
	水道代	16,000
	燃料費	2,000
目	自家用発電燃料・ガソリン代	2,000
	施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	600
	施設賠償責任保険	200
	スポーツ障害保険	400
使用料・賃借料	リース料・使用料ほか	3,300
	音楽著作権使用料	800
	リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,500
委託料	駐車場管理業務・現金集配	300
	駐車場管理業務委託費	
	現金集配業務委託費	300
	講師報酬・託児費	7,280
謝金	消費税・収入印紙	2,400
	事業所税	0
	消費税・収入印紙	2,380
	収入印紙	20
旅費	巡回・研修参加時等	120
会議諸い費	JV会議・施設長会議ほか	18
通信運搬費	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	600
支払手数料	振込手数料ほか	62
会費及び負担金	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	200
	職員研修参加費	120
	協賛・会費	80
事務経費本部分	本部経費	1,400
その他		
その他		

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賞金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(保土ヶ谷プール)

3 指定管理・支出の部(令和8年度)

		積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用			113,435
項 目	人件費	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費) 統括責任者 副統括責任者 水面監視責任者 設備責任者	60,545
		・非常勤職員給与 監視員 設備員 受付員 清掃員	
		給与・賞与	54,481
		社会保険料	114
		通勤手当	135
		健康診断費	35
		人材育成費	5,000
		退職給付引当繰入額	780
		修繕費	5,500
		駐車場に係るもの	
	設備管理費	設備機器経年劣化・故障等の修繕	5,500
		圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	2,500
	保安警備費	機械警備	2,150
	備品購入費	用具等	500
	消耗品費	トイレトペーパー・事務用品・プール薬剤ほか	1,500
	光熱水費	駐車場に係る消耗品 入退場機器消耗品 電球・券紙	550
		施設運営に係る消耗品	950
		外構・植栽管理費	260
		敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	260
	廃棄物処理費	施設発生ゴミ・事業系廃棄物ほか	200
	広報費	HP・SNS・新聞折り込みほか	800
	印刷製本費	リーフレット・チラシほか	1,400
	燃料費	電気代・ガス代・水道代	19,800
		電気代	3,000
		ガス代	800
		水道代	16,000
	保険料	自家用発電燃料・ガソリン代	2,000
	使用料・賃借料	施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	600
		施設賠償責任保険	200
		スポーツ障害保険	400
		リース料・使用料ほか	3,300
	委託料	音楽著作権使用料	800
		リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,500
	謝金	駐車場管理業務・現金集配	300
		駐車場管理業務委託費	
		現金集配業務委託費	300
		講師報酬・託児費	7,280
	公租公課費	消費税・収入印紙	2,400
		事業所税	0
		消費税・収入印紙	2,380
		収入印紙	20
	旅費	巡回・研修参加時等	120
	会議諸い費	JV会議・施設長会議ほか	18
	通信運搬費	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	600
	支払手数料	振込手数料ほか	62
	会費及び負担金	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	200
		職員研修参加費	120
		協賛・会費	80
	事務経費本部分	本部経費	1,400
	その他		
	その他		
	その他		

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賞金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(保土ヶ谷プール)

3 指定管理・支出の部(令和9年度)

	積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		115,935
人件費	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費) 統括責任者 副統括責任者 水面監視責任者 設備責任者	63,045
	・非常勤職員給与 監視員 設備員 受付員 清掃員	
	給与・賞与	54,481
修繕費	社会保険料	114
	通勤手当	135
	健康診断費	35
設備管理費	人材育成費	7,500
	退職給付引当繰入額	780
	修繕費	5,500
保安警備費	駐車場に係るもの	
	設備機器経年劣化・故障等の修繕	5,500
	圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	2,500
備品購入費	機械警備	2,150
	用具等	500
	消耗品費	1,500
消耗品費	トイレトペーパー・事務用品・プール薬剤ほか	
	駐車場に係る消耗品 入退場機器消耗品 電球・券紙	550
	施設運営に係る消耗品	950
外構・植栽管理費	敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	260
	廃棄物処理費	200
	広報費	800
印刷製本費	HP・SNS・新聞折り込みほか	
	リーフレット・チラシほか	1,400
	光熱水費	19,800
燃料費	電気代	3,000
	ガス代	800
	水道代	16,000
保険料	自家用発電燃料・ガソリン代	2,000
	施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	600
	施設賠償責任保険	200
使用料・賃借料	スポーツ障害保険	400
	リース料・使用料ほか	3,300
	音楽著作権使用料	800
委託料	リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,500
	駐車場管理業務・現金集配	300
	駐車場管理業務委託費	
謝金	現金集配業務委託費	300
	講師報酬・託児費	7,280
	公租公課費	2,400
旅費	消費税・収入印紙	
	事業所税	0
	消費税・収入印紙	2,380
会議諸い費	収入印紙	20
	巡回・研修参加時等	120
	JV会議・施設長会議ほか	18
通信運搬費	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	600
	支払手数料	62
	振込手数料ほか	
会費及び負担金	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	200
	職員研修参加費	120
	協賛・会費	80
事務経費本部分	本部経費	1,400
	その他	
その他		

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賞金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(保土ヶ谷プール)

3 指定管理・支出の部(令和10年度)

		積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用			118,435
項 目	人件費	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費) 統括責任者 副統括責任者 水面監視責任者 設備責任者	65,545
		・非常勤職員給与 監視員 設備員 受付員 清掃員	
		給与・賞与	54,481
		社会保険料	114
		通勤手当	135
		健康診断費	35
		人材育成費	10,000
		退職給付引当繰入額	780
		修繕費	5,500
		駐車場に係るもの	
		設備機器経年劣化・故障等の修繕	5,500
	設備管理費	圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	2,500
		保安警備費	2,150
	備品購入費	用具等	500
	消耗品費	トイレトペーパー・事務用品・プール薬剤ほか	1,500
		駐車場に係る消耗品 入退場機器消耗品 電球・券紙	550
		施設運営に係る消耗品	950
		外構・植栽管理費	260
		敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	
	廃棄物処理費	施設発生ゴミ・事業系廃棄物ほか	200
	広報費	HP・SNS・新聞折り込みほか	800
	印刷製本費	リーフレット・チラシほか	1,400
	光熱水費	電気代・ガス代・水道代	19,800
		電気代	3,000
		ガス代	800
		水道代	16,000
		燃料費	2,000
	保険料	自家用発電燃料・ガソリン代	
		施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	600
		施設賠償責任保険	200
		スポーツ障害保険	400
	使用料・賃借料	リース料・使用料ほか	3,300
		音楽著作権使用料	800
		リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,500
	委託料	駐車場管理業務・現金集配	300
		駐車場管理業務委託費	
		現金集配業務委託費	300
		講師報酬・託児費	7,280
	公租公課費	消費税・収入印紙	2,400
		事業所税	0
		消費税・収入印紙	2,380
		収入印紙	20
	旅費	巡回・研修参加時等	120
	会議諸い費	JV会議・施設長会議ほか	18
	通信運搬費	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	600
	支払手数料	振込手数料ほか	62
	会費及び負担金	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	200
		職員研修参加費	120
		協賛・会費	80
	事務経費本部分	本部経費	1,400
	その他		
	その他		
	その他		

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賞金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

様式24

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(保土ヶ谷プール)

4 自主事業・収入の部(令和6年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			7,600
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	団体コース貸し	2,400
	飲食事業	自動販売機:屋内設置6台	2,400
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	2,800
	利用料金収入(時間外)		
	利用料金収入(駐車場)(時間外)		
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(保土ヶ谷プール)

5 自主事業・支出の部(令和6年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			1,172
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 20日 × 12か月	576
	飲食事業	3,000円 × 6台 × 12か月	216
	物販事業	物販使用スペース	380
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

様式24

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(保土ヶ谷プール)

4 自主事業・収入の部(令和7年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			7,648
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	団体コース貸し	2,400
	飲食事業	自動販売機:屋内設置6台	2,448
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	2,800
	利用料金収入(時間外)		
	利用料金収入(駐車場)(時間外)		
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

様式24

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(保土ヶ谷プール)

4 自主事業・収入の部(令和8年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			7,696
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	団体コース貸し	2,400
	飲食事業	自動販売機:屋内設置6台	2,496
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	2,800
	利用料金収入(時間外)		
	利用料金収入(駐車場)(時間外)		
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

様式24

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(保土ヶ谷プール)

4 自主事業・収入の部(令和9年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			7,745
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	団体コース貸し	2,400
	飲食事業	自動販売機:屋内設置6台	2,545
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	2,800
	利用料金収入(時間外)		
	利用料金収入(駐車場)(時間外)		
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

様式24

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(保土ヶ谷プール)

4 自主事業・収入の部(令和10年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			7,795
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	団体コース貸し	2,400
	飲食事業	自動販売機:屋内設置6台	2,595
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	2,800
	利用料金収入(時間外)		
	利用料金収入(駐車場)(時間外)		
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(保土ヶ谷プール)

5 自主事業・支出の部(令和7年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			1,172
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 20日 × 12か月	576
	飲食事業	3,000円 × 6台 × 12か月	216
	物販事業	物販使用スペース	380
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(保土ヶ谷プール)

5 自主事業・支出の部(令和8年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			1,172
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 20日 × 12か月	576
	飲食事業	3,000円 × 6台 × 12か月	216
	物販事業	物販使用スペース	380
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(保土ヶ谷プール)

5 自主事業・支出の部(令和9年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			1,172
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 20日 × 12か月	576
	飲食事業	3,000円 × 6台 × 12か月	216
	物販事業	物販使用スペース	380
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(保土ヶ谷プール)

5 自主事業・支出の部(令和10年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			1,172
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 20日 × 12か月	576
	飲食事業	3,000円 × 6台 × 12か月	216
	物販事業	物販使用スペース	380
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(金沢プール)

1 金沢プール総括表

(1)収入 ※ 指定管理料を除いた金額。

(千円、税込み)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
①施設運営収入 (A)	115,700	124,712	129,192	133,673	138,154	641,431	
利用料金収入	69,100	78,112	82,592	87,073	91,554	408,431	
利用料金収入(駐車場)	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	108,000	
スポーツ教室等事業収入	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	125,000	
文化系教室収入						0	
託児事業収入						0	
広告業務収入						0	
その他						0	
②自主事業による収入	22,292	22,984	23,077	23,772	23,869	115,994	
スポーツ教室等事業(時間外)	1,200	1,800	1,800	2,400	2,400	9,600	
飲食事業(レストラン・自販機)	12,100	12,192	12,285	12,380	12,477	61,434	
物販事業	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000	
利用料金収入(時間外)						0	
利用料金収入(駐車場)(時間外)	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	12,000	
その他(早朝風呂)	2,592	2,592	2,592	2,592	2,592	12,960	
合計(①+②)	137,992	147,696	152,269	157,445	162,023	757,425	

(2)支出

(千円、税込み)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
③維持管理運営費用 (B)	108,635	111,135	113,635	116,135	118,635	568,175	
人件費	55,545	58,045	60,545	63,045	65,545	302,725	
修繕費	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	27,500	
設備管理費・保安警備費	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	23,250	
備品購入費・消耗品費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
外構・植栽管理費・廃棄物処理費	460	460	460	460	460	2,300	
広報費・印刷製本費	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	11,000	
光熱水費・燃料費	24,800	24,800	24,800	24,800	24,800	124,000	
保険料	600	600	600	600	600	3,000	
使用料・賃借料	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	16,500	
委託料・謝金	4,780	4,780	4,780	4,780	4,780	23,900	
公租公課	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	12,000	
旅費	120	120	120	120	120	600	
会議滞在費	18	18	18	18	18	90	
通信運搬費	600	600	600	600	600	3,000	
支払手数料	62	62	62	62	62	310	
会費及び負担金	200	200	200	200	200	1,000	
事務経費本部分	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	7,000	
その他						0	
④自主事業による経費	2,704	2,848	2,848	2,992	2,992	14,384	
スポーツ教室等事業(時間外)	288	432	432	576	576	2,304	
飲食事業(レストラン・自販機)目的外使用料	660	660	660	660	660	3,300	
物販事業	460	460	460	460	460	2,300	
その他 (駐車場時間外、金沢早朝含む)	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	6,480	
合計(③+④)	111,339	113,983	116,483	119,127	121,627	582,559	

(3) 指定管理料

(千円、税込み)

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	合計	備考
指定管理料＝ (支出 (B) － 収入 (A))	-7,065	-13,577	-15,557	-17,538	-19,519	-73,256	

※ 自主事業の内訳は、様式24、25の事業ごとに記載してください。

収支予算書(金沢プール)

2 指定管理・収入の部(令和6年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			115,700
利用料金収入			69,100
項 目	プール(個人)	大人600円×42,000人=25,200千円 子ども300円×28,000人=8,400千円 障がい者大人300円×7,000人=2,100千円 障がい者子ども150円×2,800人=420千円 濱とも400円×5,600人=2,240千円 回数券大人利用320円×14,000人=4,480千円 回数券子ども利用80円×7,000人=560千円	43,400
	浴場(個人)	浴場大人600円×8,400人=5,040千円 浴場子ども300円×8,400人=2,520千円 浴場濱とも450円×4,200人=1,890千円	9,450
	プール・浴場セット券(個人)	セット券大人800円×5,600人=4,480千円 セット券子ども400円×2,800人=1,120千円 セット券濱とも600円×4,200人=2,520千円	8,120
	多目的室(個人)	1,000円(時間利用)×8組×4週×12か月=384,000円	384
	プール(団体)		
	多目的室(団体)		
	附帯設備利用料金	ロッカー(154,000人×50円=7,700千円) ドライヤー(154,000人×3%×10円=46千円)	7,746
利用料金収入(駐車場)			21,600
スポーツ教室等事業収入			25,000
文化系教室収入			
託児事業収入			
広告業務収入			
その他			

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			115,700
指定管理料 (B)			-7,065
収入合計 (A)+(B)			108,635

収支予算書(金沢プール)

2 指定管理・収入の部(令和7年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			124,712
利用料金収入			78,112
項 目	プール(個人)	大人600円×48,000＝28,800千円 子ども300円×32,000人＝9,600千円 障がい者大人300円×8,000人＝2,400千円 障がい者子ども150円×3,200人＝480千円 濱とも400円×6,400人＝2,560千円 回数券大人利用320円×16,000人＝5,120千円 回数券子ども利用80円×8,000人＝640千円	49,600
	浴場(個人)	浴場大人600円×9,600人＝5,760千円 浴場子ども300円×9,600人＝2,880千円 浴場濱とも450円×4,800人＝2,160千円	10,800
	プール・浴場セット券(個人)	セット券大人800円×6,400人＝5,120千円 セット券子ども400円×3,200人＝1,280千円 セット券濱とも600円×4,800人＝2,880千円	9,280
	多目的室(個人)	1,000円(時間利用)×8組×4週×12か月＝384,000円	384
	プール(団体)		
	多目的室(団体)		
	附帯設備利用料金	ロッカー(160,000人×50円＝8,000千円) ドライヤー(160,000人×3%×10円＝48千円)	8,048
利用料金収入(駐車場)			21,600
スポーツ教室等事業収入			25,000
文化系教室収入			
託児事業収入			
広告業務収入			
その他			

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

	内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)		124,712
指定管理料 (B)		-13,577
収入合計 (A)+(B)		111,135

収支予算書(金沢プール)

2 指定管理・収入の部(令和8年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			129,192
利用料金収入			82,592
項 目	プール(個人)	大人600円×51,000人=30,600千円 子ども300円×34,000人=10,200千円 障がい者大人300円×8,500人=2,550千円 障がい者子ども150円×3,400人=510千円 漬とも400円×6,800人=2,720千円 回数券大人利用320円×17,000人=5,440千円 回数券子ども利用80円×8,500人=680千円	52,700
	浴場(個人)	浴場大人600円×10,200人=6,120千円 浴場子ども300円×10,200人=3,060千円 浴場漬とも450円×5,100人=2,295千円	11,475
	プール・浴場セット券(個人)	セット券大人800円×6,800人=5,440千円 セット券子ども400円×3,400人=1,360千円 セット券漬とも600円×5,100人=3,060千円	9,860
	多目的室(個人)	1,000円(時間利用)×8組×4週×12か月=384,000円	384
	プール(団体)		
	多目的室(団体)		
	附帯設備利用料金	ロッカー(162,500人×50円=8,125千円) ドライヤー(162,500人×3%×10円=48千円)	8,173
利用料金収入(駐車場)			21,600
スポーツ教室等事業収入			25,000
文化系教室収入			
託児事業収入			
広告業務収入			
その他			

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			129,192
指定管理料 (B)			-15,557
収入合計 (A)+(B)			113,635

収支予算書(金沢プール)

2 指定管理・収入の部(令和9年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			133,673
利用料金収入			87,073
項 目	プール(個人)	大人600円×54,000人=32,400千円 子ども300円×36,000人=10,800千円 障がい者大人300円×9,000人=2,700千円 障がい者子ども150円×3,600人=540千円 濱とも400円×7,200人=2,880千円 回数券大人利用320円×18,000人=5,760千円 回数券子ども利用80円×9,000人=720千円	55,800
	浴場(個人)	浴場大人600円×10,800人=6,480千円 浴場子ども300円×10,800人=3,240千円 浴場濱とも450円×5,400人=2,430千円	12,150
	プール・浴場セット券(個人)	セット券大人800円×7,200人=5,760千円 セット券子ども400円×3,600人=1,440千円 セット券濱とも600円×5,400人=3,240千円	10,440
	多目的室(個人)	1,000円(時間利用)×8組×4週×12か月=384,000円	384
	プール(団体)		
	多目的室(団体)		
	附帯設備利用料金	ロッカー(165,000人×50円=8,250千円) ドライヤー(165,000人×3%×10円=49千円)	8,299
利用料金収入(駐車場)			21,600
スポーツ教室等事業収入			25,000
文化系教室収入			
託児事業収入			
広告業務収入			
その他			

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			133,673
指定管理料 (B)			-17,538
収入合計 (A)+(B)			116,135

収支予算書(金沢プール)

2 指定管理・収入の部(令和10年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			138,154
利用料金収入			91,554
項 目	プール(個人)	大人600円×57,000人=34,200千円 子ども300円×38,000人=11,400千円 障がい者大人300円×9,500人=2,850千円 障がい者子ども150円×3,800人=570千円 濱とも400円×7,600人=3,040千円 回数券大人利用320円×19,000人=6,080千円 回数券子ども利用80円×9,500人=760千円	58,900
	浴場(個人)	浴場大人600円×11,400人=6,840千円 浴場子ども300円×11,400人=3,420千円 浴場濱とも450円×5,700人=2,560千円	12,825
	プール・浴場セット券(個人)	セット券大人800円×7,600人=6,080千円 セット券子ども400円×3,800人=1,520千円 セット券濱とも600円×5,700人=3,420千円	11,020
	多目的室(個人)	1,000円(時間利用)×8組×4週×12か月=384,000円	384
	プール(団体)		
	多目的室(団体)		
	附帯設備利用料金	ロッカー(167,500人×50円=8,375千円) ドライヤー(167,500人×3%×10円=50千円)	8,425
利用料金収入(駐車場)			21,600
スポーツ教室等事業収入			25,000
文化系教室収入			
託児事業収入			
広告業務収入			
その他			

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			138,154
指定管理料 (B)			-19,519
収入合計 (A)+(B)			118,635

収支予算書(金沢プール)

3 指定管理・支出の部(令和6年度)

	積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		108,635
人件費	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費) 統括責任者 副統括責任者 水面監視責任者 設備責任者	55,545
	・非常勤職員給与 監視員 設備員 受付員 清掃員	
	給与・賞与	54,481
	社会保険料	114
	通勤手当	135
	健康診断費	35
	退職給付引当繰入額	780
	修繕費	5,500
	駐車場に係るもの	800
	設備機器経年劣化・故障等の修繕	4,700
	設備管理費	2,500
	保安警備費	2,150
	備品購入費	500
	消耗品費	1,500
	駐車場に係る消耗品 入退場機器消耗品 電球・券紙	550
	施設運営に係る消耗品	950
	外構・植栽管理費	280
	敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	
	廃棄物処理費	200
	施設発生ゴミ・事業系廃棄物ほか	
	広報費	800
	HP・SNS・新聞折り込みほか	
	印刷製本費	1,400
	リーフレット・チラシほか	
	光熱水費	22,800
	電気代・ガス代・水道代	
	電気代	3,000
	ガス代	800
	水道代	19,000
	燃料費	2,000
	自家用発電燃料・ガソリン代	
	保険料	600
	施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	
	施設賠償責任保険	200
	スポーツ障害保険	400
	使用料・賃借料	3,300
	リース料・使用料ほか	
	音楽著作権使用料	800
	リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,500
	委託料	2,460
	駐車場管理業務・現金集配	
	駐車場管理業務委託費	2,160
	現金集配業務委託費	300
	謝金	2,320
	講師報酬・託児費	
	公租公課費	2,400
	消費税・収入印紙	
	事業所税	0
	消費税・収入印紙	2,380
	収入印紙	20
	旅費	120
	巡回・研修参加時等	
	会議諸い費	18
	JV会議・施設長会議ほか	
	通信運搬費	600
	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	
	支払手数料	62
	振込手数料ほか	
	会費及び負担金	200
	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	
	職員研修参加費	120
	協賛・会費	80
	事務経費本部分	1,400
	本部経費	
	その他	

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(金沢プール)

3 指定管理・支出の部(令和7年度)

		積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用			111,135
項 目	人件費	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費) 統括責任者 副統括責任者 水面監視責任者 設備責任者	58,045
		・非常勤職員給与 監視員 設備員 受付員 清掃員	
		給与・賞与	54,481
		社会保険料	114
		通勤手当	135
		健康診断費	35
		人材確保費	2,500
		退職給付引当繰入額	780
		修繕費	5,500
		駐車場に係るもの	800
		設備機器経年劣化・故障等の修繕	4,700
		設備管理費	2,500
		圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	2,500
		保安警備費	2,150
		機械警備	
		備品購入費	500
		消耗品費	1,500
		トイレトペーパー・事務用品・プール薬剤ほか	
		駐車場に係る消耗品	550
		入退場機器消耗品 電球・券紙	
		施設運営に係る消耗品	950
		外構・植栽管理費	260
		敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	
		廃棄物処理費	200
		施設発生ゴミ・事業系廃棄物ほか	
		広報費	800
		HP・SNS・新聞折り込みほか	
		印刷製本費	1,400
		リーフレット・チラシほか	
		光熱水費	22,800
		電気代	3,000
		電気代	
		ガス代	800
		ガス代	
		水道代	19,000
		水道代	
		燃料費	2,000
		自家用発電燃料・ガソリン代	
		保険料	600
		施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	
		施設賠償責任保険	200
		施設賠償責任保険	
		スポーツ障害保険	400
		スポーツ障害保険	
		使用料・賃借料	3,300
		リース料・使用料ほか	
		音楽著作権使用料	800
		音楽著作権使用料	
		リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,500
		リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	
		委託料	2,400
		駐車場管理業務・現金集配	
		駐車場管理業務委託費	2,160
		駐車場管理業務委託費	
		現金集配業務委託費	300
		現金集配業務委託費	
		謝金	2,320
		講師報酬・託児費	
		公租公課費	2,400
		消費税・収入印紙	
		事業所税	0
		事業所税	
		消費税・収入印紙	2,380
		消費税・収入印紙	
		収入印紙	20
		収入印紙	
		旅費	120
		巡回・研修参加時等	
		会議諸い費	18
		JV会議・施設長会議ほか	
		通信運搬費	600
		電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	
		支払手数料	62
		振込手数料ほか	
		会費及び負担金	200
		資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	
		職員研修参加費	120
		職員研修参加費	
		協賛・会費	80
		協賛・会費	
		事務経費本部分	1,400
		本部経費	
		その他	
		その他	
		その他	
		その他	

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賞金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(金沢プール)

3 指定管理・支出の部(令和8年度)

	積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		113,635
人件費	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費) 統括責任者 副統括責任者 水面監視責任者 設備責任者	60,545
	・非常勤職員給与 監視員 設備員 受付員 清掃員	
	給与・賞与	54,481
	社会保険料	114
	通勤手当	135
	健康診断費	35
	人材確保費	5,000
	退職給付引当繰入額	780
修繕費		5,500
	駐車場に係るもの	800
	設備機器経年劣化・故障等の修繕	4,700
設備管理費	圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	2,500
保安警備費	機械警備	2,150
備品購入費	用具等	500
消耗品費	トイレトペーパー・事務用品・プール薬剤ほか	1,500
	駐車場に係る消耗品 入退場機器消耗品 電球・券紙	550
	施設運営に係る消耗品	950
	外構・植栽管理費	260
	敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	260
廃棄物処理費	施設発生ゴミ・事業系廃棄物ほか	200
広報費	HP・SNS・新聞折り込みほか	800
印刷製本費	リーフレット・チラシほか	1,400
光熱水費	電気代・ガス代・水道代	22,800
項	電気代	3,000
	ガス代	800
	水道代	19,000
	燃料費	2,000
目	自家用発電燃料・ガソリン代	2,000
	施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	600
	施設賠償責任保険	200
	スポーツ障害保険	400
使用料・賃借料	リース料・使用料ほか	3,300
	音楽著作権使用料	800
	リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,500
委託料	駐車場管理業務・現金集配	2,400
	駐車場管理業務委託費	2,160
	現金集配業務委託費	300
謝金	講師報酬・託児費	2,320
公租公課費	消費税・収入印紙	2,400
	事業所税	0
	消費税・収入印紙	2,380
	収入印紙	20
旅費	巡回・研修参加時等	120
会議諸い費	JV会議・施設長会議ほか	18
通信運搬費	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	600
支払手数料	振込手数料ほか	62
会費及び負担金	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	200
	職員研修参加費	120
	協賛・会費	80
事務経費本部分	本部経費	1,400
その他		
その他		

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賞金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(金沢プール)

3 指定管理・支出の部(令和9年度)

		積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用			116,135
項 目	人件費	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費) 統括責任者 副統括責任者 水面監視責任者 設備責任者	63,045
		・非常勤職員給与 監視員 設備員 受付員 清掃員	
		給与・賞与	54,481
		社会保険料	114
		通勤手当	135
		健康診断費	35
		人材確保費	7,500
		退職給付引当繰入額	780
		修繕費	5,500
		駐車場に係るもの	800
	設備管理費	設備機器経年劣化・故障等の修繕	4,700
		圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	2,500
	保安警備費	機械警備	2,150
	備品購入費	用具等	500
	消耗品費	トイレトペーパー・事務用品・プール薬剤ほか	1,500
	外構・植栽管理費	駐車場に係る消耗品 入退場機器消耗品 電球・券紙	550
		施設運営に係る消耗品	950
		敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	260
		廃棄物処理費	200
	広報費	HP・SNS・新聞折り込みほか	800
	印刷製本費	リーフレット・チラシほか	1,400
	光熱水費	電気代・ガス代・水道代	22,800
		電気代	3,000
		ガス代	800
		水道代	19,000
	燃料費	自家発電燃料・ガソリン代	2,000
	保険料	施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	600
		施設賠償責任保険	200
		スポーツ障害保険	400
		リース料・使用料ほか	3,300
	使用料・賃借料	音楽著作権使用料	800
		リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,500
	委託料	駐車場管理業務・現金集配	2,400
		駐車場管理業務委託費	2,160
	謝金	現金集配業務委託費	300
		講師報酬・託児費	2,320
	公租公課費	消費税・収入印紙	2,400
		事業所税	0
		消費税・収入印紙	2,380
		収入印紙	20
	旅費	巡回・研修参加時等	120
	会議諸い費	JV会議・施設長会議ほか	18
	通信運搬費	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	600
	支払手数料	振込手数料ほか	62
	会費及び負担金	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	200
		職員研修参加費	120
		協賛・会費	80
	事務経費本部分	本部経費	1,400
	その他		
	その他		
	その他		

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賞金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(金沢プール)

3 指定管理・支出の部(令和10年度)

	積 算 内 訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		118,635
項 目	人件費	65,545
	・常勤職員報酬(給与・社保・通勤・健診・退職給付費)	
	統括責任者	
	副統括責任者	
	水面監視責任者	
	設備責任者	
	・非常勤職員給与	
	監視員 2名	
	設備員 1名	
	受付員 1名	
	清掃員 1名	
	給与・賞与	54,481
	社会保険料	114
	通勤手当	135
	健康診断費	35
	人材確保費	10,000
	退職給付引当繰入額	780
	修繕費	5,500
	駐車場に係るもの	800
	設備機器経年劣化・故障等の修繕	4,700
	設備管理費	2,500
	圧力容器・環境衛生・冷却塔清掃等	2,500
	保安警備費	2,150
	機械警備	
	備品購入費	500
	用具等	
	消耗品費	1,500
	トイレトペーパー・事務用品・プール薬剤ほか	
	駐車場に係る消耗品	550
	入退場機器消耗品 電球・券紙	
	施設運営に係る消耗品	950
	外構・植栽管理費	260
	敷地内剪定・除草・薬剤散布・施肥ほか	
	廃棄物処理費	200
	施設発生ゴミ・事業系廃棄物ほか	
	広報費	800
	HP・SNS・新聞折り込みほか	
	印刷製本費	1,400
	リーフレット・チラシほか	
	光熱水費	22,800
	電気代	3,000
	ガス代	800
	水道代	19,000
	燃料費	2,000
	自家用発電燃料・ガソリン代	
	保険料	600
	施設賠償責任保険・スポーツ障害補償保険	
	施設賠償責任保険	200
	スポーツ障害保険	400
	使用料・賃借料	3,300
	リース料・使用料ほか	
	音楽著作権使用料	800
	リース料(AED・券売機・ロッカー・コピー機・固定電話)	2,500
	委託料	2,400
	駐車場管理業務・現金集配	
	駐車場管理業務委託費	2,160
	現金集配業務委託費	300
	講師報酬・託児費	2,320
	謝金	
	公租公課費	2,400
	消費税・収入印紙	
	事業所税	0
	消費税・収入印紙	2,380
	収入印紙	20
	旅費	120
	巡回・研修参加時等	
	会議諸い費	18
	JV会議・施設長会議ほか	
	通信運搬費	600
	電話料・インターネット通信料・郵便等郵送費ほか	
	支払手数料	62
	振込手数料ほか	
	会費及び負担金	200
	資格講習参加費・受講費・協賛・会費ほか	
	職員研修参加費	120
	協賛・会費	80
	事務経費本部分	1,400
	本部経費	
	その他	
	その他	

※1 次の例を参考に記載してください。

人件費・・・報酬、賞金、手当、社会保険料、福利厚生費など

※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(金沢プール)

4 自主事業・収入の部(令和6年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			22,292
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)		1,200
	飲食事業(レストラン)	レストラン運営収入	7,500
	飲食事業(自動販売機)	自動販売機:屋内設置10台	4,600
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	4,000
	利用料金収入(時間外)	早朝風呂	2,592
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	駐車場:時間外利用	2,400
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(金沢プール)

4 自主事業・収入の部(令和7年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			22,984
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)		1,800
	飲食事業(レストラン)	レストラン運営収入	7,500
	飲食事業(自動販売機)	自動販売機:屋内設置10台	4,692
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	4,000
	利用料金収入(時間外)	早朝風呂	2,592
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	駐車場:時間外利用	2,400
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(金沢プール)

4 自主事業・収入の部(令和8年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			23,077
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)		1,800
	飲食事業(レストラン)	レストラン運営収入	7,500
	飲食事業(自動販売機)	自動販売機:屋内設置10台	4,785
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	4,000
	利用料金収入(時間外)	早朝風呂	2,592
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	駐車場:時間外利用	2,400
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

様式24

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(金沢プール)

4 自主事業・収入の部(令和9年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			23,772
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)		2,400
	飲食事業(レストラン)	レストラン運営収入	7,500
	飲食事業(自動販売機)	自動販売機:屋内設置10台	4,880
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	4,000
	利用料金収入(時間外)	早朝風呂	2,592
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	駐車場:時間外利用	2,400
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

様式24

単独団体名・共同事業体名 横浜ウォータープロモーション

施設名 横浜市港南プール・保土ヶ谷プール・金沢プール

収支予算書(金沢プール)

4 自主事業・収入の部(令和10年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			23,869
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)		2,400
	飲食事業(レストラン)	レストラン運営収入	7,500
	飲食事業(自動販売機)	自動販売機:屋内設置10台	4,977
	物販事業	水泳用品(水着、ゴーグル、スイミングキャップ、ウェア) 浴室関連用品(タオル、シャンプーセット等)	4,000
	利用料金収入(時間外)	早朝風呂	2,592
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	駐車場:時間外利用	2,400
	その他		

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(金沢プール)

5 自主事業・支出の部(令和6年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			2,704
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 10日 × 12か月	288
	飲食事業(自販機)	3,000円 × 10台 × 12か月	300
	物販事業	物販使用スペース	460
	その他	駐車場時間外管理費	360
	利用料金収入(時間外)	早朝風呂人件費	936
	飲食事業(レストラン)	目的外使用料	360

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(金沢プール)

5 自主事業・支出の部(令和7年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			2,848
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 15日 × 12か月	432
	飲食事業(自販機)	3,000円 × 10台 × 12か月	300
	物販事業	物販使用スペース	460
	その他	駐車場時間外管理費	360
	利用料金収入(時間外)	早朝風呂人件費	936
	飲食事業(レストラン)	目的外使用料	360

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(金沢プール)

5 自主事業・支出の部(令和8年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			2,848
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 10日 × 12か月	432
	飲食事業(自販機)	3,000円 × 10台 × 12か月	300
	物販事業	物販使用スペース	460
	その他	駐車場時間外管理費	360
	利用料金収入(時間外)	早朝風呂人件費	936
	飲食事業(レストラン)	目的外使用料	360

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(金沢プール)

5 自主事業・支出の部(令和9年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			2,992
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 10日 × 12か月	576
	飲食事業(自販機)	3,000円 × 10台 × 12か月	300
	物販事業	物販使用スペース	460
	その他	駐車場時間外管理費	360
	利用料金収入(時間外)	早朝風呂人件費	936
	飲食事業(レストラン)	目的外使用料	360

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書(金沢プール)

5 自主事業・支出の部(令和10年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			2,992
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	2h × 1,200円 × 10日 × 12か月	576
	飲食事業(自販機)	3,000円 × 10台 × 12か月	300
	物販事業	物販使用スペース	460
	その他	駐車場時間外管理費	360
	利用料金収入(時間外)	早朝風呂人件費	936
	飲食事業(レストラン)	目的外使用料	360

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。